

326
339

正七年九月

西比利亞ノ研究 第三編

露國株式組織企業ニ於ケル獨逸資本

代筆寫

大藏省臨時調查局金融部



始



326-339

例言

ハ 却 寄 贈 本

本書ハ千九百十二年露國ニ於ケル通商條約改正準備ノ際國際資本ノ移動ト輸出入貿易トノ關係密接ナルニ鑑ミ右參考資料トシテ露國大藏省ガ「ベ」エス、ジ「フ」氏ニ依頼シテ調査報告セシメタル「露國株式組織企業ニ於ケル外國資本」ノ第一編ヲ成セルモノニシテ千九百十四、及千九百十五年ノ兩年ニ互リ露國大藏省月報ニ掲載セラレタルモノナリ



本書ハ獨逸資本ガ如何ニ強大ナル勢力ヲ露國株式企業界ニ於テ有スルカヲ示ス爲ニ露國ノ電氣、電機、化學及鐵工業、都市經營事業、鑛山其他ノ各工業會社ニ付其狀態ヲ解剖シテ其申獨逸資本ノ占據セル地位ヲ詳述セルモノナリ之ニ依リテ人ガ或ハ單獨ニ或ハ露國人ト協同シテ會社ヲ新設シ或ハ支店ヲ開設シテ露國ノ工業界ヲ蹂躪シ或ハ獨逸銀行團ガ巧ニ露國會社ヲ其勢力下ニ包擁シテ其資本ヲ掌握スルノ状態ヲ注目ニ値スルモノアリ又世人ガ見テ以テ白耳義人又ハ白耳義資本團ノ經營ニ屬スト解セルモノモ仔細ニ其内部關係ヲ檢覈スレバ隱然トシテ白耳義勢力ガ其裏面ニ磅礴タルヲ見ルベシ蓋シ是等白耳義資本家ニシテ獨逸人ニ指導ヲ



仰ガザルモノ殆ンド之無キノ狀況ナレバナリ
 由是觀之露國株式企業界ハ舉ゲテ獨逸ニ降レリト云フモ過言ニ非ズ今日獨逸ガ露
 國ニ於テ政治的權力ヲ掌握スルニ至レルハ其由來スル所甚深且遠キヲ見ルベシ
 將來露國特ニ西比利亞地方ニ對シ經濟的大發展ノ抱負ヲ有スル我國資本家ニ取リ
 テ本書ハ以テ他山ノ石タラズンバ非ズ是レ茲ニ本書ノ譯アル所以ナリ



露國株式組織企業ニ於ケル獨逸資本

目次

第一章	露國電氣事業ニ於ケル獨逸資本	一
第二章	露國電機事業ニ於ケル獨逸資本	三三
第三章	露國鐵工業ニ於ケル獨逸資本	四五
第四章	露國化學工業ニ於ケル獨逸資本	七七
第五章	露國都市經營ニ於ケル獨逸資本	九九
第六章	露國鑛山業其他ノ工業ニ於ケル獨逸資本	一一三

露國度量衡

度

エルシヨーク
 アルシン(十六エルシヨーク)
 サージエン(三アルシン)
 エルスト(五サージエン)

一寸四分六厘強
 二尺三寸四分七厘弱
 七尺四分強
 九町四十六間四尺強

地積

平方サージエン
 デシヤチン(二平方サージエン)
 平方エルスト(四デシヤチン)

一步強
 一町一段四步強
 百十四町七段五畝十二步

衡

フント
 布度

百九匁強
 四貫三百六十八匁強

露國株式組織企業ニ於ケル獨逸資本

ヴェー、エス、ジーフ著

第一章 露國電氣事業ニ於ケル獨逸資本



露國電氣事業ノ大多數カ白耳義人ノ手ニ屬セリト爲スヲ以テ今日一般ノ定説ト爲
スカ如キモ獨逸並ニ白耳義ノ確カナル筋及當該會社ノ報告等ニ依リ蒐集シタル材
料ニ照ストキハ右事業ニ於ケル事實上ノ支配者ハ獨逸人ナルコトヲ知り得可ク又
露國ニ於ケル電燈事業普及ヲ最初ニ計畫シタルモ亦獨逸人ナリト謂フ

露國ニ於ケル最初ノ電燈事業ハ一八八六年ノ創立ニ係ル彼得具羅士電氣會社ニ於
テ經營セラレ該會社ノ主ナル株主ハ獨逸人ナリトス、該會社ハ同業者間ニ其ノ第一
位ヲ占メ現今ニ至ル迄露國電燈界ニ覇ヲ唱ヘツ、アリ

該會社ノ資本金並ニ事業ハ年ト共ニ膨脹發展シテ創立當時ノ純工業的企業ハ轉シ
テ一ノ偉大ナル經濟力ヲ形成シ露國全土ニ相踵イテ同種類ノ會社ヲ創立セシメ之
カ指導者ノ地位ニ立チツ、アリ、獨逸ニ於ケル該會社ノ名聲赫々タルハ實ニ驚ク可

二
キ程ニシテ取引社會ニ於テハ單ニ「一八八六年」ノ略稱ヲ以テ克ク通シ居ルノ狀態ナルノミナラス有ユル獨逸新聞ハ該會社ノ毎月收益表ヲ掲載シ而モ該會社ノ事業年報ハ速達電報ニ依テ總テノ獨逸新聞ニ通報セラレ、ノ盛況ヲ呈セリ是ニ依テ之ヲ觀ルモ獨逸ニ於ケル各階級ニ對シ一八八六年會社ノ事業カ如何ニ興味ヲ以テ迎ヘラル、カヲ察知スルニ難カラサルナリ斯ノ如キハ決シテ怪ムヘキ現象ニ非サルナリ蓋シ該會社ノ株式ハ其ノ所有者ニ對シ毎年頗ル有利ナル收益ヲ齎シツ、アレハナリ資本ノ膨脹ニ伴ヒ會社ノ收益ハ遞次増加スルノミナラス各種ノ經濟的工業的計畫實現ノ爲ニ要スル新資金ノ充實ニ付テモ何等ノ困難ヲ感スルコトナク伯林ニ於ケル大銀行、大電氣會社ノ金庫ハ何時ニテモ該會社ノ需要ニ對シ開放スルノ狀況ニ在リ开ハ此等ノ銀行會社ハ實際ニ於テ該會社ノ指導者ニ外ナラサルカ故ニシテ事一八八六年會社ノ重役組織カ明白ニ之ヲ證明スル所ニシテ即チ其ノ重役組織ヲ見ルトキハ Deutsche Bank, Bank für Handel und Industrie, Bank für elektrische Unternehmungen, Elektrische Licht und Kraftanlagen 等獨逸ニ於ケル有力ナル銀行會社ノ支配人ノ姓名ヲ發見シ得ヘシ斯クノ如ク經濟的工業方面ニ於テ大連鎖ヲ有スルカ爲該會社ノ事業範圍ハ年ト共ニ擴張セラレ若シ斯ノ如キ後援ナキニ於テハ恐ル可キ競争ヲ惹起ス

可キ方面ニモ着々其ノ歩武ヲ進メツ、アリ

該會社ノ勢力範圍ハ露西亞ニ於ケル四箇ノ工業中心地タル彼得具羅士、莫斯科、ロツヂ、バクト(電力會社)ヲ仲介トス(ニシテ彼得具羅士ニ於テハ一八九七年四月二十八日ヨリ四十年間ノ特權ヲ有シ莫斯科ニ於テハ一八九五年九月二十八日ヨリ五十年間、「ロツヂ」ニ於テハ一九〇九年一月一日ヨリ四十年間ノ特權ヲ有ス是等各市ノ人口増加及商工業ノ進展ニ想到セハ同會社カ如何ニ有利ナル條件ノ上ニ立テルカヲ察知スルニ難カラサルナリ又該會社ノ勢力範圍ハ上記各都會ノ市内ニ止ラス之ニ隣接スル工業區域ニモ及ホシ最近ニ至リテハ同會社ハ(彼得具羅士工業區域ノ燈用電力供給ノ特權ヲモ獲得シタリ

又莫斯科工業區域ニ對シテハ電力供給ノ目的ヲ以テ一九一三年「一八八六年會社」ノ助力ノ下ニ資本金六百萬留ノ「電力輸送會社」ナル株式會社ヲ創設セリ本件ニ關シ參考ノ爲茲ニ同會社ノ報告書ヲ紹介ス可シ

「莫斯科市及之ニ隣接スル工業區域ニ於ケル燃料即チ石炭重油ノ不足ト其ノ異常ナル價格騰貴トハ本會社ヲシテ密接ナル關係ヲ有スル諸會社ト共力ノ下ニ同地ノ製織業者ノ未タ取得セサリシ泥炭田ヲ購入セシメタリ該炭田ハ「ボゴロトク」ヨリ二

十露里、莫斯科ヨリ七十露里ノ地點ニ在リテ面積四千露里^{プレチナイナ}ヲ占メ巨大ナル生産力ヲ有スルモノナリ又現今建築中ナル中央局ヨリ附近ニ散在スル各工業地域ニ多量ノ電力ヲ供給スルノ計畫ナルカ尙其ノ他或程度ノ電量ヲ莫斯科並ニ其ノ附近ニ於ケル電力需要系統ヘモ供給スルニ至ルヘシ

尙右報告ハ同會社カ密接關係アル諸會社ト共力ノ下ニ白耳義株式會社「イマトラ」ノ創設ニ關スル興味アル事實ヲ吾人ニ齎セリ彼得具羅土ヨリ百六十五基米ヲ隔テタル「ヴォクス」河ニ於ケル「イマトラ」瀑布ノ大壓力ハ遠キ以前ヨリ彼得具羅土ヘノ電力供給ノ目的ヲ以テ精密ナル調査ニ附セラレタリ蓋シ外國ヨリ輸入セル石炭ニ依リテ運命ヲ支配セラル、露都ノ電氣事業界ノ狀態ヨ一變センカ爲ニハ右水力ノ利用ハ特ニ望マシキコトナレハナリ

最近數年間ニ於テ電力輸送ニ付キ充分ナル經驗ヲ得タルト且大工業ニ於ケル電力應用法モ著シク進歩シタルニ鑑ミ充分ノ需要アル可キヲ信シタルヲ以テ一八八六年會社ハ他ノ密接ナル關係ヲ有スル諸會社ト共力シテ芬蘭株式會社「Force」ノ仲介ニ依リ技術的ニモ經濟的ニモ優秀ナル瀑布トシテ認識セラレ居ル「イマトラ」ノ地區並ニ水力利用權ヲ買收セリ該瀑布ノ水力ハ五百馬力ヨリ六萬馬力ニ上ル可ク其ノ一

部ハ芬蘭ヘ分配セラレ一部ハ彼得具羅土市外ヘ送電ノ上同地ニ於ケル各工業會社ヘ供給セラルヘク同時ニ二箇ノ彼具羅土電燈會社ノ需要ニモ充テラル可キ見込ナリ「イマトラ」及將來建設セラルヘキ蒸汽動力發電所ヨリ彼得具羅土市外ヘ電力ヲ供給センカ爲該會社ハ彼得具羅土郡地方自治體ヨリ一九五四年ニ至ル迄ノ期間ニ對シ特權ヲ獲得シ又郡内ニ建築シタル建物其ノ他ニ付テハ自治體ニ於テ之ヲ買收スルコトヲ得ルモ二十年及三十年ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ行ヒ得サルコト、ナリ居レリ而シテ該特權利用ノ爲該會社ハ特別株式會社ヲ設立シ之ニ該會社カ該地域内ニ架設シタル電線一切ヲ引渡ス可キ計畫ナリ上記二箇ノ事業換言スレハ「イマトラ」ニ於ケル發電ト彼得具羅土市外ニ對スル送電トニ對シ互ニ密接ナル關係ヲ保持セシメンカ爲ニ「一八八六年會社」斡旋ノ下ニ兩會社ノ株式ヲ「ブリュッセル」ニ創立セラレタル株式會社「イマトラ」*Société anonyme pour la production et la distribution de l'énergie électrique* ニ集中セント計畫シ右ノ「イマトラ」會社ノ總資本額ハ三千萬法トシ其ノ中八百萬法ハ「一八八六年會社」ヨリ投資スヘシト謂フ

既述セルカ如ク同會社ハ密接ナル關係ヲ有スル諸銀行ト提携シテ「バクター電力會社」ノ事業ニ關與セリ而シテ「バクター會社」ハ「バクター市燈用發電所」(一)「ビビー、エイバート

發電所「三」ペールイ、ゴードロッド及バラハノ、サブンチンスタ「發電所ノ三者ヲ以テ組織セルモノナリ

一八八六年電燈會社並ニ同會社ノ管理ニ屬スル諸會社ノ資本總額ハ六千六百二十五萬留ニシテ露國電氣事業ニ投セラレタル資本金總額ノ七三、一%ヲ占ム之ヲ各會社別ニ示セハ左ノ如シ

創業年度	資本金
一八八六年電燈會社	四〇、〇〇 <small>百留</small>
イマトラ會社	一一、二五
電力會社	九、〇〇
電力輸送會社	六、〇〇
總計	六六、二五

右ノ外一八八六年會社ハ近々千萬留「イマトラ」會社ハ四百萬留ノ増資ヲ決定シタレハ上記諸會社ノ資本總額ハ八千二十五萬留ニ達ス可キ豫定ナリ
一八八六年會社ノ株式ハ伯林取引所ニ於テモ取引セラル、モ彼得具羅士取引所ニ於テハ公式ニ相場付セラル、ト雖單ニ形式的ニ上場セラルニ過キス

最近十年間ニ於ケル伯林取引所ニ於ケル同會社ノ株式相場ノ變動左ノ如シ(額面百トシ)

一九〇四年	一二四、五〇	一九〇九年	一五八、三〇
一九〇五年	一三一、八〇	一九一〇年	一七一、〇〇
一九〇六年	一三七、五〇	一九一一年	一六七、三〇
一九〇七年	一二九、二五	一九一二年	一六二、〇〇
一九〇八年	一四〇、〇〇	一九一三年	一六九、二五

右相場ノ上騰カ配當金ノ増加ト比例セルハ左表ニ依リ之ヲ窮フヲ得可シ

年次	普通株	配當	優先株
一九〇四年	四		七
一九〇五年	四		七
一九〇六年	五		八
一九〇七年	六		九
一九〇八年	六、五		九、五

一九〇九年	七	八
一九一〇年	七	一〇
一九一一年	七・五	一〇・五
一九一二年	八	一一
一九一三年	八	一一

電力輸送會社及電力會社ノ株式ニ付テハ取引所ニ於ケル取引ナリ又「イマトラ」會社ノ株式ハ「ブリュッセル」取引所ニ於テ單ニ形式的取引ヲ見ルニ過キス
 茲ニ吾人ハ白耳義ニ於ケル獨逸人ノ經濟的活動ニ關シ一言ヲ費スモ敢テ無用ノ業ニ非サルヘシ

「ブリュッセル」ハ戰前迄獨逸商工業者ノ代理人ヲ以テ充滿セシカ是等代理人ハ獨立セル白耳義ノ銀行商會工場等ノ蔭ニ潛ミテ諸外國ニ於ケル獨逸ノ經濟的勢力ノ普及ヲ圖リタリ蓋シ獨逸人ニシテ納稅上ノ都合並ニ政治的動機ノ爲自己ノ活動區域ヲ白耳義ヘ移スモノ尠カラス爲ニ「ブリュッセル」ハ柏林ノ支店ナルヤノ觀ヲ呈シ此ノ地ニ於テ多クノ經濟的計畫ノ實現ヲ見タル次第ニシテ若シ和蘭ヲ獨逸外國貿易ノ忠實ナル仲介者トスレハ白耳義ハ外國ニ於ケル獨逸企業ノ幫助者ト謂フモ敢テ

不可ナキナリ戰前「ブリュッセル」ニハ獨逸大銀行ノ支店ノ外夥多ノ獨立セル白耳義銀行(是等銀行ノ重役ノ地位ハ最近ニ至ル迄獨逸人ノ占有スル所ナリキ)ハ獨逸ノ企業ヲ援助セリ此ノ點ニ關スル顯著ナル實例ハ Banque Internationale de Bruxelles ニシテ本行ノ創立ニ付テハ Berliner Handelsgesellschaft, Schaafhausensches Bankverein, Deutsche Effektenund Wechselbank 及同様ニ獨人ノ關與セル諸種ノ瑞西伊太利埃太利匈牙利ノ諸銀行之ニ關與セリ而シテ右ノ Banque Internationale de Bruxelles ハ又 Banque Liegeoise, Banque Brigeoise 其ノ他ニ關與シ上記諸銀行ノ理事重役會中ニハ戰前迄猶白耳義ノ經濟界商工業界ニ於ケル諸名士ヲ網羅セリ

事態斯クノ如クナルヲ以テ獨逸勢力ハ有名無實ナル「獨立セル」白耳義諸銀行ヲ通シテ同國ノ經濟界各方面ニ浸潤スルノ可能ヲ有スルニ至リ又白耳義ニ於テ最モ勢力アル銀行トシテ知ラレタル Banque de Bruxelles モ亦獨逸人ノ手ニ依リ設立セラレ今日ニ至ル迄其ノ指揮ノ下ニ行動シ獨逸ノ「萬國電氣會社」ト相提携シテ各國(露國ヲモ含ム)電氣事業ニ關與シツ、アリサレハ前世紀即チ八百九十年代ヨリ「ブリュッセル」ハ獨逸ノ電氣工業カ佛露其ノ他各國ニ對シ經營ノ手ヲ伸張スル中心地タルニ至レリ初メ一八九五年獨逸株式會社 Union Elektrizitäts Gesellschaft 及之カ資本主タル Gesellschaft

für elektrische Unternehmen へ共同ノ利害ヲ有スル諸會社ト共ニ「ブリュッセル」ノ地ニ經濟會社 Société Générale Belge d' Entreprises ヲ創設セリ露國ニ於ケル多クノ電車電燈會社ノ株式ヲ有スル同會社ノ事業ハ頗ル好況ナリシヲ以テ上記獨逸經濟團ハ一八九六年「ブリュッセル」ニ Société Financière de Transports et d' Entreprises Industrielles ナル名稱ノ下ニ第二ノ經濟的「シンデケート」ヲ組織シ降テ一九一一年第三ノ「シンデケート」「Tranways et Electricité en Russie」ヲ創立セリ

上記三箇ノ「ブリュッセル」ニ於ケル獨逸「シンデケート」コソ次ニ舉ケタル露國電氣事業ノ主タル指導者トモ謂フヘキモノナリ

創業年度	資本金
中央電氣會社	一八九七年
オデッサ電氣會社	三二二六
南露電氣株式會社	一九一〇年
ラドム電氣會社	三〇〇
	六九
	一九〇九年
	三〇
總計	七二五

是等露國電氣會社ノ株主組織ニ關スル一覽表ハ之ヲ後ニ掲クヘキモ茲ニ配憶スヘ

キコトハ上記九箇ノ露國ニ於ケル電氣事業ニ對シ殆ト絶對的勢力ヲ占ムルハ獨逸人ナルコト是ナリ獨逸ノ勢力範圍以外ニ立ツモノトシテハ露國ニ於テ活動セル左ノ白耳義諸會社アルニ過キス

創業年度	資本金
彼得具羅士電燈會社	一八九九年
彼得具羅士電氣工業會社	三九三
	一九〇〇年
	一一六〇
コヴノ電氣會社	一九一二年
	五〇
總計	一六〇三

以上三會社ハ彼得具羅士電氣會社ヲ盟主トシテ一團體ヲ形成シ Compagnie de l'Industrie Electrique ナル白耳義會社ヨリ資金ノ融通ヲ仰キ居ルモノニシテ又同會社ハ更ニ白耳義ニ於ケル大銀行 Société Générale ノ保護ノ下ニ立テルヲ以テ外部ヨリノ觀測ヲ以テシテハ獨逸人カ上記三電燈會社ニ關係シ居ルヤ否ヤヲ窺フ能ハサルモノトス

然レトモ少シク注意シテ此等會社ノ財政關係ヲ檢スレハ此處ニモ亦獨逸勢力カ微妙ナル影響ヲ及ホセルヲ觀取シ得可シ蓋シ Compagnie Centrale de l' Industrie Electrique ト

Compagnie Centrale d'Entreprises Electriques カ相協同シテ彼得具羅士電氣工業會社ヲ管理シ同會社ハ一九〇九年 Banque de Bruxelles Société Générale Belge d'Entreprises Electriquesノ助力ニ依リ組織セラレタルモノナレハナリ、カルカ故ニ此處ニモ亦獨逸人ノ勢力ハ事實上ニ波及セルモノト認メ得ヘキナリ

然レトモ露國電氣工業ニ於ケル獨逸人ノ勢力ハ右ノ範圍内ニ局限セラル、モノニ非ス次ニ掲記スル材料ニ依テ現今露國ニ存スル其ノ他一切ノ電氣事業カ少數ノ例外ヲ除キ悉ク獨人ノ手中ニ屬スルヲ知り得可シ

「リフマン」教授ハ其著書「Beteiligungs und Finanzierungs Gesellschaften」ニ於テ「ブリュッセル」電氣工業界ニ於ケル一切ノ重ナル獨逸經濟「シンデケート」即 Société Générale Belge d'Entreprises Electriques 及 Société de Transports et d'Entreprises Industrielles 並ニ Société de Trams-ways et Electricité en Russie ヲ伯林ニ於ケル萬國電氣會社ニ屬スル經濟的一集團ト見做シ居レリ故ニ現今露國ニテ活動セル上記白耳義電燈會社ハ事實上萬國電燈會社ノ管理下ニ置カレタルモノト云フヘシ尙同會社ハ他ノ露國大電氣會社ヲ其ノ掌中ニ把握シ居ルヲ以テ其ノ勢力推シテ知ルヘキノミ而シテ是等諸會社互ニ嚴密ナル相對關係ヲ有シ悉ク伯林ニ於ケル大會社ノ指揮ニ屬シ露國ニ於ケル秩序アル共同活

動ノ命令ハ悉ク同會社ヨリ發セラレツ、アリテ確聞スル所ニ依レハ上記ノ諸會社ハ探訪ノ職ヲ兼ネ露國全土ニ代理人ヲ置キ電機電燈界ニ於ケル新計畫ヲ伯林ナル本部ヘ通知シ以テ競争ヲ未然ニ防遏シツ、アリ

前記以外ノ露國電氣事業ニシテ伯林ニ於ケル萬國電氣會社カ直接關與セル會社ハ左ノ如シ

	創業年度	資本金
キエーフ電氣會社	一九〇二年	六〇〇 <small>百方圓</small>
スモレンスク電氣會社	一九〇三年	七八
ズゲルジュ電氣工場會社	一九一〇年	二五
ハバローフスク電氣會社	一九〇七年	二〇
獨逸電氣事業會社	一九〇九年	一〇
總計		七三三

ズゲルジュ、スモレンスク、ハバローフスク三會社ハ彼得具羅士ニ於ケル萬國電氣會社支部ノ管理ニ屬シ「キエーフ」電氣會社ノ直接指導ハ獨逸ノ電氣會社 Gesellschaft für elektrische Unternehmen ニ於テ之ヲ爲セリ「リフマン」教授ノ所説ニ從ヘハ本會社モ亦伯

林ニ於ケル萬國電氣會社ト同一團體ニ屬スルモノナリト
 更ニ獨逸人ハ佛國ノ名稱ヲ借リテ露西亞電氣業界ヘ侵入セリ「ワルシヤワ」ニ於ケル
 佛蘭西株式會社「コムバニア、エレクトリチエストヴハ」即之ニシテ其ノ株式ノ大部分
 「Continental Gesellschaft für elektrische Unternehmen」ノ手ニ在リ該佛蘭西會社ノ株式ハ巴
 里取引所ニ於テ取引セラレツ、アリ
 以上記述セル所ヲ總括スレハ要ハ獨人カ露國ニ於ケル次ノ諸會社ノ實權ヲ左右シ
 ツ、アリト言フニ歸着ス

「Licht und Kraft」リヒトウインドクラフト所屬ノ部

創業年度	資本金
一八八六年電燈會社	四〇、〇〇〇
イマトラ會社	一一、二五
電力會社	九、〇〇
電力輸送會社	六、〇〇
A、E、G、所屬ノ部	
オデツサ電氣會社	三〇〇

南露電氣會社	一九〇二年	六九
中央電氣會社	一八九七年	三、二六
ラドム電氣會社	一九〇九年	三〇
キエーフ電氣會社	一九〇二年	六、〇〇
スモレンスク電氣會社	一九〇三年	七八
ハバロフスク電氣會社	一九一〇年	二五
ズゲルジュ電氣會社	一九〇七年	二〇
獨逸電氣事業會社	一九〇九年	一〇
「コンチネンタル」所屬ノ部		
ワルシヤウ電氣會社	一九〇四年	三、五六
總計		八四、八九

即獨逸ハ波蘭ノ全地域及彼得具羅士、莫斯科、バク、南露ノ工業中心地ヘ電力ヲ供給
 シツ、アル外彼得具羅士市内ニ於テハ白耳義株式會社タル「彼得具羅電燈會社」及彼
 得具羅士電氣工業會社ニ間接ノ利害關係ヲ有スルヲ利用シ市場ニ於テ自己ノ欲ス
 ルカ儘ノ條件ヲ實行セシメツ、アリ一九一四年度ノ「Le Reueuil Financiere」ノ報スル所

ニ依レハ彼得具羅士ニ於ケル三電燈會社ノ間ニ協約成立シ之ニ依テ同業者間ノ競争ハ艾除セラレ該協約ハ是等三者ノ經濟的關係ヲ鞏固ニシタルモノノ如シ猶注目ス可キハ該協約ノ定款ハ獨文ニテ草セラレ今日猶伯林ニ保存セラレ、テフ事ナリ

最近ニ到リ獨逸ノ爲政者ハ獨逸資本ノ海外流出ニ對シ有ユル防遏策ヲ講シ一九一三年ノ初メニ至リ普西亞商工大臣ハ伯林取引所ニテ取扱ヒ得ル外國有價證券ノ額ヲ最小限度迄低減シタルカ此ノ際同大臣ハ右規定ノ例外トシテ國民的利害關係ヨリ見テ伯林取引所ヘノ輸入ヲ可トスル外國有價證券ノミハ此ノ限ニ在ラストセリ換言スレハ伯林取引所委員會ハ同所ニ於ケル外國有價證券相場付ニ關スル審査ノ際主トシテ獨逸ノ國民的利害即政治的利害ヲ標準トシテ之ヲ決定ス可キコト、シ取引ノ損益ニ關スル問題ハ第二段ニ置カレツ、アリ斯克シテ外國有價證券主トシテ露國ヲ目標トセルモノナリカ伯林取引所ヘ侵入スルコト頗ル困難トナリ最近露國ノ新有價證券特ニ配當券カ獨逸ニ於テ換貨セラレタルモノハ殆ト言フニ足ラサル微些ナル額トナリ唯一九一三年「ウラヂカフカーズ」鐵道社債ノ換貨カ伯林ニ於テ好結果ヲ得タルニ過キス茲ニ一言スヘキハ同年露國伸鐵工場組合ノ株式カ伯林取引

所ニ於テ二回迄相場付ヲ延期セラレタルコト是ナリ獨逸資本家ハ古クヨリ同組合ノ事業ニ興味ヲ有シ新株式相場付ニ關スル請求カ既ニ當時伯林大銀行ノ署名濟トナルコトニ想到セハ當時露國有價證券カ如何ナル苦境ニ陥リタルヤヲ察知スルニ難カラサルナリ嘗テ伯林取引所ノ寵兒タリシ露國商業銀行株スラ辛シテ伯林ニ入レラレタル有様ニシテ之カ爲諸銀行株カ後ニ至リ巴里ヘ轉シタル事實ハ世人ノ周知スル所ナリ然ルニモ拘ラス露國電氣事業ニ對スル獨逸資本ノ放下ハ最近數年間殊ニ巨額ニ達シタリ开ハ次表ニ依リ其ノ眞實ナルコトヲ證シテ餘アリト謂フヘシ

露國電氣事業ニ對スル獨逸資本ノ流入

一九〇三年	一三、八四
一九〇八年	八、六三
一九〇九年	五、一八
一九一〇年	一三、三七
一九一二年	一〇、〇五
一九一三年	一七、二五
一九一四年	一五、九七

即チ一九〇三年ヨリ一九一四年ニ亙ル期間内ニ獨逸人カ直接利害關係ヲ有スル事業ニ對シ八千五百二十九萬留ノ獨逸資本ヲ新ニ投下シタルコトハ右表ノ示ス所ノ如シ而モ右表ハ是等資本金ノ増減ニ關シ興味アル事實ヲ指示ス即一九〇三年ニ於テ獨逸人ハ既ニ露國電氣事業ニ對シ頗ル興味ヲ以テ投資シ同年ノ流入額ハ一千三百八十四萬留ニ達シ既述セルカ如ク此ノ年ニ於テ一八八六年電燈會社ハ資本金額ヲ九百萬留彼得具羅士電燈會社ハ百六十五萬留増加シ一方ニ於テハ「ワルシヤ」電氣會社資本金三百十九萬留ヲ以テ營業ヲ開始セリ而シテ一九〇四年ヨリ一九〇八年ニ至ル四年間獨資金ノ流入ハ全然杜絶シ超ヘテ一九〇八年及一九〇九年ニ於テハ其ノ資本金増加ハ千三百八十一萬留一九一〇年乃至一九一二年ニ於テハ二千三百四十三萬留ヲ示シ更ニ一九一三年及一九一四年ニ至テハ三千三百二十二萬留ノ資本金増加ヲ示セリ既ニ一九〇八年及一九〇九年ノ頃ヨリ獨逸人ハ露國ニ於ケル經濟上ノ好況ヲ豫見シタルヲ以テ殊ニ競争ノ虞ナキ方面ノ開發ヲ志シ從來ノ電燈事業ノ増資ヲ行フト同時ニ數個ノ新株式會社ヲ創立セリ此ノ點ニ於テ尤モ注目ス可キ發展ヲ示シタルハ一八八六年電燈會社ニシテ一九〇八年乃至一九一四年ノ期間ニ於

テ資本金ヲ一千八百萬留ヨリ五千萬留ニ増加シ即三千二百萬留ノ増資ヲ行ヒ之ト同時ニ一九一三年ニ於テ同會社指導ノ下ニ二箇ノ電燈會社ヲ設立セリ其ノ一ハ「イマトラ」會社ニシテ他ハ「電力輸送會社」ナルカ其ノ資本金額ハ兩者ヲ合シテ一千七百二十五萬留ニ達セリ右ノ外一八八六年會社ノ經濟的援助ニ依リ電力會社ハ資本金四百三萬留ヨリ九百萬留ニ増加シタリ、上記諸會社ノ資本金額ノ異動ニ關スル詳細ハ左表ニ就テ見ルヲ便トス單位百萬留

年次	一八八六年會社	電力會社	イマトラ會社	電力輸送會社	合計
一九〇一年	六〇〇	四〇〇			一〇〇〇
一九〇三年	一五〇〇	四〇〇			一九〇〇
一九〇八年	一八〇〇	四〇三			二二〇三
一九〇九年	二四〇〇	四〇三			二八〇三
一九一〇年	三〇〇〇	四〇三			三四〇三
一九一二年	四〇〇〇	四〇三			四四〇三
一九一三年	四〇〇〇	四〇三	一一二五	六〇〇	六一二八
一九一四年	五〇〇〇	九〇〇	一一二五	六〇〇	七六二五

右表ニ示セルカ如ク一八八六年會社ト同一團體ニ屬スル諸電燈會社ノ資本金總額

ハ一九〇一年乃至一九一四年ニ於テ六千六百二十五萬留ノ増加ヲ見タルカ尙右期間各年度ニ於ケル増加額ヲ示セハ左ノ如シ(單位百萬留)

一九〇三年	+	九〇〇	一九一二年	+	一〇〇〇
一九〇八年	+	三、〇三	一九一三年	+	一七、二五
一九〇九年	+	六、〇〇	一九一四年	+	一四、九七
一九一〇年	+	六、〇〇			
	+	二四、〇三		+	四二、二二

即チ一九一二年乃至一九一四年ノ資本金増加額ハ四千二百二十二萬留ニシテ之ヲ一九〇三年乃至一九一〇年ノ二千四百三萬留若ハ一九〇八年乃至一九一〇年ノ一千五百三萬留ニ比スレハ異常ナル發展ト謂ハサル可カラス斯ノ如キ急激ナル増資カ相當ナル理由ニ基キシモノナルヤ否ニ付テハ左ニ掲クル一八八六年會社ノ決算報告ヲ檢覈スルヲ便トス(單位留)

年次	申込件數	收入總額	純益
一九〇八年	二〇、二四六	六、五四七、六七三	二、五六〇、九〇三
一九〇九年	二四、五〇二		三、三七三、一五一

一九一〇年	三〇、五三九	七、六七二、〇四七	三、九八一、三七八
一九一一年	四二、五一六	八、九七五、三六二	四、五三八、八〇一
一九一二年	五九、五八七	一一、二七六、〇六〇	五、三四七、八八四
一九一三年		一三、七一二、五五七	六、〇三五、六九一

右表ニ依レハ一九〇八年ヨリ一九一二年ニ至ル同會社ノ申込件數ハ三九、三四一ノ増加ニシテ而モ此ノ増加カ同會社ノ各事業地域ニ於ケル共通ノ事實ナルコトハ左表ニ依テ之ヲ知ルコトヲ得

莫斯科 彼得具羅士 ロツヂ	申込件數			
	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年
莫斯科	二二、一〇三	一四、五九九	一八、三三〇	二七、〇三四
彼得具羅士	七、五五三	八、九七五	一〇、七三三	二二、六六八
ロツヂ	五、八七	五、八	一、五七七	二、八二四
合計	二〇、二四七	二四、五〇二	三〇、五九九	四二、五二六

更ニ同會社ノ年收總額カ一九〇八年乃至一九一三年ノ期間ニ於テ七、一六四、八八四留ノ増加ヲ示シ純益ニ至リテハ三、四七四、七八八留ノ增收ヲ見タリ而テ右一九〇八

年乃至一九一三年ノ期間ニ於ケル同會社ノ純益總額ハ二五、八三七、八〇八留ニシテ其ノ中一四、六一〇、〇〇〇留ヲ配當トシテ支出シ尙右會社ノ重ナル株主ハ獨逸ニ住スル獨人ナルヲ以テ右ノ一四、六一〇、〇〇〇留ノ殆ト全額ハ獨逸ヘ送金セラレタルモノト見サル可カラス純益分配ノ割合ハ左ノ如シ(單位留)

年次	株主ヘノ配當	積立及銷却基金	租	税
一九〇八年	一、四四〇、〇〇〇	七二〇、四〇〇		一九四、〇〇〇
一九〇九年	一、九五〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇		二五四、〇〇〇
一九一〇年	二、一六〇、〇〇〇	一、一三二、〇〇〇		三〇八、〇〇〇
一九一一年	二、五二〇、〇〇〇	一、二三四、〇〇〇		三五五、〇〇〇
一九一二年	三、〇七〇、〇〇〇	一、四六〇、〇〇〇		四一〇、〇〇〇
一九一三年	三、四七〇、〇〇〇	一、七四〇、〇〇〇		
合計	一四、六一〇、〇〇〇	七、〇八六、四〇〇		

次ニ注意スヘキハ獨逸資本家カ露國ノ最富裕ナル地方即彼得具羅士、莫斯科、バク「ロツヂ」等ノ地域ニ於テ事業擴張ヲ行ヒ其ノ他ノ諸地方ニ對スル資本注入ハ頗ル微弱ナル事ニシテ左表ニ依リ其ノ一斑ヲ視フヲ得ヘシ(單位百萬留)

年次	一九〇一年	一九〇三年	一九〇九年	一九一〇年	一九一二年
オデツサ會社	110	113	169	310	310
南露會社	326	326	326	326	326
中央電氣會社	400	400	400	600	600
ラドム會社	400	400	400	600	600
キエフ會社	400	400	400	600	600
スモレンスク會社	400	400	400	600	600
スケルジュ會社	400	400	400	600	600
電力會社	400	400	400	600	600
電力事業會社	400	400	400	600	600
ワルシヤワ會社	400	400	400	600	600

最近數年間ニ於ケル新資金ノ投下ハ主トシテ「オデツサ」並ニ「キエフ」ニ向ヒタリト雖モ彼得具羅士、莫斯科、ロツヂ等ノ地方ニ比スレハ其ノ額ヤ頗ル微些タルモノト謂フ可シ而シテ前表ニ擧ケタル諸會社資本金ノ増加ハ次ノ如シ(單位百萬留)

年次
一九〇一年 八、四八
一九一〇年 一八、四二
年次
一九一一年 一三三

一九〇三年 一一、六七 一九一二年 一八、四二二
 一九〇八年 一一、八七 一九一三年 一八、四二二
 一九〇九年 一一、〇五 一九一四年 二〇、四二二
 即一九一〇年乃至一九一四年ノ期間ニ於ケル右諸會社ノ資本増加ハ僅々二百萬留
 ニ過キス

「バク」並ニ「ロッヂ」ヲ除キ地方都會中獨人ノ注目ヲ惹キタルハ「キエフ」及「オデッサ」ナ
 リトス而シテ「オデッサ」電氣株式會社ノ組織カ露國地方都會ニ於ケル新電氣事業創
 立ニ對スル獨逸事業家最近ノ試ミナルヲ以テ同會社事業ノ詳細ヲ述フルモ敢テ無
 益ノ業ニ非サルヘシ本會社ハ白耳義會社トシテハ公ニ登記ヲ受ケ白耳義資本團ノ
 管理ノ下ニ屬スルカ如キモ右白耳義資本團ノ主動者ハ依然トシテ獨逸人ニ外ナラ
 ス、創業ハ一九一〇年ニシテ資本金八百萬法、之ヲ八萬株ニ分チ一株百法トセルカ其
 ノ大部分ハ Gesellschaft für elektrische Untersuchungen ニ於テ一萬二千株 Société financière de
 Transports et d'Entreprises Industrielles ニ於テ一萬二千株 Société générale belge d'Entreprises
 Electriques ニ於テ二萬四百株ヲ占メ居レリ而カモ本會社カ如何ニ時機ニ投シタルカ
 ハ一九一〇年乃至一九一一年ノ事業年度ニ於テ普通株ニ對シ五四七%、一九一一年

乃至一九一二年ノ事業年度ニ於テ六、四〇%、一九一二年乃至一九一三年ノ事業年度
 ニ同ク六、四〇%ノ配當ヲ爲シタルニ徴シテ明カナリ隨テ「ブルツセル」取引所ニ於ケ
 ル相場モ漸次騰貴シ、一九一二年十二月一日以降ノ株式相場ハ前年度末ノ百五十五
 ニ對シ百六十一ノ高値ヲ唱フルニ至レリ、尙本會社創立以來ノ事業ニ關シ一層詳細
 ナル材料ヲ求メント欲セハ左表ニ就テ之ヲ窺フヲ得ヘシ(單位法)

年 度	總 收 入	純 益	配 當 金	積 立 金
一九一〇年	1,077,309	42,757	26,140	19,888
一九一一年	1,160,079	56,932	37,130	15,787
一九一二年	1,460,504	74,762	57,100	63,341

右ノ如ク本會社ハ三年間ニ尠少ナラサル金額ヲ積立金ニ繰入レタルカ定款ニ依レ
 ハ毎年ノ積立金繰入ハ漸次低減スヘキモノナルヲ以テ本會社ハ營業稅納付ヲ避ケ
 ンカ爲一九一二年四百萬法ノ四分半利社債ヲ發行シ該社債ノ大部分ヲ會社自身ノ
 筐底ニ藏シタルハ察スルニ難カラサルナリ、此ノ方法ハ白耳義ニ於テ登記セラレタ
 ル多數ノ會社ニ就テ窺知シ得ル所ニシテ其ノ尤モ適當ナル實例ハ彼得具羅士ニ於
 ケル白耳義電燈會社ナリ、同會社モ多數ノ關係獨逸人ヲ有セルカ其ノ年收中ノ少カ

ラサル金額ヲ同會社發行ノ社債利息支拂トシテ除去セリ即一九一三年度收入額五百八十六萬三百三十七法ノ中ヨリ社債利子支拂ニ控除シタル金額ハ實ニ百十五萬二千三百六十三法ニ上レリ

尙白耳義會社タル彼得具羅士電燈會社並ニ同社ノ管理セル他ノ二會社ノ資金移動ヲ示サムカ爲左表ヲ掲ク(單位百萬法)

年次	彼得具羅士電燈會社	電氣工業會社	コウノ電燈會社	總計
一九〇一年	二二八	六〇〇	六〇〇	八二八
一九〇三年	三、九三	六〇〇	六〇〇	九、九三
一九〇八年	三、九三	一、一六〇	一、一六〇	一、五五三
一九〇九年	三、九三	一、一六〇	一、一六〇	一、五五三
一九一〇年	三、九三	一、一六〇	一、一六〇	一、五五三
一九一二年	三、九三	一、一六〇	一、一六〇	一、五五三
一九一三年	三、九三	一、一六〇	一、一六〇	一、六〇三
一九一四年	三、九三	一、一六〇	一、一六〇	一、六〇三

彼得具羅士ニ就テノミ見レハ白耳義會社タル彼得具羅士電燈會社ハ彼得具羅士ニ現在セル三電燈會社中第一位ヲ占メ居レリ次ニ是等三會社ノ申込件數表ヲ示セハ

左ノ如シ

年次	彼得具羅士電燈會社	電氣工業會社	一八八六年會社	總計
一九〇八年	一四六二	一〇、五七二	七、五五七	三、七四〇
一九〇九年	一六、五四九	二、三二六	八、九七五	三、七八四〇
一九一〇年	一九七二〇	一四、二二二	一〇、七三三	四、四六九三
一九一一年	二四、二一六	一七、一九九	二、六六八	五、三九八三
一九一二年	二七、五九二	一九、八七四	?	?

更ニ白耳義會社タル彼得具羅士會社ノ收入表ヲ示サム(單位法)

年次	總收入	營業經費(百分比)	總收益	社債利息	純益
一九〇三年	三五、〇一六九	四八四	一七、五三〇四一	九〇、五四三六	八、四七六〇四
一九〇四年	四二、三、四〇九	四四九	二二、六〇五五	九八、二七四	一、二五七、七九
一九〇五年	四二、七、九五三	四五四	二二、六四四九一	九八、〇七九八	一、二八三、六九三
一九〇六年	四九、五、〇〇〇	四一四	二八、〇八八二七	九四、九五二	一、八一三、六六四
一九〇七年	五五、二、九〇四三	三九六	二二、九五五九	九六、八二二九	一、一五二、三四〇
一九〇八年	六一、三、四七三	三九四	三六、一六三三三	九八、〇六三五	二、六三五、〇一〇
一九〇九年	六四、六、三四三	三七二	三九、三三三二二	一〇〇、一、七六	二、九三四、一三五

一九一〇年	七,三三,五五九	(一)	三五二	四,五九,九二二	一〇,九〇,〇六二	三五〇九,一四九
一九一一年	八〇九五,四七三	(二)	三四九	五,二七,八一	一一,二六,五二八	四〇九〇,六六三
一九一二年	八,九六九,一四四	(一)	三四四	五,八六〇,三三七	一一,五二,三六三	四七〇七,九七四

ノ如ク總收入ハ間斷ナク増加セルニ反シ營業經費ハ漸次低減シ一九一二年ニ至リテハ三四・四%ナル低率ヲ示スト同時ニ總收益ハ一九〇三年ノ一、一五二、三六三法ヨリ五、八六〇、三三七法ノ額ニ上リ社債利息支拂ハ九〇五、四三六法ヨリ一、一五二、三六三法ニ純益ハ八四七、六〇四法ヨリ四、七〇七、九七四法ニ増加セリ、純益ノ分配方法ハ左ノ如シ

年次	積立金及 銷却基金	租 稅	配 當	株式 配當
一九〇三年	三,一九,一〇〇	三,五,五二七		優先株 五,〇〇〇
一九〇四年	三,三三,五〇〇	四,〇三,三九九	二,一〇,〇〇〇	普通株 二,二五〇
一九〇五年	三,二七,七三四	四,一八,九〇六	五,五〇,〇〇〇	〇
一九〇六年	四,三一,八四五	五,〇九,四六一	八,六〇,〇〇〇	〇
一九〇七年	三,九九,五四五	六,二二,四三三	一,一三,一七〇	五,〇〇〇
一九〇八年	三,九二,二七三	七,八,三三五	一,一八,一三〇	一,四二〇
一九〇九年	四,八,一〇一	八,四九,一一一	一,四一,五二五	一,八七五
一九一〇年	五,五二,一八六	九,九九,九二五	一,六七,一〇五	二,三〇〇

一九一一年	五九六,一六三	一一,四四,四〇七	二,〇一,三五〇	二七六〇	四一,五〇〇
一九一二年	七二七,三四	一三,二六,七九九	二,二八,〇三〇	三〇,一〇	五〇,〇〇〇

前述ノ如ク白耳義會社タル彼得具羅士電燈會社ハ彼得具羅士電氣工業會社ノ事業ヲ管理セルカ該會社ノ營業成績ハ左ノ如ク(單位法)

年次	總 收 入	經營費(%)	純 益
一九〇七年	三,九七四,一九三	五四	
一九〇八年	四,六五三,八二六	五三	
一九〇九年	五,三六四,五三七	四七	二,四八〇,〇一七
一九一〇年	五,七三二,八四〇	四四	二,七六四,七〇二
一九一一年	六,一五六,四七八	四四	二,九六七,七九〇

其ノ純益ノ主ナル分配ハ次ノ如シ

年次	積立金	租 稅	配 當	株式 配當
一九〇九年	二,八四,〇〇一	一,七七,七三三	二,〇四,一六〇	四三,八九
一九一〇年	二,九八,三三五	一,六五,三三三	二,一〇八,〇〇〇	四七,四七
一九一一年	三,五五,〇〇天	一,八〇,〇〇〇	二,四二二,八〇〇	五,八六

又白耳義會社タル彼得具羅士會社ノ株式ハ「ブルツセル」取引所ニ上場セラレツ、アルカ該取引所ニ於ケル相場ノ變動ハ左表ニ明カナリ(單位法、十二月三十一日現在)

年次	普通株	優先株
一九〇三年	五二	一七三
一九〇四年	一〇九	二四〇
一九〇五年	一一一	二五〇
一九〇六年	一五五	二六五
一九〇七年	五〇〇	三六〇
一九〇八年	七六〇	四二五
一九〇九年	九〇〇	四五〇
一九一〇年	一、一三五	四四五
一九一一年	九九五	五三〇
一九一二年	九一五	四七〇

備考 本會社ノ株式ハ券面價格二百五十法ナリトス

露國電機工業界ニ於ケル獨逸資本運輸ノ研究ニ轉スルニ先チ第一ニ注意ス可キハ

此ノ方面ニ於テモ最近數年間ニ亘ル新資本ノ流入カ極メテ顯著トナリ、資本金總額ハ一九〇九年ノ二千百十一萬留ヨリ四千三百五萬留(一九一三年)即チ二倍以上ノ巨額ニ達セリ、獨逸人カ株式ノ大多數ヲ掌握セル各種電機事業ノ資本金増加ノ狀態ハ左表ニ依リテ其ノ詳細ヲ知り得ヘシ

	一九〇二年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇九年	一九一一年	一九一二年	一九一三年
萬國電氣會社	一〇〇	六〇〇	六〇〇	七〇〇	八〇〇	八〇〇	一一〇〇
聯合ケーブル工場	—	—	—	四八〇	四八〇	六〇〇	六〇〇
シーメンズ、ハルスケ	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇
シーメンズシュツケルト	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	一五〇〇
波蘭工場、シーメンズ	—	—	—	—	—	一〇〇	一〇〇
チエドール	六〇	七〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	二四〇
ウオールド	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇
計	一〇七〇	一五八〇	二二一五	二二一一	三二一一	二五八五	四三〇五

以上ノ統計ヲ以テ觀ルモ最近數年間獨逸人カ露國電氣及電機工業界ニ對シ如何ニ必死ノ努力ヲ爲シツ、アルカヲ察知スルニ難カラス獨逸金融界カ非常ナル危機ニ瀕シタルニモ拘ラス同國ハ常ニ相當ナル額ノ新資金ヲ有シ露國ニ於ケル電氣事業

界ニ對スル各種ノ計畫ヲ實現スルノ餘裕ヲ有セリ、即一九一三年及一九一四年度ニ於ケル露國電氣事業ハ一億一千八百三十四萬留ノ獨逸資金ノ流入ヲ受ケ之ヲ類別スレハ電氣事業八千五百二十九萬留、電機事業三千三百五萬留ナリトス更ニ顯著ナル新資金流入(七千九百五十九萬留)ヲ見タルハ露國ニ於ケル工業勃興時代即一九一〇年ヨリ一九一四年ニ至ル期間ニシテ此ノ時代ハ新資金ヲ吸收スルノ好機會ニ在リシヲ以テ從來自己ノ指導ノ下ニ露國資本ヲ以テ露國ニ新シキ工業ノ創立ニ努力セル獨逸人ハ遂ニ自ラ進テ露國ニ於ケル電機及電氣事業ヲ經營スルニ至リシナリ右ハ該事業カ好收入ヲ齎ラスカ爲ノミナラス關稅關係モ之カ原因ヲ爲セルハ疑ヲ容レサル所ニシテ獨逸人ハ露國カ通商條約ヲ改正シテ關稅收入ノ増加ヲ計ラムトスルヲ聞クヤ早クモ電機會社ノ支社ヲ露國內ニ設置シ且ツ同一目的ノ爲既設諸會社モ亦其ノ營業ヲ擴張スルニ至リシモノトス

第二章 露國電機事業ニ於ケル獨逸資本

獨逸ニ於テ電機並ニ電氣事業ヲ營ム各種商工業團體ハ互ニ密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ事實上米國ニ於ケル「トラスト」ニ酷似セル有力ナル一大「トラスト」ヲ形成セルヤノ觀アリ由來獨逸ハ「シンデケート」ニ就テハ古キ歴史ヲ有スル國ナルヲ以テ「トラスト」ニ類似セル組織ノ發生ヲ見ル蓋シ怪シムニ足ラス、若シ斯カル有力ナル組織ナカリセハ獨逸電機事業ハ歐洲及南米ニ於テ今日ノ如ク華々シキ勝利ヲ獲サリシナラン最近二十年間獨逸電機事業ハ不撓不屈ノ意氣ヲ以テ一步一步外國ニ於ケル絶對的優勝者ノ地位ヲ占メタルモノニシテ此ノ獨逸資本ノ侵入ニ對シテハ民族の觀念モ政治的の見地モ之ニ對抗スヘキ何等ノ効果ヲ舉クル能ハサリキサレハ彼ノ愛國的精神ニ富メル佛國人スラ萬能ナル獨逸「トラスト」カ欲スル儘ノ條件ノ下ニ之ニ屈伏スルノ悲況ニ陥リシニ非スヤ

マロツコ問題ニ依テ生シタル獨佛ノ衝突漸次逼迫シ來レル際ニ當リ佛蘭西ノ銀行界カ獨逸ノ信用機關ニ對シ必死ノ宣戰ヲ爲シ自國資本ノ大部分ヲ獨逸ヨリ回收シ

タル場合ニ於テスラ佛國內ニ投下セラレタル獨逸資本ハ自己勢力ノ擴張ヲ持續セリ
 斯ルカ故ニ佛國ニ比シ工業幼稚ニシテ資本豊富ナラサル露國ニ於テハ獨逸電機
 工業カ殆ト獨占的地位ヲ保有セルハ敢テ怪ムニ足ラサルナリ

事實上露國ニ於ケル獨逸ノ電氣事業ノ各支部ハ諸工場諸會社諸官省ニ對シ其ノ注
 文ノ大部ヲ引受ケツ、アルヲ以テ露國ニ於ケル大工事ハ一トシテ獨逸人ノ手ニ依
 ラサルハ無シト云フモ過言ニ非サルナリ吾人ハ露西亞會社タル「萬國電氣會社」重役
 會ノ一九一一年度報告中ニ左ノ如キ興味アル事實ヲ發見セリ

「本重役會ハ昨年中ニ於ケル顯著ナル現象トシテ陸海軍並ニ鐵道事業ノ所要ニ對
 スル大注文ノ簇出スルヲ見タルカ其他電燈會社並ニ電力輸送會社ノ新築及從來ノ
 會社ノ擴張ニ關スル註文件數ノ増加モ亦特筆ニ價スルモノト信ス」

又一九一二年度ノ報告ニ就キテ右重役會ノ述フル所ヲ見ルニ收穫ノ好況其ノ他ノ
 事情ノ爲一九一二年ニ於テ向後露國經濟生活ノ向上ヲトシ得ヘク又右ノ事情ト聯
 關シテ巨額ナル政府ノ注文ノ爲該年度中ノ該會社ノ狀況ハ概シテ好況ナリノミナ
 ラス海軍省ノ注文ハ數年間ニ向テ我工業界ニ保障ヲ與ヘタルモノナリト云フ最後
 ニ一九一三年度ノ報告ヲ檢スルニ該重役會カ次ノ如キ事實ヲ指示セルヲ見ル即公

私諸機關ヨリ受ケタル注文ノ爲該會社ノ事業ハ同年度内ニ於テ著シキ發展ヲ遂ケ
 タリ註文件數ハ前年ニ比シ二十五%ノ増加ニシテ現在仕殘シタル注文文件數ハ前年
 度ノ總註文件數ヲ超過セリト

要スルニ同會社ハ伯林ニ於ケル「萬國電氣會社」ノ支社ニ外ナラサルヲ以テ上記事實
 ニ對シ特ニ説明ヲ加フル要アルヲ見ス

蓄電機製造株式會社「チュドール」重役會ノ發表シタル一九一三年度ノ報告ニ依レハ
 該年度ニ於ケル事業ハ前年度ニ比シ顯著ナル發達ヲ示セルカ移動式電池製造ニ於
 テ特ニ其ノ然ルヲ見ル新年度即一九一四年ノ始ニ當リ仕上未了ニ終リタル註文件
 數ハ前年度ノ註文件數全部ニ匹敵スルノミナラス該年度間ニ受ク可キ見込アル註
 文件數ハ敢テ前年度ニ劣ラサルヲ確實ニ豫想スルヲ得タリ

之ト同様露國電機株式會社「シーメンズ、ハルスケ」シユツケルト會社「其他ノ報告中ニ
 モ偉大ナル事業成功ヲ語り居レルカ就中「シーメンズ、ハルスケ」強力電流會社ノ事業
 ノ發展ハ目醒シキモノニシテ一九一三年ニ至テハ事業ノ一部ヲ割キテ「シユツケル
 ト會社」ニ合併シ該會社ヲ改造シテ「シーメンズ、シユツケルト」ト命名セルカ之カ爲株
 式會社「シユツケルト」ハ獨逸銀行ノ補助ヲ得テ資本金三百萬留ヨリ一躍一千五百萬

留ニ増加セリ此際「シームンス、ハルスケ會社」ハ其ノ讓渡シタル事業ニ對シ「シームンス、シュツケルト會社」ノ株式千百萬留(券面額)ヲ受領シ其ノ中千萬留ヲ伯林ニ於ケル「シームンス、ハルスケ株式會社」ヘ轉附セリ右ハ該年度ニ於テ同會社カ前年度ニ比シ約二百萬留ノ膨脹ヲ來セル負債ノ償却ニ充テタルモノトス

斯クノ如クシテ此ノ偉大ナル經濟的勢力ノ糾合カ伯林ニ於ケル「シームンス、ハルスケ會社」ノ助力ニ依リテ實現セラレ露國ニ於ケル獨逸電機工業界ニ新時期ヲ劃スルニ至レリ又弱流電氣界ニ於テモ個々ノ註文者トノ事業關係ヲ發達セシムルノ目的ヲ以テ露國ニ於ケル「シームンス、ハルスケ會社」(伯林ニ於ケル同名ノ會社)ノ支社タリ「シームンス、シュツケルト會社」ト聯絡ヲ保テル數多ノ事業ヲ開始セリ一九一二年「ルシヤウ」ニ於ケル露國電氣工業會社「シームンス、ハルスケ」ノ支社ハ内部ノ改造ヲ行ヒ資本金百萬留ヲ以テ獨立セル株式會社「シームンス」ト改稱セリ

同會社ノ營業ハ極テ好況ナリシヲ以テ内部改造ノ際多クノ追加支出アリシニモ拘ラス第一營業年度ニ於テ既ニ資本金ニ對スル三%ノ配當ヲ爲スヲ得タリ

別ニ興味アル研究ノ對象トモ認ム可キハ「聯合ケール工場」ニシテ同會社ハ露國ニ於ケル獨逸事業ノ狀態ニ明瞭ナル解説ヲ與フルモノナリ

獨逸ニ於テハ原料ノ購入並ニ補助的物資ノ生産ニ關スル共同作業組織カ著シク發達セルハ既知ノ事實ナルカ又ハ同時ニ或會社ノ補助的物資生産ニ屬スル事業ヲ割キテ他會社ヨリ財政ノ補助ヲ仰ケル新設株式會社ニ合併セルノ實例モ亦尠カラス斯クノ如キ事業組織ノ發達ニ伴ヒ諸種ノ事業ハ其ノ原料並ニ補助的物資ノ供給ニ關シ多大ノ便宜ヲ得ヘキハ言ヲ俟タサル所ナリ

上記ノ組織ハ露國ニ於テモ獨逸會社ニ依リテ廣ク實行セラレタル所ナルカ此ノ適切ナル例トシテハ株式會社「聯合ケール工場」ヲ舉クルヲ得ヘシ本會社ハ一九〇六年露國電機會社「シームンス、ハルスケ」並ニ「萬國電氣會社」及外國會社「フエルテン」及ギリオム、ライン河畔ミユルハイム市ラマイエルケ「ニ依リテ設立セラレタルモノナリ

而シテ同會社ノ事業ニ對シ上記諸會社カ主トシテ關與セルコトヲ證明センカ爲ニ一九一三年四月九日開催セル株主總會ノ記事中ノ一節ヲ爰ニ引用センニ右記錄ニ依テ見レハ最多額ノ出資者ハ「シームンス、ハルスケ」ニシテ其ノ株數ハ六千二百三十五、次位ハ「萬國電氣會社」並ニ「フエルテン、ハルスケ」ニシテ何レモ六千二百二十合計一萬八千四百七十五ナリ而シテ同會社ノ資本金總額ハ四百八十萬留ニシテ之ヲ一株ニ

百五十留即一萬九千二百株ニ分割セラレ居レハ同會社ニ於ケル獨逸資本ノ勢力ハ
想察スルニ餘アリ、後日發行シタル新株四千八百株(總額百二十萬留)モ亦上記諸會社
ノ間ニ分配セラレタリ

本會社ノ營業種目ハ多岐ニ涉リ銅線、青銅線、電車用電線、棒狀電氣銅、線狀電氣銅、分離
導線、電信線、電話線、電燈線、電力傳導線、坑道用電氣信號線、強弱電流用各種線條等ナリ
本「聯合ケーブル工場」ハ他ノ三會社ト共ニ「Abnehmer-Synhikat」即鋼購買「シンデケート」ニ
關與シ又同時ニ露國鑄銅工場「シンデケート」メーヂト協約關係ヲ結ヘリ
狀況右ノ如クナルヲ以テ「聯合ケーブル工場」ノ營業カ日進月歩ノ勢ニテ膨張シツ、
アルハ敢テ異數トスルニ足ラス左ニ一表ヲ掲ク

年次	資本金	純益	配當
一九〇七年	四、八〇〇、〇〇〇	四一五、一〇四	五分
一九〇八年	四、八〇〇、〇〇〇	五七五、四五八	七分
一九〇九年	四、八〇〇、〇〇〇	六四三、五九九	七分
一九一〇年	四、八〇〇、〇〇〇	七〇二、五三七	八分
一九一一年	四、八〇〇、〇〇〇	八〇七、六六七	八分

一九一二年

六、〇〇〇、〇〇〇

九六九、一四八

八分

一九一三年

六、〇〇〇、〇〇〇

一、三九九、三二五

一分

而テ本會社一九一三年ニ於ケル運轉資本金額ハ實ニ千四百八十萬留ノ巨額ニ達シ
一九一二年ノ千百六十萬留ニ比シ三百二十萬留ノ増加ヲ示シタルハ特ニ注意ス可
キコトナリトス

右ニ掲ケタル「ケーブル工場」ノ決算報告ハ露國ニ於ケル獨逸電機工業ノ異數ナル成
功ヲ證明スル好箇ノ材料ナリ

尙吾人ハ個々ノ會社ヲ研究スルニ先チ一九一四年一月一日現在ニ於ケル獨逸人ノ
經營ニ係ル諸會社ノ資本金總額ヲ檢覈スヘシ(單位百萬留)

創立年度

資本金

萬國電氣會社

一九〇一

一、二〇〇

「シーメンズ、ハルスケ」

一八九八

五、六〇〇

「シーメンズ、シュツケルト」

一九一三⁽³⁾

一五、〇〇〇

(1)但「シュツケルト會社」ノ創立ハ一九〇〇年ナリ

聯合ケーブル工場

一九〇六

六、〇〇〇

波蘭電氣會社「シューメンス」	一九一二年	四〇〇
ウオルタ株式會社	一八九九年	一〇〇〇
合計		一、〇〇〇

右ノ諸會社ノ株式中取引所ニ上場セラル、モノハ唯「萬國電氣會社」並ニ「シューメンス」ハルスケ會社ノミニシテ「萬國」株ハ伯林及彼得具羅士ノ取引所ニ上場セラルト雖モ彼得具羅士ニ於テハ形式的ニ止リ又「シューメンス」ハルスケ株ハ唯彼得具羅士取引所ニ於テ形式的ニ上場セラル、ニ過キス

「萬國電氣會社」ハ一九〇一年伯林ニ於ケル同名ノ會社ノ彼得具羅士支部ヲ改造シタルモノニシテ其ノ目的トセル所ハ電氣工業ノ整理開發、電氣機械其ノ他附屬物ノ製造販賣並ニ電力應用ヲ基礎トセル各種事業ノ開拓ニ在リ、最初本會社ノ資本金ハ百萬留ナリシカ一九〇五年獨逸會社「ウニオン」ノ支部タリシ電氣會社「ウニオン」ノ主要財産取得ノ目的ヲ以テ「獨逸會社」ウニオンノ財産モ同様ニ伯林ニ於ケル「合同電氣會社」ノ有ニ歸セリ、資本金ヲ六百萬留ニ増加シ一九〇九年更ニ七百萬留、一九一一年八百萬留ト爲シ遂ニ一九一三年千二百萬留迄ニ増資セリ

右資本金増加ニ關シ一九一二年ニ開催ノ株主總會ニ於ケル重役會ノ報告中ニ興味

アル理由ヲ記述セルカ其ノ述ヘタル所ヲ見ルニ露國工業ノ勃興並ニ陸海軍々需品供給鐵道建設等カ本會社ノ營業ニ反響ヲ與ヘ且ツ將來ニ於ケル活動ノ自由ヲ保有シ更ニ金融市場ノ狀況等ニヨリ本事業カ左右セラル、ノ虞無カラシムルカ爲メ重役會ハ株主總會ニ向ヒテ四百萬留ノ資本金増加ヲ提議スト説ケリ

而シテ右四百萬留ノ新株ノ發行價格ニ付テハ額面價格ノ一三五%ト決定セリ嘗テ一九一一年新株發行ノ際換貨セル株式價格ハ僅ニ一一〇%（發行總額百萬留）一九〇九年發行ノ際ハ一〇〇%ニ過キサリシナリ（發行總額同シク百萬留）而カモ本會社ノ株式ハ一四〇%ノ相場ニテ伯林取引所へ上場セラレ一九一二年ノ相場ハ既ニ一五六、五〇%ヲ唱フルニ至レリ、次ニ本會社ノ收入如何ヲ見ルニ（單位留）

年次	資本金	純益	配當
一九〇七年	六〇〇〇、〇〇〇	四九八、九〇八	四
一九〇八年	六〇〇〇、〇〇〇	六九六、六二七	六
一九〇九年	七〇〇〇、〇〇〇	七六九、三〇一	六
一九一〇年	七〇〇〇、〇〇〇	八二九、〇四二	七
一九一一年	七〇〇〇、〇〇〇	一、〇五一、三六五	八

一九一二年 八、〇〇〇、〇〇〇 四二
 一九一三年 一、二〇〇、〇〇〇 一、二九五、六一八 九
 一、七五一、四七九 九、四
 ノ如クニシテ其ノ純益ノ處分方法ハ左ノ如シ(但シ主要科目ノミヲ掲ク)

年次	租	税	配	當	銷	却	積	立
一九〇七年		二〇、〇〇〇		二四、〇〇〇		一八九七、四五		二五、五七三
一九〇八年		六五、〇〇〇		三六、〇〇〇		一九五、〇〇〇		三三、七六五
一九〇九年		八五、〇〇〇		四一、〇〇〇		二二、一九五		三八、四六六
一九一〇年		五〇、〇〇〇		四九、〇〇〇		二〇、六五二		四一、三五三
一九一一年		一一〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇		二六、三七六		五、五七〇
一九一二年		一五〇、〇〇〇		七〇、〇〇〇		二八、二二七		六四、七六一
一九一三年		一〇〇、〇〇〇		一一八、〇〇〇		三四、二六四		八七、五七四

本會社ハ工場ヲ「リガ」ニ置キ支社ヲ全国各地ノ大都市ニ設置セリ即チ彼得具羅士(本社)浦鹽斯德、エカチエリンブルク、エカチエリンスラフ、イルクレーツク、キエフ、ロツヂ、オデッサ、オムスク、リガ、ドン・ロストフ、サマール、ソスノーギツイ、タシケント及ハリコフトス

本會社ノ主タル株主カ殆ト獨逸人ノミナルコトハ一九一四年五月七日ノ總會記録

ニ依リテ明カナリ右總會ニ於テ三十三名ノ株主ハ三萬一千六百九十六株ヲ供託シテ三千百六十七票ノ株主權ヲ行使シ三萬三十二株ヲ供託シタル十六人ノ株主ハ二千七百八十八票ノ株主權ヲ行使セリ最大多數ノ株ノ所有者ハ Allgemeine Elektrizitäts-Gesellschaft (在柏林)ニシテ四千八百株 Bank für Handel und Industrie 三千二百 E. Landhoff (柏林銀行團長)二千五百 Direction der Disconto-Gesellschaft 二千四百五十 Baron Wrangel 一千二百八十三株ナリ

露國電氣工場株式會社、シーメンズ、ハルスケ「モ亦之ト伯仲ノ間ニ在リ本會社ノ營業種目ハ力學機械、發動機及附屬品電信電話信號機、電車、電燈其ノ他ノ電氣設備等ニシテ支社ヲ莫斯科、ハリコフ、バクー、オデッサ、ソスノーギツイ、エカチエリノスラフ、エカチエリンブルク、ドン・ロストフ、浦鹽、ウオロネージニ置ケリ

露國ノ電氣事業界ヲ風靡セル獨逸資本ハ芬蘭ヲモ閉却セシテ柏林會社タル「萬國電氣會社」ハ「ヘルシング」フオルス「並ニ「アポー」ニ獨立セル支社ヲ有セルノミナラス獨逸資本ハ其他ノ芬蘭電機電氣會社ニ對シ直接關係ヲ結ヒ居レリ「ヘルシング」フオルス「ニ於ケル」クラフト株式會社「ガングス」電氣株式會社等其ノ好適例ニシテ芬蘭ノ諸市ニ於ケル總テノ發電所ハ悉ク獨逸人ノ設立ニ係ルト云フモ過言ニ非サルナリ、斯

ノ如キ現象ハ抑モ芬蘭ノ市債ヲ獨逸市場ニ賣出スニ當リ、都市經營ニ關スル一切ノ事業ハ獨逸商會ノ手ニ依テ行フヘキ條件ヲ附シタル結果ニシテ芬蘭市債カ獨逸市場ニ於テ好人氣ヲ有スルハ右ノ事實ニ依リ之ヲ説明スルヲ得ルモノナリ是ノ故ニ芬蘭市債ノ賣出ニ依リ生スル金額ハ獨逸商會ノ行ヒタル諸種ノ工事ニ對スル支拂金ノ形ニ於テ悉ク獨逸ヘ戻入スルモノトス

斯ノ如クナルヲ以テ獨逸カ外國公債引受ノ際ニ用ヒタル經濟政策ハ今次ノ大戰後ノ整理ノ際世ノ注意ヲ惹起ス可キハ想像ニ難カラス猶一九一三年末ニ當リ獨逸カ右同様ノ政策ヲ露國ニ對シテモ實施シ得可シト思惟シタルハ興味アル事實ト云フヘシ當時一般獨逸人ハ近キ將來ニ於テ露國カ獨逸ニ向テ新ニ鐵道公債ヲ募集スヘシト豫想シタルカ其際「フランクタルト新聞」ハ其社説ニ於テ右公債引受ノ場合ニ當リ鐵道注文ヲ獨逸諸會社ニ引渡スコトヲ必然ノ條件ト爲ス可キヲ論シタリ

第三章 露國鐵工業ニ於ケル獨逸資本

製鐵事業ニ對シ最モ重要ナル原料ハ滿俺礦ニシテ該礦石ノ採掘地ハ南露高加索ニ於ケル「シヨラバン」郡トシ且ツ「ウラル」地方ニ於テ少量ノ採掘行ハレツ、アリ、高加索ニ於ケル滿俺坑ハ礦石ノ滿俺含有量ニ就テ見ルモ又未採掘礦量ニ就テ見ルモ世界有數ノモノニシテ爲ニ露國ハ最近ニ至ル迄滿俺輸出高ニ於テ世界市場ニ其ノ覇ヲ唱ヘ最近ニ至リ世界鐵工業ノ隆盛ヲ極ムルヤ高加索產滿俺ノ輸出高ハ左ノ如キ膨脹ヲ示セリ(單位布度)

- 一九一一年 三七、五一、〇〇〇
- 一九一二年 五五、八三、四〇〇〇
- 一九一三年 六五、二一〇、〇〇〇

而テ最近數年間ニ亘リ最モ多ク高架產索滿俺ノ供給ヲ受ケタルハ獨逸ナリトス(單位百萬布度)

輸入國	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年
獨逸	一八、二七	一八、〇五	一九、七三	二五、二八

英	白	米	佛	埃	伊
國	國	國	國	國	國
八五五	五五〇	〇〇一	二二六	二一〇	〇一九
七〇六	四〇二	〇九六	二五七	二二四	〇六〇
二二三	一一八	五八八	二五八	〇六〇	一
一五〇九	一一六	八四二	三三七	一五五	〇四五

一九一三年高架索滿俺ノ獨逸輸入高ハ諸外國ヘノ總輸入高ノ三八・六一%ヲ占メ又獨ノ一統計家ノ所説ニ依レハ獨逸ニ對スル高架索滿俺ノ輸入高ハ外國滿俺輸入總額ノ七五%ヲ占ムト云フ尤モ最近ニ至リ英領印度ヨリノ輸入高著シク増加シタルモ今日ニ至ル迄尙露國產滿俺ノ獨逸輸入額カ同額ニ對スル輸入總額ノ六五%ヲ占メ居タルハ正確ナル事實ナリトス

獨逸製鐵事業カ高架索滿俺ノ支配ヲ受ケ居タルハ右ノ如クナルヲ以テ獨逸製鐵工場ニ對スル高架索滿俺ノ供給方法ヲ圓滑ナラシメンカ爲一九〇九年始メテ露國ニ於テ「ヘルチエンキルヘシ礦山株式會社」ト稱スル獨逸會社創立セラレ本店ヲ獨逸「ヘルチエンキルヘン」ニ置キ代理店ヲ「クタイス」縣「チアトウルイ村」ニ設ケ高架索ニ於ケル諸種ノ鑛山業ヲ經營セリ本會社ハ獨逸ニ於テ石炭、鐵、滿俺ノ大鑛山並ニ溶爐工場

仕上工場ヲ有スル同名ノ大鑛山會社ノ一支部トモ云フヘキモノニシテ資本金一億八千萬麻克社債資本八千八百五十萬麻克積立金六千五百五十四萬麻克ニシテ總額三億六千四萬麻克ノ大資本ヲ擁スル次第ナリ

獨逸ニ於テ勢力ヲ有スル上記大鑛業會社カ自己ノ利害ニ鑑ミ高架索滿俺供給方法ヲ保證スルノ必要ヲ認メタルヲ以テ自餘ノ獨逸鑛業會社モ爭テ高架索ニ於ケル自己ノ勢力ヲ確保センコトヲ努メタリ而カモ高架索ニ於ル滿俺工業ハ主トシテ資本ニ缺乏ヲ感スル小工業者ノ手中ニ存スルヲ以テ獨逸諸會社ハ容易ニ高架索滿俺ノ取引ヲ自己ノ掌中ニ把握スルヲ得タリ

然レトモ獨逸ニ於テ其ノ巨大ナル製鐵事業ヲ維持センカ爲ニハ是非トモ鐵鑛ノ供給ヲ外國ニ仰カサル可カラス而テ南露ヨリノ鐵鑛輸出額ハ極テ多額ニ上レルモ其ノ輸出先ハ主トシテ獨逸及英國ニシテ詳細ハ左表ノ如シ(單位布度)

年次	獨逸	英國	埃國	國合	計
一九〇五年	七,二三〇,五六	五,九五九,三九九	三,八八八,八八	一三,五六一,二二	
一九〇六年	一六,四九一,四二	一〇,九六八,二七	一,〇七五,七六	二八,七四四,五九	
一九〇七年	二七,八四七,七六	三,五二一,六九	三,二七八,七九	五九,九〇五,三二	

一九〇八年	二四、七三三	七〇、五六二	三、七四、三二五	三五、四七、五八八
一九〇九年	二三、〇四、一八六	三、九一、四二〇	三、三〇、一五六	三、五九、八八二
一九一〇年	四、七三、三九八	九、五七、五〇八	二、四六、七六	五、七二、四六九
一九一一年	四、二二、四三三	九、八六、七五七	七、七四、四五	五、四〇、八七一
一九一二年	?	?	?	四〇、四八、五〇〇

四八

南露鐵鑛ノ輸出ハ陸路ニ於テハ「グラニーツア」並ニ「ソスロー」并ツイ「海路」ニ於テハ「ニコラエフ」ヲ經テ行ハル、ヲ以テ右ノ二要路ニ於ケル獨逸輸出商ノ活動ハ頗ル目覺マシキモノアリ

是等商會中ノ大ナルモノハ孰モ株式會社ヲ組織シ即獨逸株式會社「ビロリユジツト」及獨逸鑛業會社「ダイトセル・カイゼル」等是ナリ

「ビロリユジツト」會社カ露國ニ於テ活動ヲ開始セルハ一八八八年ニシテ本店ハ柏林ニ代理店ハ「ワルシヤ」ニ設置セラレ其ノ營業種目ハ「ニコラエフ」及波蘭諸市ニ於ケル鐵及滿俺鑛石ノ仲介賣買トシ其ノ他本會社ハ「エカテリ」ニンスカヤ「線」ニ「コーポリ」驛附近ニ滿俺鑛山ヲ所有セリ

「ダイトセル・カイゼル」會社ノ露國ニ於ケル營業開始ハ一九一〇年ニシテ本店ヲ「ライ」地方「ガンボルク」ニ代理店ヲ「ニコラエフ」ニ置キ其ノ營業種目ハ各種鑛石ノ輸出並

ニ「コラエフ」港ニ於ケル貨物積載器製造トス

又最後ニ波蘭及「シレシヤ」ニ於ケル自己ノ工場ニ對シ鐵鑛ヲ供給スルノ目的ヲ以テ獨逸會社「コロレフスキイ」及「ラウラ」ハ「チエンスト」フ鑛業株式會社「ナル名稱」ノ下ニ獨立セル會社ヲ組織シ既ニ一八八九年ニ營業ヲ開始シ「ペトロコフ」縣「ベンヂン」並ニ「チエフトホフ」兩郡ニ於ケル鐵坑ノ經營ヲ以テ其ノ營業ノ目的ト爲セリ

「ビロリユジツト」會社ハ原料共同購入ノ爲ニ設立セラレタルモノニシテ資本金百五十萬麻克主ナル株主ハ「Oberschlesische Eisen und Kohlenwerke Aktiengesellschaft, Dounersmarkhüste, Aktiengesellschaft für Montanindustrie, Oberschlesische Eisenbahn-Bedarfs-Actien-Gesellschaft」等ナリ

此ノ最後ニ擧ケタル獨逸會社ハ露國ニ活動セル多クノ鑛山會社ニ密接ナル關係ヲ有シ就中「ソスロー」并ツイ「ニコラエフ」ニ於ケル鐵管工場「ミレ」并ツキ「製鐵會社」ハ其ノ代表的ノモノト謂フヘキモノトス

獨逸諸會社カ南露地方ニ於ケル鐵鑛賣買ノ集中ニ關シテモ異常ナル勢力ヲ有スル事ハ想像ニ餘リ有リト雖モ此ノ點ニ關シ正確ナル材料ヲ缺クヲ遺憾トス然トモ露國鐵鑛ノ對獨貿易カ獨商ノ手ニ集中セラレタルハ疑義ヲ挿ム餘地ナシ蓋シ獨逸ノ

大冶金工場中露國「クリヴオロ」産鐵鑛ノ主ナル需要者ハ「フリデンス、ヒユツテ」フアルヴヒユツテ「ボルジグ、エルク」ユリエンヒユツテ「ドンネルスマルク、ヒユツテ」并トコ「井」ツキイ工場「ラウラ、ヒユツテ」等ニシテ要スルニ露國ニ於ケル前記獨逸株式會社カ直接間接事業ニ關與セル工場ノミナルヲ以テ其ノ一般ヲ察知スルニ難カラサルナリ

次ニ前記諸株式會社ノ資本金ヲ窺フニ

創業年度	資本金(單位百)
チエンストフ鑛業會社	一八九九
ピロリユジツト	一九〇八
ヘルチエンキルヘン	一九〇九
グイトセルカイゼル	一九一〇
合計	一四八

茲ニ注意ス可キハ露國ニ於ケル鐵鑛並ニ滿俺鑛取引株式會社ノ總數カ前記ノ四者ヲ以テ盡クルノ一事ナリ
前記四會社ノ資本金總額カ其ノ巨大ナル實際運轉額ニ合致セサルハ疑ヲ容レサル

所ニシテ其ノ決算報告貸借對照表ニ依リテハ寸毫モ其ノ實際ノ營業狀態ヲ窺知スル能ハサルハ現今露國ニ於テ活動セル「シンヂケイト」組織ノ決算若ハ對照表ト何等擇フ所無ク今其ノ實例ヲ舉クレハ鐵シンヂケイト「プロダメイト」ノ資本金ハ僅々百萬留ト稱スレトモ毎年ノ運轉金額ハ一億留以上ニ達スルノ狀況ニ在リ
上記四箇ノ獨逸株式會社モ之ヲ要スルニ「シンヂケイト」組織否寧ロ結合セル獨逸鑛業者カ各種ノ露國產鑛石賣買ノ爲ニ設置セル中央營業事務所ト觀ルヲ相當トスヘク又獨人ハ露國ニ於テ最モ亞鉛坑、銀鉛坑ニ富メル地方ヲ取得セリ、并ハ鑛業株式會社「テチユ」ト稱シ其ノ資本金ハ舉ケテ獨人ノ掌中ニ歸シ居リテ、創業一九〇九年其ノ營業項目ヲ西伯利亞ニ於ル鑛山經營、亞鉛鑛並ニ銀鉛鑛ノ採掘等トス
露國ニ於テ最近ノ開拓ニ係ル亞鉛鑛區ハ沿海州ニシテ該地方ニ於ケル「テチユ」ハ灣附近ニ豐富ナル亞鉛鑛層發見セラレシカ右鑛層モ亦「テチユ」會社ニ屬シ現今ニ於テハ本會社ハ最ニ優良ナル亞鉛鑛ノ海外輸出ヲ行ヒツツアリト、而シテ該鑛石ノ亞鉛含有分ハ平均四三%ナリト云フ尙茲ニ一表ヲ掲ケ同會社ノ事業概況ヲ示サン(單位布度)

坑名	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年
レオニードフ	三七、〇〇〇	一八二、〇〇〇	一四〇、〇〇〇
マルガリートフ	三七四、〇〇〇	八〇二、〇〇〇	四二〇、〇〇〇
ボリーソフ	九三、〇〇〇	一八四、〇〇〇	二七八、〇〇〇
カスターリン		八〇、〇〇〇	七六、〇〇〇
更ニ同會社ノ輸出高ヲ示セハ左ノ如シ	五二、〇〇〇		
一九〇八年	六六七、一七〇		
一九〇九年	一、二三三、八〇〇		
一九一〇年	一、〇八一、八二二		
一九一二年	一、五六六、三六八		

進テ露國製鐵工業ニ於ケル獨逸資本ノ影響ヲ研究セムトスルニ先チ冶金工場ニ對シ一應ノ説明ヲ與フルノ必要アリト思ハル何トナレハ冶金工場ハ露國鐵工業界ニ於テ活動セル獨逸會社中最モ古キ歴史ヲ有スレハナリ而シテ是等工場ハ悉ク波蘭地方ニ置カレタリ此ノ因ヲ爲シタルモノハ一八六八年ヨリ實施セラレタル新關稅法

ニシテ右關稅法ノ實施ニ依リ銑鐵ハ一布度五哥、鐵及銅鐵ハ四十哥ヨリ一留四十哥ト定メラレ且此際機械製造會社ヲ所有スル者ハ大藏大臣ノ許可ヲ經テ自家工場所用ノ數量ニ限リ無稅銑鐵並ニ鐵ノ供給ヲ受ケ得ル事トセリ此ノ故ニ夥多ノ獨逸商會(主トシテ「オーベルシレシヤ」地方ノ商會)ハ鐵ニ對スル關稅ヲ脫レンカ爲ニ「ベトロコフ」縣中最モ國境ニ近キ地方ニ工場ヲ建築シ「シレシヤ」銑鐵ヲ使用シテ製鐵ニ從事セリ後一八七七年、一八八四年乃至一八八七年及一八九一年ノ關稅法ノ改正ニ伴レ銑鐵ニ對スル關稅ハ陸路輸入三十五哥、海路輸入三十哥ニ引上ラレ「ソスノーギツイ」及「ドムプロフ」地方ニ於テ獨立セル銑鐵工場ノ勃興ヲ見ルニ至リ國境附近ニ工場ヲ建築シタル獨逸商會ハ自己ノ工場ニ銑鐵ヲ供給センカ爲溶鐵爐ノ築造ニ着手セリ現今波蘭ニ於ケル冶金工場ニシテ獨逸資本ノ保護ヲ蒙レルモノハ左ノ如シ

創業年度	資本金(單位百)
ストラホギーツキイ鑛業工場	一八七五
オストロヴェーツキイ銑鐵溶解工場	一八八六
ガントケ會社	一八八二
コロレフスキイ及ラウラ	一八八九

ミレギーツキイ製鐵工場	一八九一	五四
ブロンキン會社	一八九七	二、三七
ソスノギツイ鐵管工場	一八九八	五〇
クラマトル會社	一八九九	七、五〇
ボツゼーホフ	一八九八	七、二三
合計	一、〇〇	二八、一七

最近ニ至リ「ソスノギツイ」鐵管工場株式ノ一部カ佛國資本家ノ手ニ歸シタリト雖モモ(同工場株式ハ巴里取引所ニ於テモ取引セラル)資本ノ過半ハ依然トシテ獨逸會社 Oberschlesische Eisenbahn-Bedarfs-Actien-Gesellschaft ノ保有スル所ニ係リ一九〇五年 Huldse-hinskyschen Hüttenwerkeヲ合併シタル際前記獨逸會社ハ六百萬留ノ資本金中五百二十三萬留ノ「ソスノギツイ」株式ヲ取得シ後百二十三萬留ヲ賣却セリ而シテ一九一三年發行セル新株百五十萬留ハ大部分佛國ニ於テ分配セラレタリ

前表ニ掲タル其他ノ冶金工場株式ハ大多數獨逸ニ在ルモ伯林取引所ニ上場セラルルハ唯ミレギーツキイ製鐵株ノミナリ又戰役開始前ニ於テ露國製鐵業シンヂケイト「プロダメート」ニ關與セル諸會社ハ「ガントケ」ミレギーツキイ工場、オストロゼーツ

キ工場「ブロンキン」コロレフスキイ及ラウラ會社ソスノギツイ鐵管工場ナリトス獨逸會社 Oberschlesische Eisenindustrie ハ「露國鐵工業」ナル獨逸會社ト共同ニ「ガントケ」會社ノ資本全部ヲ所有セリ

露國鐵工業界ニ於テ獨逸冶金會社カ如何ナル地位ヲ占メ居ルカハ左記事項ニ依リ其ノ一斑ヲ窺ヒ得可シ

ストラホギツキイ鑛業工場 ハ(一)ストラホギツキイ鑛鐵工場(二)十九官林區ニ於テ四十四箇所ノ山林監督小舎ヲ有スル面積二萬一千九百五十六露町(千七百四十二平方間)ノ山林ヲ有シ(三)工場所屬坑ヨリ採掘スル鐵鑛及銑鐵、鐵鋼鐵ノ製造ニ從事シ

オストロゼーツキイ銑鐵工場 ハ銑鐵溶解工場並ニ製鐵工場ヲ所有シ、銑鐵、半製鐵分類鐵、葉鐵、棒狀鐵、植狀鐵、條鐵、軌道其ノ他ヲ製造シ

ガントケ冶金工場 ハ「ベトロコフ」縣ニ鑛業會社「ワルシヤワ」ニ針金釘等ノ製造場ヲ有シ

獨逸株式會社「コロレフスキイ及ラウラ聯合工場」ハ「エカテリ」ニソスキイ「工場」所

有シ、創立一八八一年銑鐵鑄解、製鐵、製鋼、鐵管製造ニ從事ス、猶其他、オストローグイ領地ノ管理部ヨリ工場「ダリヤ」ホーヴニヤ及鐵坑「ウレン」チツアヲ借入使用ス

ソスノギツイ鐵管工場 ハ銑鐵工場、製鐵工場、鐵坑並ニ之ニ附屬セル截石工場ヲ有シ銑鐵、半製鐵、各種鐵管、葉鐵、屋根葺用鐵、一般鐵、分類鐵其他ヲ製造ス
 獨逸會社ミレヴキツキイ製鐵所 ハ「ベトロコフ」縣「ミレギ」ツイニ伸鐵工場及鑄鐵爐ヲ有シ各種ノ鐵、半製鐵、軌道線金等ヲ製造ス、一九一一年本工場ハ鐵工業シンデケート「プロダメート」ニ於ケル參與權ヲ擴張センカ爲資本ノ半額ヲ取得セリ
 ブーシキン製鐵所 ハ分類鐵製造工場ヲ有ス
 此ニミレヴキツキイ及ブーシキンハ相互別異ノ作業ヲ行ヒ相侵スコトナキ經營ヲ爲セリ

ボツゼホフ鐵工場 本工場ニ於テハ銑鐵並ニ各種ノ鐵及軟銑鐵製品ノ製造ニ從事ス、因ニ本會社並ニ「ストラホギー」ツイ鐵業會社ヲ獨逸人カ買收シタルハ一九一二年ナリト
 クラマートル冶金會社 本會社ハ一種ノ「トラトス」ノ如キ觀ヲ呈シ露國全土ニ事業ノ手ヲ伸ヘ就中注目ニ價スルハ本會社カ次ニ掲クル獨逸大商會ト密接ナル關係ヲ有スルコト是ナリ、即チ「アー、ボル」チツク「獨逸機械製造工場」在「ルール」株式會社「ドゥイス、ベルク、ヴェツテル」、「ドンネルスマルク、ヒユツテ」株式會社及合同煉炭會社等トス而

シテ「クラマートル」冶金會社ハ南露線「クラマートル」驛ニ機械製造工場、鑄造工場、鑄鐵爐、製鋼工場、伸鐵工場並ニ「ハツエ」ボフカ驛ニ石炭坑ヲ所有ス、本會社ノ營業種目ハ頗ル複雑ニシテ冶金工場用機械、鑛山用機械、扛重機、港内用器具、汽罐車、各種銑鐵、滿俺鐵、分類鐵、鐵線等ヲ製造ス

露國冶金界ニ於ケル獨逸資本ノ勢力ハ佛蘭西、白耳義ノ夫ニ比シ微々タルモノナルモ金屬工業界ニ於テハ大勢ヲ左右スルノ實力ヲ有ス
 推定ニ依レハ現今露國ニハ獨逸人ヲ主宰者トスル十二箇ノ模範的的金屬工場アリト傳ヘラル

獨逸人カ露國ニ金屬工場ヲ起スニ至リシ動機ハ一八八二年ノ制定ニ係ル關稅率ニシテ外國線鐵ニ對シ一布度ニ付金貨一留五十哥ヲ課スルコト、ナリタルカ爲露國ニ於ケル線鐵ノ價格ハ暴騰シ外國ヨリノ輸入ハ殆ト杜絶スルニ至レリ、此ノ時ニ當リ最モ富裕ナル獨逸商會(就中「ウエスト」フアリス會社)ハ露國市場ヲ失ハサランカ爲露國西方國境附近並ニ波羅的沿岸地方ニ支社ヲ創設シ單ニ線鐵ノミナラス、釘其他ノ線金類製造ヲ開始シ續テ嘗テ露國ヘ線金類ノ供給ヲ爲シタル他ノ獨逸商會モ盛ニ自己工場ヲ露國ニ起スニ至レリ、「ウエスト」フアリス線鐵會社ハ工業的事業ニ關シ

テハ一八八八年漸ク公式ノ登記ヲ受ケタルノミナルニ拘ラス、一八七三年ニ於テハ既ニ露國ニ於ケル商業的事業ノ許可ヲモ受クルニ至リシナリ、又獨逸人ハ獨逸株式會社「ウエストフアリス、ウニオン」所屬ノ彼得具羅士線鐵並ニ製釘工場及「メルテン會社」屬下ノ伸鐵工場維持ノ目的ヲ以テ一八八四年露都ニ伸鐵並ニ線金工場ヲ設立セリ、然ルニ右「メルテン會社」ハ一九一一年ニ至リ「ドネツ、ユリエフ冶金會社」ニ合併セラレタルヲ以テ該事業ニ於ケル獨逸人勢力ハ幾分減殺セラレタル次第ナリ、今日ニ於テ「ベツケル會社」冶金、機械、造船工場株式會社ニ對スル獨逸人ノ關與權ハ佛蘭西人並ニ露國經濟團（彼得具羅士ノ一私立商業銀行ヲ主宰ス）ニ一籌ヲ輸スルモ、設立當時ニ於テハ露國ノ線金市場ヲ獨逸人ノ掌中ニ收メムト企テタルモノナリ、前世紀九十年代並ニ現世紀初頭ニ實施セラレタル新關稅法ハ再ヒ露國ノ工業的活動ヨリ獨逸人ヲ放追ハムト欲シタルモ事實獨逸人ハ新シキ周圍ノ事情ニ適應シテ露國ニ於ケル經濟的勢力ヲ自己ノ掌中ヨリ逸セサランコトニ努力セシモノナリ、現今露國ニ於ケル獨逸人主宰ノ金屬工場中最モ主ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

ウエストフアリス線金會社

一八八八年

資本金（單位百萬留）
一、七〇

露國鐵管工場

一八九〇年

六、〇〇

コヴノ金屬工場（前名シユミツト兄弟會社）

一八九八年

一、五〇

露國波羅的會社（前名スタール會社）

一八九八年

一、八〇

埃國會社「ボルヂギユツテ」

一八九八年

二、〇〇

ブリュンネル、グーゴ、シユナイデル兄弟及ヂトマール

一八九九年

一、〇〇

リガ金屬會社「エトナ」

一八九九年

一、〇〇

カール、ベヒトルド株式會社

一九〇〇年

五、〇〇

鍊鉄製造會社「シリウス」

一九〇〇年

五、〇〇

獨逸會社「チルマン製鐵會社」

一九〇一年

二、五〇

獨逸會社露國鐵工業會社

一九〇一年

七、〇〇

北方機械及汽罐工場

一九〇七年

二、〇〇

ヴェステン七寶工場

一九〇七年

三、〇〇

ボツセラ製鐵工場

一九一〇年

七、〇〇

露國測流計工場

一九一二年

三、〇〇

カーチゲル株式會社

一九〇三年

合計

二九、四五

三、〇〇

六〇

尙此他小資本ヲ擁スル夥多ノ獨逸人所屬株式會社存スレトモ是等諸會社ニ於ケル獨逸資本團ノ關與程度カ如何ナルモノナルヤハ審カニスルヲ得スト雖、前述ノ事情ヨリ推シテ見ルモ、獨逸人カ露國金屬工業ニ於テ優越ナル地位ヲ占メ居レルハ疑ヲ容レサル所ナリ

更ニ他方ニ於テハ全世界ニ聲名ヲ轟カシタル「フリドリツヒ、クルツプ」會社カ一九一一年ヨリ露國最大ノ兵器彈藥製造會社「ブチーロフ工場」ト提携シ一九一二年ニハ「ネフスキイ造船所」ト「ブチーロフ工場」ト合併行ハレ「ネフスキイ造船株」ノ大部分ハ「クルツプ」ニ密接ナル關係ヲ有スル「埃地利商會」シユコーダ」ノ手ニ歸シタリ、該商會ノ野心ハ之ノミニ止ラス大戰勃發以前「ブチーロフ」工場株ノ大部分ヲ自己ノ手中ニ收メント努力シタルモ幸ニシテ此ノ世界的砲王ノ野心ハ未前ニ佛露新聞ノ暴露スル所ナリ遂ニ畫餅ニ終レリ

次ニ前記諸會社ノ營業狀態ヲ述ヘンニ

獨逸線金株式會社 (本店ハ獨逸「ガナム」ニ代理店ハ「リガ」ニ在リ)「リガ市」ニ二箇ノ線金

工場ヲ有シ線金、船用綱、ケーブル、釘、鎖等ノ製造ニ從事ス

「コヴ」ノ金屬株式會社(前名シユミット兄弟會社) 工場ハ「コヴ」ノ「縣」シヤンツイ」驛ニ在

リテ錠前、建築用具、線金、鎖、釘等ヲ製造ス、本會社ハ「Deutsche Bank」及「Schaffhausenscher Bankverein」ト關係スル所尠カラス

露國波羅的會社(前名シユタール會社)「リガ」ニ工場ヲ有シ線金、釘、家具用螺旋、螺旋釘、鋸及鍛冶用鐵「Nokohka」ヲ製出ス

埃國株式會社「ボルヂギユツテ」莫斯科ニ支社ヲ有ス

「ブルユンネル、ブーゴシユナイデル」及「ヂットマール」「ワルシヤウ」ニ工場ヲ有シ、石油用瓦斯用、電氣用ラムプ、ラムプ火口、金屬製品ヲ製造ス、本會社ノ資本金ハ全部獨逸會社「ブーゴシユナイデル」ノ保有スル所ニシテ「ブーゴシユナイデル」ノ株式ハ伯林取引所ニ於テ取引セラレツ、アリ

「リガ金屬工場」「エトナ」本會社ノ營業品目ハ縮用其他小鐵工品、線鐵、釘、鋸、靴螺旋、大釘、針金細工品等ナリ

海鼠板及亞鉛鍍金工場「カール、ベヒトルド」ハ「エカテリ」ノスラフ「附近」ニ於ケル「アムール」村ニ亞鉛鍍金及無鍍金海鼠板製造所ヲ有ス、本會社ハ獨逸商會「Action-Gesellschaft So-

Henck und Liebe Harkot ニ所屬シ「ブルシコフ」驛ニ於ケル海鼠板製造工場並ニ亞鉛鍍金場モ亦本會社ノ有タリ、本會社ノ事業ハ海鼠板並ニ其ノ細工品ノ製造ノミニ止ラス、露國全土ニ完全ナル組織ヲ有スル營業事務所ヲ設ケ居レリ、鍊銑鐵製造工場株式會社「シリウス」本會社ノ工場ハ「リガ」ニ在リテ伸金工場、護謨及煙草工場、粉挽工場、屠牛場等ニ於テ使用スル鍊鐵製並半鍊鐵製「ローラー」ノ製作ヲ主トス

露國鐵工業會社 本會社ハ「エカテリ」ノストラフ「及サラトフ」ニ工場ヲ所有シ露國全土ニ於ケル中心都市ニ代表者ヲ派遣シ、主ナル製造品ハ針金、針金製釘、大釘、軌道固定釘、電信用附屬器具、鐵道用器具等ナリ、本會社ハ「ワルシヤ」ニ於ケル「ガントケ」會社ノ資本金ヲ殆ト全部自己ノ手中ニ收メ居レルヲ以テ侮ル可カラサル勢力ヲ有シ「ドムプロ」礦地及南露即チ露國ニ於ケル二大工業中心地ニ牢固トシテ抜ク可カラサル地盤ヲ築キ居レリ、殊ニ南方ニ於ケル本會社ノ營業狀態ハ極メテ好況ニシテ「ニジニドネー」プロフスタ「ニ於ケル」工場ニ必要ナル材料並ニ石炭ハ附近ノ地ヨリ之ヲ獲得スルノ便宜ヲ有ス、重役會ノ報告ニ依レハ本會社ノ製品ノ大部分ハ官設私設ノ鐵道全般ニ供給セラレツ、アリト近年會社ノ基礎ハ極メテ強固トナリ一九一四年取引界

ノ危機ニ瀕セル場合ニモ本會社ノ株式ハ伯林取引所ニ於テ其ノ上場ヲ許サレタル程ノ好況ニ在リ

露國鐵管工場 本會社ノ株式モ亦前記會社ト同様一九一四年伯林取引所ニ上場セラレ所屬鐵管工場ハ「エカテリ」ノストラフ「ニジニドネー」プロフスタ「及莫斯科」ノ三箇所ニ在リテ條鐵、鐵板、葉鐵、針金、鐵管「瓦斯」用其他其ノ附屬品銜燈用柱ヲ製作ス、而シテ本會社ハ露國ニ於テ第一流ノ鐵管會社トシテ目セラレ、モノナリ

北方機械製罐株式會社 本會社創立ノ目的ハ「彼得具羅」土機械製罐工場「チルマンス」ナル一箇人ノ設立ニ係ル事業ノ發展繼續ヲ企圖スルニ在リシモノニシテ汽罐、貯水槽、橋梁格縁、橋梁用電氣扛重機、橫杆、空氣壓搾器、銑鐵及銅鑄造物、鐵道信號器等ノ製造ニ從事ス

ノヴォヂレイスタ市鍊製造株式會社「ボツセリヤ」鍊、器械器具等ノ製造ヲ主トスル工場ヲ有ス

オリクローシユ市七寶製造株式會社「ウエステン」ケリツ「縣」オリクローシユ市ニ工場ヲ有シ七寶製品ヲ製作ス

露國測流器製造株式會社 水流計算器、自動書字機、及運河開鑿、水道敷設、瓦斯工事等

ニ要スル器具ヲ製作ス而シテ本會社ハ獨逸會社 H. Meinecke Act Ges. ノ支部タリ
 シゲリ株式會社 ハ彼得具羅士ニ於テ機械及鑄鐵工場ヲ有シ莫斯科レヴエル、リガ、
 ロストフ(ドン地方)エカテリノストラフ、ツァールスコエ、セローニ支社ヲ有ス、本會社ノ
 營業範圍ハ頗ル廣汎ニシテ燈具、瓦斯燈裝置、銑鐵鑄造、汽罐製造、暗屋裝置、通風裝置、水
 道、運河、水道ノ生物學的、清淨、消毒裝置、蒸汽並ニ手廻洗濯機、鐵道用瓦斯燈及電氣燈裝
 置等ノ製造トス、右ノ外本會社ハ有ユル機械類、蒸汽用並ニ水熱用ノ「ボイラー」ヲ販賣
 シ獨逸會社 Julius Pintsch ハ本會社ニ密接ナル關係ヲ有ス

猶獨逸株式會社 H. Beekold, Messinglinienfabrik und Schriftzusserei ハ彼得具羅士及莫斯科
 ニ支社ヲ設置シ是等支社ハ個人的事業トシテ露國ニ於テ登記ヲ受ケ而シテ關稅ノ
 關係上兩支社共異常ナル擴張ヲ遂ケタリ
 其他冶金會社 Gehr. Bohler Co. Aktien-Gesellschaft モ亦彼得具羅士、莫斯科及「エカテリ」
 ルクニ支社ヲ設ケ居レリ

各種金屬製品ノ製造ヲ爲セル獨逸工場ノ間ニハ種々ナル聯合並ニ「シンヂケート」ヲ
 保チ彼等ハ微細ノ點ニ至ル迄市場ノ情況ヲ研究シ其ノ特種ナル嗜好習慣ニ適合セ
 ンコトヲ努メツ、アルヲ以テ露國市場ニ於ケル人氣ノ動搖ヲ未然ニ洞察スルコト

甚タ敏捷且正確ナリ

露國工業界ニ對スル獨逸人ノ勢力ハ正確ニ計量スルコト難シ、各種ノ方面ヨリ推案
 スルトキハ通常露國ニ於ケル白耳義及佛蘭西ノ事業ト目セラレ、機械製造工場ハ
 其ノ數夥シキモノナルモ少シク周到ナル觀察ヲ下セハ實際此ノ種ノ事業ニ於ケル
 主ナル指導者乃至大株主トモ云フヘキモノハ獨逸人ナルコトヲ容場ニ觀取スルヲ
 得ヘシ何トナレハ白耳義又ハ佛蘭西人カ其ノ事業ヲ創始スルニ當リテ他ノ何國人
 ヲリモ露國市場ニ精通セル獨逸人カ是等事業ノ仲介者トナリ漸次其ノ首腦タル位
 置ヲ占ムルニ至ルカ故ナリ、然レトモ斯ノ如キ事業ハ純獨逸ノモノトシテ目スルヲ
 得ス、蓋シ此種ノ事業ニ於テ活動シツ、アル獨逸人ハ常ニ露國內ニ止リ隨テ其ノ資
 金モ獨逸ヘ流出スルコト稀ナルヲ以テナリ吾人カ茲ニ獨逸人ノ事業ト稱スルモノ
 ハ獨逸ノ銀行又ハ其ノ他ノ經濟工業機關ニ依テ資金ノ融通ヲ受ケ且其ノ事業ヨリ
 生スル純益ノ大部カ獨逸ヘ流出スルモノヲ指稱セムト欲ス

獨逸ノ機械製造工場カ露國ニ創設セラレ發展ヲ遂ケタルハ十九世紀ノ終末ニ屬シ、
 其ノ以前ニ在リテモ勿論獨逸ノ經營ニ係ル個人的機械工場ヲ存在シタルハ爭フヘ
 カラスト雖モ其ノ營業程度ハ微々タルモノナリシモ、前世紀九十年代ニ至リ是等個

人的事業ハ將來ノ發展事業擴張ノ目的ヲ以テ株式組織ニ改メ而カモ其組織變更ノ際獨逸ノ大商會大組合ハ是等ノ事業ニ對シ密接ナル關係ヲ結ヒ之ト同時ニ新シキ獨逸機械工場カ露國ノ新工業區域ニ於テハ勿論既ニ相當ノ工業地域ニ於テ相踵イテ創立セラレタルモノナリ

此等事業ニ着目シタル主ナル點ハ將ニ發達セントスル工場工業ニ對スル動力機械ノ供給ニ在リシカ當時ノ露國ニ於ケル工業勃興ノ氣運ハ是等獨逸會社ヲシテ容易ニ曠足ヲ伸フルヲ得セシメタリ、南露ニ於ケル佛白人ハ將來ノ利益ヲ豫想シテ巨額ノ資本ヲ冶金業ニ投下スルニ乘シ獨逸人ハ是等工場建設ニ參加シ巨利ヲ博スルノ手段ヲ選ミタリ、サレハ露國ニ於ケル金屬工場ノ建設ハ一トシテ獨逸商會ノ手ヲ經サルナシト言フモ敢テ過言ニ非サルナリ、南露ニ於ケル冶金工業ノ勃興及其ノ發達ノ歴史ニ徵スレハ是等工場ノ最初ノ指導者ハ獨逸人ナリテフ結論ニ到達セサルヲ得ス、當時是等諸事業ノ幹部中機械据付ノ委託ヲ受ケタル獨逸商會ノ代表者ヲ發見スルハ敢テ珍トスルニ足ラサル狀況ニシテ是等ノ事業カ機械据付ニ對スル代價決濟ノ方法ハ一部現金ヲ以テシ一部株式ヲ以テスルヲ通例トシ特ニ後者ハ近年露國工業勃興ニ際シ盛ニ應用セラレタル所ナリ、例セハ Aktien-Gesellschaft für Rohlendstillation

zu Düsseldorf ニシテ同會社ハ一九一三年特種「コークス」電据付ノ代金トシテ「南露石炭工業會社」在「ゴルロフ」ノ株式ヲ受領シタルカ、右「南露石炭工業會社」ニハ現今ニ至ル迄主トシテ佛國資本金家關與シ居レリ

如斯キ方法ニ依リ獨逸人ハ多數ノ露國砂糖工場ニ關係セリ、然シ乍ラ此ノ方法ニ依ル各種工業ニ於ケル獨逸人ノ關與程度ヲ正確ニ決定スルハ頗ル至難ノ業トス、元來露國會社ノ幹部ハ自己ニ委託セラレタル事業ノ工業及經濟的活動ニ關シ詳細ナル敘述ヲ試ムル習慣ナキヲ以テ諸會社ノ決算報告ヲ點檢スルモ極テ貧弱ナル材料ヲ發見シ得ルニ過キス、右ノ如キ方法ヲ以テ獨逸商會ハ何時ニテモ露國諸事業ノ關係者タルノ可能ヲ有シ而カモ之カ爲ニ何等ノ經費ヲモ要セサルナリ、其ノ好適例トシテハ前記獨逸會社ニシテ資本金僅ニ二百萬留ニ過キサレトモ南露地方ニ於ケル六箇ノ英國鑛業會社並ニ「南露石炭會社」ニ關與シ「石炭會社」株式ノ所有高ハ實ニ百七萬九千九百九十一麻克ノ巨額ヲ算セリ

諸種ノ工場ノ機械裝置ヲ主ナル事業トスル獨逸機械會社中單ニ一時ノ目的ヲ追フニ止リ或ル機會ニ於テハ直チニ所有財産ヲ賣却シタルモノ尠カラス例ヘハ獨逸商會 Aktien-Gesellschaft für Maschinenbau Alfred Gutmann ノ莫斯科支店ノ如キ一九〇〇年ニ

設置セラレ其ノ翌一九〇二年ニハ既ニ廢業セリ之ニ關シ右會社ノ報告ヲ見ルニ莫斯科支店ハ有利ナル條件ヲ以テ賣却シタルモノナリト云ヘリ又露國ニ於テ第一流ヲ以テ目サレツ、アル機械工場ノ「ガルトマン工場」ハ目下佛露ノ資本ニ依テ營業シ居ルト雖モ其ノ發起ヲ索ヌレハ獨逸人ノ創立ニ係ルモノナリ、一九一四年乃至一九一五年度ノ伯林年報 *Calings Bör senpapiere* ノ記スル所ニ依レハ *Sächsische Maschinenfabrik* 株式會社ハ一時露國機械工場「ガルトマン」ノ株ヲ多數ニ所持シタリトノコトナリト云フ

前述ノ如ク機械工業界ニ於ケル獨逸株式會社ノ簇生ハ一八九〇年代ノ事ニ屬シ此方面ニ於テ獨逸會社カ特ニ目醒マシキ活動ヲ示シタルハ一八九七年ニシテ同年一時ニ六箇ノ獨逸機械工場ノ創設ヲ見タリ

獨逸機械工場(前名ク)	創業年度	資本金
ダンガウエル、カイゼル合資會社	一八九七	九二 <small>百萬</small>
リハルド、ポレー株式會社	一八九七	八〇
リガ會社(前名フエルセル商會)	一八九七	一〇〇
		一六〇

フイツネル及ガムベル株式會社	一八九七年	四、九〇
アルトウル、コツベル	一八九七年	二、七九
露國汽鐘車會社	一九〇〇年	七三
露國會社ケルチング	一九〇四年	一、五〇
穿孔會社アントン、ラキ	一九〇九年	六、〇〇
合計		一九、八四

既ニ述ヘタルカ如ク一八九六年獨逸人ノ直接參與ノ下ニ露國機械工場會社「ガルトマン」創立セラレ次テ其他ノ機械製造會社カ僅々兩三年ノ間ニ陸續設立セラレタリ其ノ名稱左ノ如シ

グスターフ、リスト株式會社	一八九七年	二、〇〇 <small>百萬</small>
車輛會社「動力」	一八九八年	三、六〇
マンテル機械株式會社	一八九九年	八〇
フランツ、クルーゲル機械株式會社	一八九九年	四〇
レツスネル株式會社	一八九八年	四、〇〇

獨逸資本ハ今日ニ至ル迄尙此等ノ事業ニ關係セリヤ、若シ然ルトスレハ其ノ程度如

何ノ問題ハ吾人ノ闡明スルヲ得サリシ所ナレトモ兎ニ角各般ノ事情ニ照シテ考察スルトキハ此等諸會社株式ノ若干カ獨逸工業經濟團體ノ手中ニ收メラレ若ハ獨逸ニ於ケル箇々ノ資本家ノ間ニ分配セラレ居ルハ疑ヲ容レサル所ナリ
尙進テ第一表ニ擧ケタル在露獨逸工場ノ營業ノ性質ヲ明カナラシメムカ爲ニ少ク説明セント欲ス

露國機械工場「ケルチング」本工場ハ瓦斯發生機、自動艇及自動車用發動機、暖室機、通風機等ノ製造ニ従事シ、本工場ノ本部ハ獨逸ニ於ケル同名ノ會社ニシテ右會社ハ佛、白伊、埃、匈ノ諸國ニ於ケル諸種ノ獨立セル會社ヲ設立シ且之ヲ管理シツ、アリ、近年本工場ノ配當率ハ漸次増加シ來リ伯林取引所ニ於ケル本工場株式ノ需要ハ著シク増加セリ

經濟交通路築工並ニ「アルトウル、コツベル」式應用機械裝置株式會社本會社ハ彼得具羅士ニ機械工場並ニ車輛製造工場ヲ所有シ尙莫斯科、ワルシヤ、ハリコフ、キエーフ、リガ、オデツサ、ヘリシング、フオルス、バク、及浦鹽斯德ニ支社ヲ有ス製作品ノ主ナルモノハ野戰鐵道、狹軌鐵道、扛重機、電氣鐵道、泥炭採掘機、鐵建造物ナリ、本會社モ亦獨逸會社 Orensteine Koppel, Arthur Koppel ノ支社ナルカ右獨逸會社ハ和蘭、埃、太利、西班牙、トラン

ス「ヴール」ニ於ケル同名ノ獨立會社ヲ管理シ其ノ營業ノ目的ハ鐵道就中狹軌鐵道及野戰鐵道ノ建設材料ノ製出並ニ購入ニ在リ

リガ銑鐵鎔解並ニ機械製造會社(前名「フェルセル」)

本會社ハ工場ヲ「リガ」ニ有シ且ツ代表者ヲ全露ニ於ケル有ユル商業中心地ニ派遣シ居レリ、製作品ハ「デイゼール」式發動機、摺付型及船舶型蒸汽機關、汽鐘、水道、麥酒、葡萄酒、牛酪、酒精製造工場用諸機械、冷却器、銑鐵等ナリ、本會社株式中約二百萬麻克獨逸商會 Augsburg Nürnberg Akt Gesell ノ手中ニ在リ、露國商業銀行中本會社ニ密接ナル關係ヲ有スルハ彼得具羅士商業銀行ニシテ本會社ハ一九一三年右獨逸會社及露國銀行ノ援助ノ下ニ組織ノ變更ヲ行ヒタリ

汽鐘並ニ機械工場「イツネル、ガムベル」株式會社 本會社ノ工場ハ「ソスノ、ギツイ」市ニ在リテ汽鐘部、鐵管部、器具部、砂糖工場建設部、化學工場建設部、鐵建設部等夫々専門ノ各部ヲ有ス加之本會社ハ「ドムプロフ」市ニ發電機及汽鐘附屬物製造工場ヲ有シ又彼得具羅士、莫斯科、ハリコフ、キエーフ、オデツサ、リガ、ワルシヤ、ワ、ロツヂ、バク、ギリナニ事務所並ニ代理店ヲ設置セリ

クレイン機械製造株式會社 「リガ」ニ工場ヲ有シ蒸汽機關、伸金器械、蒸汽唧筒、冷却器

扛重機、水壓機、鋸鑛爐、鑄鋼工場及伸金工場設備等ヲ其ノ重ナル營業項目トス
 機械汽鐘製造及鑄鑛工場リハルド、ポール株式會社 本社ハリガニ機械製造工場ヲ
 有ス、茲ニ注意ス可キハ彼得具羅士、莫斯科、ワルシヤワ、キエフ、ハリコフ及オデツサニ
 於ケル本會社ノ代表者カ「アルトウル、コツベル」會社ナル事ニシテ此ノ點ヨリ推シテ
 兩者ノ間ニ共利益ノ存スルコトヲ察知シ得ヘキナリ事業ノ主ナルモノハ汽鐘、木
 材工場、石材工場ノ設備、鐵建築物、鐵道信號裝置等ナリ

汽鐘、機械、銅器製造並ニ鑄金工場「ダンガウエル及カイゼル」合資會社 本會社ノ工場
 ハ莫斯科縣「ベトロフ」村ニ在リテ汽鐘、各種機械、貯水槽、酒類釀造用、製糖用、並ニ木材乾
 溜用ノ機械ヲ製作ス

露國野戰用並ニ狹軌鐵道會社「汽鐘車」 本會社ハ「ワルシヤワ」市ノ近郊ナル「コロ」村ニ
 鐵道建設材料工場ヲ有シ莫斯科、キエフ、ワルシヤワ、彼得具羅士、オデツサ、リガニ事
 務所ヲ置キ汽鐘車及車輛(狹軌並ニ普通鐵道用)、工業用小形車輛、鐵道附屬品ノ製造ニ
 従事ス、本會社ハ前述ノ「アルトウル、コツベル」會社ト同シク獨逸會社「Orenstein Koppel,
 Arthur Koppel」ノ管理ヲ受ケ居レリ

露國穿孔會社「アントン、ラキ」本會社ノ事業ニハ獨逸會社「Tiefen-und Kalkindustrie-Aktien

Gesellschaftvorm Gebhard n. König 關與セリ、

右ノ外露國ニ獨立セル販賣所ヲ有スル獨逸商會ハ次ノ如シ「Daimler-Motoren Ges. (莫斯科)
 科) Gazmotoren Fabrik Deutz (彼得具羅士、莫斯科、オムスク) Actien-Gesellschaft Rirehner (莫斯科)
 科) Act-Ges. Harburger Eisen-und Bronze Werke) タガンローグ(商工業的活動ヲ露國へ輸入シ
 タル獨逸資本家ハ同時ニ漸次資本經濟ニ於ケル最高ノ形式ヲモ移入セリ即チ近時
 獨逸資本ノ勢力ヲ有スル露國諸縣ニ於テ發達ヲ遂ケタル各種ノ工業家組合是ニシ
 テ「カーフエンガウズ」モ其ノ著書「露國鐵工業ニ於ケルシンデケート」中ニ述ヘテ曰ク
 露國ニ會社又ハ支社ヲ設置シタル外人ハ「シンデケート」組織ニ對スル傾向ヲモ移入
 セリト、事實上前世紀八十年代ニ當リ彼得具羅士及波羅的海沿岸地方ニ獨逸ノ製釘
 製線工場ノ簇出シタル後幾何モナクシテ獨逸製釘製線工業者聯合(Convention der Wa-
 lzdraht und Drahtstift-Fabrikanten)ノ例ニ倣ヘル組合ヲ露國ニ起サントノ試ミアリシカ
 後一八八六年ニ至リ此等工場ノ大多數ハ「露國伸鐵、製線、製鐵工場同盟」ヲ組織シ獨逸
 語ヲ以テ定款ヲ作成セリ、右同盟ハ幾何モナクシテ解散セルカ其後地方事業家同盟
 之ニ代テ起リ一九〇三年「釘」ト稱スル大「シンデケート」組織ニ改造セラレ、右「シンデケ
 ー」ト解散後更ニ一九〇九年「針金」ト稱スル新「シンデケート」生シ今日ニ至ル迄存續セ

リ而シテ該「シンヂケイト」ニ加入會社工場ハ露國波羅的工場、スタール會社現今ハ存在セズ「獨逸株式會社」ウエストフアリス針金工業會社「リガ金屬工場會社」エトナ「リバウ工場」ベツケル會社「ドネツ、ユリエフ冶金工場、莫斯科金屬工場、在ランドブローロフ針金釘製造工場、フルムキン株式會社、アリストフ工場、ドネーブル製釘工場等トス、茲ニ注意スヘキハ右「ドネーブル工場」カ「シンヂケイト」關係者一同ノ手ニ依リテ組織セラレ南露地方ニ於ケル勢力ノ支持ニ備ヘタルコト是ナリ、蓋シ南露地方冶金工場團カ本「シンヂケイト」ニ對シ競争ノ態度ヲ採リ始メタル結果ニ外ナラス

本「シンヂケイト」ハ其ノ前ニ現レタル製釘製線同盟ヨリ遙カニ強固ナルモノニシテ一九一三年末ニ催サレタル集會ニ於テ關係者一同ハ向後五年間即一九一四年一月一日ヨリ一九一八年十二月三十日ニ至ル期間效力アル新規約ニ署名セリ

前世紀九十年代ニ於テ露國ニ於ケル獨逸鐵管工場ノ間ニモ亦同盟團結アリシカ、該同盟カ「シンヂケイト」ニ近キ形式ヲ採リタルハ一九〇六年ニシテ當時關係者一同ハ十年間效力アルヘキ新規約(即一九一六年迄)ニ署名シタリ本「シンヂケイト」本部ハ伯林ニ在リ是レ其收入ノ大部分カ獨逸人ニ屬スルヲ以テナリ

最後ニ獨逸人カ地方金屬細工品販賣「シンヂケイト」ノ首腦者タル地位ヲ占メ居ル事

ヲ指摘セント欲ス、通常各地方ニ於テ販賣事務ノ職務ヲ勤ムルハ獨逸人ナルカ此ノ重要ナル問題ニ關シ具體的材料ナキヲ遺憾トスルモ此ノ地方販賣事務所ノ詳密ナル研究カ全露需要階級ニ對シ極テ必要ナルコトハ爭フヘカラサル所ニシテ第一鐵工業「シンヂケイト」ノ指導者スラモ各地方ニ於ケル商業「シンヂケイト」カ夥シク世上ニ害毒ヲ流シツツアルヲ公言シテ憚ラサルナリ

以上述ヘタル所ニ依テ獨逸人カ露國ニ於ケル「シンヂケイト」的觀念ノ先驅者タルコトヲ窺ヒ得ヘシ現今露國冶金並ニ機械製造界ニ存在セル殆ト總テノ事業家同盟ニ獨逸事業家ノ關與セサルコトナキハ一般ニ認識セララル所ナルト同時ニ獨逸國內ニ於テモ露國輸入向ノ金屬製品ニ對シ特種同盟組織セラレ特ニ外科醫療器械、生理器械製造業者ノ間ニ此種ノ同盟カ多數存在スルヲ認メサルヘカラス

更ニ露獨兩國ニ於ケル獨立セル個々ノ「シンヂケイト」カ特別ノ協定ヲ結ハルノ定例亦尠カラス、現下ノ大戰開始前「波露セメント、シンヂケント」ト「シレジャ、セメント、シンヂケイト」トノ間ニ協定ノ存在セシカ如キ南露ニ於テ第一流トモ稱スヘキ五箇ノ冶金會社カ萬國軌道「シンヂケイト」ニ加入セルカ如キ其ノ著名ナル實例ナリ(該「シンヂケイト」ニハ獨逸ノ諸軌道製造工場モ參與シ居レリ)

最後ニ一言ノ要アルハ大冶金工場ノ創立又ハ佛、白、露ノ投資セラレタル在來ノ工場擴張ノ場合ニ於テ獨逸人カ直接之ニ關與盡力シタル事はナリ、例セハ、ニコポリ、マリウポリ、鑛業冶金會社ニ於テ鋼鐵部設置ノ際之カ任ニ當リタルハ、フリドリツヒ、クルツプ、會社ニシテ、タガンローグ、冶金工場カ、ケルチエン、冶金工場ノ營業ヲ復活シタルモ同シク獨逸商會ノ援助ヲ借リタルモノナリ

第四章 露國化學工業ニ於ケル獨逸資本

露國ニ於ケル稍複雑ナル化學製品及製藥品ニシテ獨逸、マークヲ有セサルモノハ殆ド皆無ト云フモ不可ナク、露國化學市場ハ獨逸人ノ偉大ナル勢力ノ下ニ置カレ獨逸ノ大化學工業會社ハ支社ヲ露國ニ設立シテ各種ノ化學製品ヲ製出スルノミナラス獨逸人カ露國ニ於テ製造スルノ要ナシト認メタル製品ハ獨逸本國ヨリ輸入シツツアリ蓋シ獨逸ハ自己ノ化學工業ヲ尊重シ新シキ發明又ハ改良等ハ特ニ之ヲ秘シテ露國人ノ權倣ヲ許ササル特許品ト爲スヲ常トセシ且ツ獨逸人カ露國ニ於テ製造ノ必要ニ迫ラレ此種特許品ノ製造ヲ他ニ傳習セシムル要アリト認メタルトキト雖出來得ル限り獨逸人ヲ撰フコトニ努メ居レリ、事態斯クノ如クナルヲ以テ露國人ノ經營スル工場ニ於テモ獨逸勢力ノ著シキモノアリテ現今露國ニ於ケル化學製品ノ外國貿易及其ノ生産ノ大部分並ニ製藥品ノ內國市場ハ殆スヘテ獨逸人ノ掌中ニ把握セラレタリ

露國化學工業界ニ於テ獨逸資本カ如何ナル勢力ヲ振ヘルヤヲ明カニセント欲セハ單ニ獨逸ニ於ケル總テノ化學工業會社カ露國ニ支社ヲ設置セルノ事實ヲ指摘スル

ヲ以テ足レリトス、然レトモ就中華々シキ活動ヲ爲セルハ左ノ獨逸ニ於ケル三會社トナス(一)獨逸アニリン製造會社(二)バーデン、アニリン、曹達工場(三)フリドリツヒ、バイエル株式會社

是等三會社ノ指導者中ニハ卓越セル學者アリ、化學工業界ニ於ケル實際的事務家アリ、嘗テ大臣ノ椅子ヲ占メタル人物アリ、有名ナル法律家アリ、大銀行ノ重役アリ又幹部ノ中ニハ大銀行家、オットー、フォン、メンデルソン、バルトルヂ「アウグスト、ベレンゼン」其ノ有機化學ニ關スル著書ハ獨逸ニ於テ好個ノ教科用書ヲ以テ目セラル「カルル、ミユルレル」其ノ他有名ナル學者ノ名ヲ數ヘ得ヘシ、右三會社ハ獨逸ニ於ケル最モ古キ化學事業ニ屬シ巨額ナル資本ヲ擁セルコトハ左表ニ依テ明カナリ(單位百萬馬克)

	創業年度	資本金	社債	積立金
アニリン製造會社	一八七三年	一九八〇	一〇、五〇	一〇、五〇
バーデン工場	一八六五年	五四、〇〇	二五、〇〇	二二、六九
フリドリツヒ、バイエル	一八八一年	五四、〇〇	二五、〇〇	三三、三五
合計		二七、八〇	六〇、五〇	四八、五五

右ノ各種資本ヲ總計スレハ實ニ二億三千六百八十六萬馬克ノ巨額ニ達ス、是等三箇

ノ會社ハ獨逸ニ於テ最モ收益饒ナル事業ニシテ最近數年間ノ配當率ハ驚クヘキ數字ヲ示シ來レルヲ以テ伯林取引所ニ於ケル株相場モ之ニ比例シテ著シク上騰セリ

年次	アニリン製造會社		バーデン工場		バイエル	
	配當	相場	配當	相場	配當	相場
一九〇九年	一八%	三六九%	二四%	四五四	二四%	四八四
一九一〇年	二〇	三六六	二五	五〇八	二五	五〇九
一九一一年	二〇	四六	二五	五〇四	二五	五三二
一九一二年	二二	四二	二六	五六	二六	五八
一九一三年	二二	四七	二六	五九	二六	五五二

右三會社ノ間ニハ共通利害 (Interessenge meinschaft) ノ存スルアリテ之カ爲市場ニ對スル勢力ハ彌々強大ニ赴ケリ、一九〇七年三會社ハ共カシテ「アウグスト、并クトリ」ト稱スル大石炭事業ヲ取得シ之ニ依テ石炭市場ニ於ケル動搖ノ影響ヲ免レ得タリ、其外三會社共カシテ外國ニ諸種ノ獨立セル事業ヲ起セルカ一例ヲ舉クレハ英國ニ於テ嚴格ナル特許法ノ實施セララルヤ一九〇八年倫敦ニ獨立セル株式會社「Mersey chemical works」(資本金二十萬磅)ヲ創立セルカ如キ、又「フリドリツヒ、バイエル」會社ハ「アン

トワープ附近ニ於ケル白耳義株式会社「Usines de Produits chimiques de Schoonarde」ノ資本金四三%ヲ領有シ諾威會社「Norsk Hydro-Elektrisk Kveistof」ノ事業ニ關與セリ、是等三會社所屬ノ工場ハ重要ナル無機化學製品複雑ナル有機化學製品ヲ製造シ且人工彈性護模製作ノ試験ヲモ行ヒツツアルノミナラス、毎年新シキ試験ノ爲ニ巨額ノ金額ヲ投スルヲ常トセリ、右ノ外此等三會社ハ卓越セル化學者經驗アル技師ノ養成援助ニ努メ現ニ「バーデン會社」ノ如キハ一九一四年ノ始メ化學者三百三十三人、技師二百八十三人ヲ使用シ居レリ、事熊斯ノ如クナルヲ以テ多年ノ經驗ト巨額ノ貸本ト卓越セル人材ヲ擁スル此ノ一大工業團ニ對シ競争ヲ試ミントスルモノ殆ト絶無トモ云フヘキ狀況ニ在リ

斯ノ如キ勢力ヲ有スル團體ナルヲ以テ露國ニ於テ第一流ノ地位ヲ贏ケ得タルハ極テ易々タル業ナリシナリ、然レトモ其ノ露國支社ノ貸借對照表カ頗ル明瞭ヲ缺クヲ以テ右工業團ノ露國ニ於ケル勢力ヲ正確ニ計量スルハ殆不可能事ニ屬ス事實上是等支社ノ收入ハ種々ナル方法ヲ以テ大部分獨逸ニ於ケル本社ヘ移送セラレツツアリ獨逸アニリン製造會社カ露國ニ事業ヲ創始シタルハ一九一八年ニシテ之カ爲ニ資

本金中ヨリ二百萬留ノ金額ヲ支出セリ、本會社ノ露國支部ハ莫斯科及「リバーヴ」ニ「アニリン」染料工場ヲ所有セルカ一九一三年ノ本社報告ニ依レハ其事業大ニ見ルヘキモノアリト云フ

「バーデン、アニリン及曹達製造工場」支部カ露國ニ於テ登記ヲ受ケタルハ一九一八年ニシテ其ノ莫斯科ニ於ケル化學工場ハ人造「インヂゴ」^{「アニザリン」}並ニ「アニリン」染料其他ノ化學製品ヲ製作セリ、而シテ本會社ハ露國支部ノ爲特ニ資本ヲ割讓スルノ必要ヲ認メサリシナリ

フリデリツヒ、バイエル會社「ハ一九一二年ニ於テ從來ノ莫斯科支社ヲ改造シテ獨立セル株式會社ト爲シ、化學工場バイエル株式會社」ト命名セルカ其資本額ハ現今三百萬留ニシテ之ヲ千留宛三千株ニ分テリ、本會社ハ莫斯科ニ化學工場ヲ有シ、彼得具羅士「イワノヴォ、ヴズネセンスク」^{「ロツヂ」}「キエーフ」ニ支工場ヲ設置シ各種纖維用染料、麻布綿布用染料、皮革用各種染料、藥劑品ノ製造ニ從事セリ

右三會社ハ主トシテ中央産業地方ニ於ケル機械工業界ノ需要ヲ目的トセルカ有力ナル競争者無キヲ以テ此方面ニ於ケル市場ハ殆ト彼等ノ獨占ニ任セラレツ、アリ右ノ外中央産業地方ニ活動シツ、アル獨逸會社「ハ「フアルプエルケ」前名マイステル、リ

ユチウス、ブリユーニングト稱スル莫斯科化學工業會社ナルカ本會社ハ事實上獨逸ニ於ケル同名ノ會社ノ支社ニシテ創業一九〇〇年資本金額二百五十萬留トス、本會社ハ莫斯科ニ化學工場ヲイヴノヴオ、ヴズネセンスク「ロツヂ」ペトログラード「コカンド」タシケン「サマルカンド」チフリヌニ貯藏所ヲ所有シ其ノ事業「範圍」ハ露國ニ於ケルスヘテノ機械工業地方ニ及ヘリ、製造品ノ主ナルモノハ「アニリン」「染料」藥劑品トス、一九一四年乃至一九一五年度柏林取引所年報 *Salings* 取引所 *Börsenpapier* ハ露國會社「フアルブルケ」資本金全部カ今日ニ至ル迄同名ノ獨逸商會ノ手中ニ把握セラレ居ルノ事實ヲ指摘セルカ右獨逸商會ハ「ワルシヤ」ニ支社ヲ有スル獨逸株式會社「カルレ」ノ事業ニモ關與セルノナミラス、猶 *Leopold Cassella et Co.* ト稱スル有力ナル獨逸商會ト共通ノ利害ヲ有シ右「レオボルド會社」ハ之亦同様ニ露國ト密接ナル商業關係ヲ支持シ居レリ、獨逸商會「フアルブルケ」ニ屬スル夥多ノ特許品中主ナルモノハ人造「インヂゴ」「エール」ツヒ教授發明品「サルグルサン」及「ネオサルグルサン」ナリトス、以上ノ記述ニ依リテ露國ニ於ケル同名ノ會社ノ資本金全部ヲ掌握スル獨逸商會「フアルブルケ」ノ勢力カ如何ナルモノナルヤヲ了知シ得可シ、猶説明ノ十全ヲ期センカ爲ニ其ノ營業狀況ニ付一言ヲ附加スレハ其ノ資本金ハ五千萬馬克、社債

資本千萬馬克、過去三年間ノ配當率ハ資本金ノ三割、一九一三年末ノ株式相場ハ六百十二「バーセント」迄昂騰セリト云フ

中央産業地方ニ於ケル獨逸化學工業ハ上述ノミニ止ラサルヘキモ獨逸化學工業會社ト莫斯科産業地方トノ間ニ結ハレタル關係ヲ充分ニ説明スルハ極メテ至難ノ業ニ屬ス

竊テ波蘭地方ニ於ケル獨逸化學會社ノ活動如何ヲ窺フニ茲ニ其ノ材料トシテ蒐集シ得タルモノハ次ノ諸會社トス

(一) 獨逸株式會社「カルレ」露國ニ於ケル創業ハ一九一〇年ニシテ化學工場ヲ「ワルシヤ」ニ貯藏所ヲ莫斯科ニ置キ露國內ノ營業ノ爲ニ分割セラレタル資本金ハ六十五萬留主トシテ「アニリン」「染料」ノ製造ニ従事ス

(二) 聯合化學工場株式會社「モローゾフ、クレトル、オットマン」創業一九〇五年「クロヂスク」(ワルシヤ)縣「スロドウブ」(ペトロコフ)縣「キネシム」(コストローム)縣ニ化學工場ヲ所有ス資本金百三十萬馬克

(三) 獨逸會社「マインツ」化學工業「創業一九〇五年、本會社ハ「グジホフ」(ペトロコフ)縣ニ化學工場ヲ所有シ、硫酸及醋酸ノ製造ヲ行フ、露國內ノ事業用トシテ三百六十萬馬克

ノ資本金ヲ分與セラレ居ルカ其ノ收益ハ頗ル多額ニシテ一九一二年度ノ純益ハ百八十三萬四千五百八十五馬克即資本金ニ對シ約五〇%ヲ示シ其ノ配當ハ一九一一年度一六%一九一二年度二〇%ナリキ

其ノ他獨逸人ハ左ノ二會社ニ關係セリ(一)化學製造會社「ストレーム」株式會社(資本金百三十二萬五千留)(二)ストルゼメシーツエ過磷酸株式會社(資本金五十萬留)兩會社共本部ヲ「ワルシヤ」ニ置キ孰モ同一資本家ノ關與ヲ受ケ此二會社ハ露國ニ於テ殆ト獨占的地位ヲ占ムル肥料工場團ニ屬シ露國ニ於ケル肥料生産額ノ殆ト全部カ獨逸人ノ手ニ集中セラレ居ルノ觀アリ一九一一年伯林ナル著名ノ獨逸會社 A.G. Chemische Produkte vormals H. Scheidemandlヲ資本金ヲ増加シテ獨「佛、白、露」ニ於ケル諸會社ニ對スル勢力ヲ固定セントセリ、就中露國ニ於テ最モ古ク且收入多キ會社ノ一トシテ目セラル、獸骨肥料製造工場ニ勢力ヲ扶殖セントコトヲ企圖セリ、本工場ノ主腦部ハ彼得具羅士ニ在リテ創業一八七六年資本金三百萬留ニシテ之ヲ百留宛千株ニ分テ公式ニ彼得具羅士取引所ニ上場セラレツ、アリ、過去五年間ニ於ケル本工場ノ配當ハ貸本金ニ對シ二〇%ノ割合ナリ尙本會社ニ對シ一層密接ナル關係ヲ結ハンカ爲伯林會社「シャイデマンドル」ハ「アントワープ」ニ獨立セル白耳義會社「Société Auxiliaire

de Industrie chimique) (資本金千二百萬法)ヲ設立セリ而シテ右會社ノ設立ニ付キ同會社ノ報告スル所ニ依レハ「シャイデマンドル」會社ノ經濟的活動ヲ工業的活動ト嚴格ニ區別センカ爲ナリト云フサレハ同會社ハ此時迄自己ノ保藏セル「獸骨肥料會社」及「巴里」ニ於ケル Société Française de l'Industrie chimique 並ニ Etablissement Jourdain 其他獨逸、北米合衆國ニ於ケル諸會社ノ株式ヲ悉ク新設白耳義會社ニ引渡シタリ因ニ「シャイデマンドル」會社ハ猶其他ノ露國化學事業ヲ管理シ居レリト雖是等事業ノ名稱ヲ明カニスルヲ得サリシハ遺憾トスル所ナリ

又殆ト全世界ノ化學製品藥劑品ニ對スル需要ヲ充シツ、アリト稱セラル、*「ダラムスタット」*、*「メルク」*商會伯林ノ「リデル會社」及「セリング會社」等ハ關稅等ノ關係上管ニ露國へ自己ノ製品ヲ輸入スルノミニ止ラス進テ支社ヲ設置シ若ハ隱密ノ間ニ多數ノ露國事業ニ關係シツ、アリ

例ヘハ「リデル」會社 (L. D. Riedel A. G. Berlin-Bries) ノ一九〇六年乃至一九〇七年度報告ヲ見ルニ本會社ハ二箇ノ露國會社ト協力シテ藥劑並ニ化學品製造會社「ファルマコン」ヲ創立セリ本部ハ目下彼得具羅士ニ在リテ贊本金ハ創立當時ノ三十萬留ヨリ百萬留ニ増加セラレ(創業一九〇七年)彼得具羅士ニ藥劑化學工場ヲ有シ其ノ營業的方

面モ頗ル發展シツ、アリ概シテ獨逸人ハ露國ニ於ケル藥劑化學製品販賣業ノ大部分ヲ自己ノ手中ニ掌握シ居レリ而シテ是等諸會社ハ相互ノ競争ヲ避ケンカ爲規約ヲ結ヘルコトハ前述ノ「リデル」會社一九〇六年乃至一九〇七年度ノ報告ニ依リテ察知スルヲ得該報告ニ曰ク相互ノ競争ニ依リテ生スヘキ虞アル不利ノ結果ヲ避ケンカ爲本會社ハ信用アル數箇ノ商會ト協定ヲ締結シタルカ該協定中ニハ外國ニ於ケル獨逸支社間ノ相互扶助ニ關スル一項ヲ含メリト右ノ同盟ハ貨物ノ生産價格販賣竝ニ特許ニ關スル問題ヲ調節シ就中興味アルハ本同盟ニ入レル總テノ會社カ協同シテ獨逸及外國ニ於ケル同性質ノ事業ニ關與セル旨ヲ述ヘタル一項ナリトス斯クノ如ク製造作業上商取引上會社經濟上有ユル點ニ於テ完備セル機關ヲ有スルヲ以テ「リデル」商會ヲ盟主トスル此ノ團體ハ其ノ他ノ露國化學製品會社ト緊密ナル關係ヲ結ヒタルハ疑ヲ挿ム餘地ナキモノト謂ハサルヘカラス莫斯科化學工場株式會社「シエリング」ノ株式ノ大多數ヲ所有セル「Chemische Fabrik auf Aktien Vorm. J. E. Scheffé」會社モ亦右同盟ニ加ハレリ本會社ハ一九〇五年即最近ノ露獨通商條約締結後僅々數ヶ月ノ間ニ露西亞ニ於ケル事業ヲ開始セルカ其ノ趣意書ニ曰ク「露獨新通商條約ハ重要ナル獨逸化學藥劑品ノ露國輸入ヲ至難ナラシメタルノミナラス若干ノ

貨物ハ殆ト露國市場ヲ喪失スルノ虞アルニ至レリト茲ニ於テ本會社ハ既ニ一九〇一年株主總會ニ於テ通過シタル露國工場創立ノ決議ヲ實現スルニ決シタルカ便宜上該新事業ニ獨立セル露國株式會社ノ形式ヲ賦與スルコト、爲シ露國化學製品株式會社「シエリング」ナル名稱ヲ付シタリ初メ資本金ハ三十萬留ト定メタルカ此ノ公稱資本金ハ實際ノ莫大ナル運轉金額ニ合致セサルコト甚タ遠ク例ヘハ創立後幾何モナクシテ本會社ハ莫斯科ニ於ケル株式會社「カルボニザート」ノ資本金全部ヲ取得シタリ柏林本部ノ報告中ニモ露國ニ於ケル企圖實行カ巨額ノ支額ヲ要シタル旨ヲ記セリ一九〇八年「シエリング」會社ハ六十萬留迄ニ増資ヲ行ヒ更ニ一九一二年ニ至リテハ百二十萬留ニ増加セリ

露國ニ於ケル獨逸化學工業團ノ間ニ存スル聯絡ヲ劃然ト決定指示スルハ困難ナリト雖獨逸ニ「露國同盟」トモ稱ス可キモノ、存在スルハ確實ナルカ如シ獨逸會社「Union-Fabrik chemischer Produkte in Stettin」ノ報告中ニモ其ノ一端ヲ窺ヒ得ル一節アリ即「同會社ハ種々ナル組合同盟ニ加入セルカ其ノ中ニ所謂「露國同盟」竝ニ埃甸國過燐酸工場同盟等ヲ含ム」ト

上述ノ如クナルヲ以テ露國ニ於ケル複雑ナル化學工業ノ全般ニ亘リテ陰ニ獨

逸人ノ勢力カ彌蔓シ居ルハ疑ナキ所ニシテ獨逸會社 Rütgerswerke A. G. 所有有價證券調査表中ニモ露國ニ於ケル「ユリウス、リウトゲルス」式木材防腐工場株式ノ多數カ掲載セラレ居レリ、而シテ該工場ハ一八九九年露國ニ其ノ事業ヲ鞅メ資本金五十萬留「キエーフ」「アストラハン」「オレンブルク」「パウログラード」「バクー」及「チフリス」縣「ゴリ」驛ニ木材防腐工場(中一移動工場)ヲ有シ就中「キエーフ」工場ハ「ユリウス、リウトゲルス」式ノ裝置ニシテ一年二百八十萬立方呎ノ木材ニ防腐浸劑ヲ施シ得ルモノナリ、一九〇六年獨逸會社 Carb-und Farbstoffwerke H. Renner & Co. ハ關稅ノ關係上獨逸資本ノ關與セル佛露ノ商會ト共同シテ「ワルシヤ」ニ於ケル「タンニン酸」及「エクストラクト」(毛髮香水製造工場)ヲ買收シ、且之カ管理ノ爲獨立セル株式會社「ブロンク、ヂュボスク、レンネル」株式會社「ケブラホ」ヲ創立セリ、該會社ノ露國ニ於ケル創業ハ一九〇七年ニシテ目下ノ資本金ハ百萬留ナリ

又英國及和蘭ニ多クノ支社ヲ有スル有力ナル獨逸會社 Chemische Werke H. & E. Albert ハ「タガン、ローグ」及「マリウポリ」附近ニ於ケル「トマス」磷酸工場ニ密接ナル關係ヲ有ス該露國工場ノ資本金ハ五十萬留ニシテ一九一二年度ノ配當ハ資本金ニ對スル一九%ノ割合ナリキ「アルベルト」會社ノ報告ニ依レハ該會社ハ一九一三年新ニ露國ニ設

立セラレタル某株式會社ノ株式ヲ多數ニ取得セリト然ルニ此ノ社名ヲ知り得サルハ頗ル遺憾トス

又「ボーゼン」ニ於ケル「Chemische Fabrik Aktien Gesellschaft vorm. Moritz Milch & Co.」ノ報告ニ依レハ該會社ハ貨物ノ價格及販賣區域ノ整理ヲ目的トスル「露國過磷酸組合」ニ屬ス世人ノ熟知セルカ如ク最近十年間ハ獨逸化學工業ノ全盛期ニシテ獨逸國內並ニ外國ニ於ケル新會社ノ創設既設會社ノ擴張化學製品ノ需要増加ハ著シキ斯界ノ好況ヲ惹起シタリ、這般ノ消息ハ獨逸大化學工業會社ノ經濟的援助ニ熱中セル獨逸諸銀行ノ重役ニ依リテ闡明セラレタルカ例ハ「獨逸銀行」ヲ盟主トセル銀行團ハ一九〇七年ノ一ケ年間ノミニ於テ獨逸大化學工業會社ノ新發行ニ係ル社債四千六百五十萬麻克ノ保證ヲ爲シ居レリ其ノ内譯ヲ示セハ下ノ如シ「アニリン製造會社」五百萬麻克「フアルプエルケ」會社千九百九十五萬麻克「フリドリツヒ、バイエル」會社千五百萬麻克「バーデン、アニリン工場」千五百萬麻克ナリ、斯ノ如キ巨額ナル資金流入ハ根本的ニ斯業ノ工業的並ニ經濟的組織ヲ變更セサルヲ得ス

上記諸會社ノ經濟的方面ヲ自己ノ手中ニ集中シタル銀行團ハ一九〇七年ニ至リ更ニ工業的方面ニ於テモ利害ヲ共ニスルノ方策ニ出テ協力シテ「アウグスト、并クトリ

ヤ炭坑ヲ買收シ且國外ニ種々ノ事業ヲ創設セリ露國ニ於ケル上記諸會社ノ企劃ハ着々功ヲ奏シタルヲ以テ一九一四年取引所ノ危機其ノ他種々經濟的ノ不況ニモ不拘 Deutsche Bankヲ盟主トスル銀行團ハ上記諸會社ノ新社債五千六百八十萬麻ノ發行ヲ保證スルヲ得タリ右金額ノ内譯ハ「フアル」ブルク「千四百萬麻」バーデン「千八百萬麻」アムリン製造「六百八十萬麻」フリドリツヒ「千八百萬麻」ナリ獨逸ヨリ輸入セラルヘキ化學製品ニ對スル一九〇四年ノ協定關稅率ノ變更及來ルヘキ一九一七年ノ通商條約改正ノ際獨貨ノ露國輸入カ新シキ困難ヲ以テ迎ヘラルヘントノ懸念トニ依リ一九〇四年乃至一九一四年ニ於テ夥シキ新資本ノ流入ヲ促シタルモノナリ

尙次表ニ就キ觀察スルニ最近八年間即一九〇五年乃至一九一二年ニ於ケル獨逸資本ノ露國化學工業界ニ對スル流入ハ千百〇六萬留ニ達ス然ルニ其ノ前八年間ニ於ケル流入額ハ僅々四百九十七萬留ニ過キス各年度ノ流入額ハ次表ノ如シ

年次	單位百萬留
一八九七—一八九九年	一九〇
一九〇〇—一九〇二年	一七四
一九〇三年	二〇

一九〇五年	一一七
一九〇六年	一六〇
一九〇七年	三〇
一九〇八年	五八
一九〇九年	二二四
一九一〇年	一〇〇
一九一一年	六四
一九一二年	三三六
一九一三年	一三〇
計	一六〇三

是等新資本ハ獨逸會社ノ露國支社新設及擴張ニ使用セラレタルモノナルカ右新設支社ノ數ヲ檢スルニ一八七七年乃至一八八九年ニ於テハ新設化學工業會社ノ數三、資本金總額二百三十萬留、一八九七年乃至一八九九年ニ於テハ新設會社三、資本總額百九十萬留、一九〇〇年乃至一九〇二年ニ於テハ事業數二、資本金百七十萬留、一九〇五年乃至一九〇七年ニ於テハ事業數四、資本金二百二十二萬留、一九〇九年乃至一九

一二年ニ於テハ事業數二、資本金額三百六十五萬留ナリキ、之ニ依テ見ルニ一九〇五年乃至一九一三年間ニ亘ル新設會社ノ増加ハ六箇ニシテ其資本總額ハ五百八十七萬留ナレトモ該期間ニ於ケル總資本額累計ハ千百六萬留ニ達ス之ニ依テ觀レハ新資本カ主トシテ從來ノ諸會社擴張ニ放下セラレタルヲ察知シ得ヘシ
露國化學工業界ニ於ケル獨逸資本ノ増加及其ノ新施設ハ次ノ表ニ依テ簡單ニ窺フヲ得ヘシ

年次	事業數	資本金(百萬留)
一八九七年	三	二三〇
一九〇〇年	六	四二〇
一九〇二年	八	五九四
一九〇三年	八	六一四
一九〇四年	八	六一四
一九〇五年	〇	七三一
一九〇六年	一	八九一
一九〇七年	二	九二一

一九〇八年	二	九七九
一九〇九年	三	一二〇三
一九一〇年	三	一三〇三
一九一一年	三	一三六七
一九一二年	四	一七〇三
一九一三年	四	一八三三

右資本額ノ運轉ヲ事業別ニ觀察スレハ左ノ如シ

(單位百萬留)

事業名	一九〇一年	一九〇三年	一九〇四年	一九〇五年	一九〇六年	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一三年
獸骨製造會社	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五
ラドハ	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
ユリウス、リネト	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
ケルス會社	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
アニリン工業會社	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
フアルプエルケ	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
トマス機酸製造會社	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
モローフ、クレン	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
イル、オットマン	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
セリン	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
メインツ化學工業會社	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

右ハ一八八七年波蘭各市外ニ於ケル不動産ノ取得ヲ外人ニ禁止スルノ法令發布セラレタルカ爲ニ外ナラス
 最後ニ注意スヘキハ或ル事業ニ於テ獨逸人カ其ノ株主名簿中ニ其ノ名カ列舉セラレ、コトナシトスルモ之ヲ以テ直ニ該事業ニ獨逸資本ノ關係ナキモノト爲スノ甚シキ早計ナルコト是ナリ由來獨逸人ハ大規模ノ貸付提供等ノ方法ヲ以テ必スヤ多クノ事業ニ關與セルコトヲ忘ルヘカラサルナリ

第五章 都市經營ニ於ケル獨逸資本

露國都市人口ノ増殖ハ其ノ急激ナル速度ニ於テ都市自治機關ノ經濟力發展ヲ凌駕シ都市經營ニ關スル諸種ノ事業ノ必要ヲ感ズルコト痛切ナルニモ拘ラス自治機關ハ資金不足ノ爲自力ヲ以テ此ノ方面ニ於ケル要求ヲ満足セシムルコト能ハサリキ
 既ニ前世紀九十年代ノ始ニ當リ各市自治機關ハ市債募集ノ方法ニ依リテ新資金獲得ニ努力シ一八九一年乃至一八九五年ノ五箇年間ニ於ケル市債發行額ハ二千九百十六萬三千留ノ巨額ニ達シ又一八九一年ヨリ一九〇〇年迄ノ十年間ニ於ケル市債ノ發行ハ六十四回ニ及ヒ總額九千三百三十二萬六千留ナル數字ヲ示スニ至レリ然レトモ該新資金ノ大部分ハ最モ緊急ナル都市ノ要求ニ充テラレタルヲ以テ電車ノ敷設、電燈ノ設備等ニ着手スルノ餘裕ナカリシナリ
 而シテ露國企業家モ亦内國市場ニ於ケル自由資金缺乏ノ爲上記諸事業ノ將來多望ナルニモ拘ラス之カ實現ニ着手スル能ハサリキ(露國金融市場カ發展シタルハ最近ノ事ニ屬ス)此ノ自由ナル事業ノ分野ニ現レタルハ獨逸人ナリキ
 從來獨逸人ハ露國ニ於テ有利ナル都市經營事業ニ關シ種々ナル計畫ヲ遂行シ其ノ

瓦斯燈事業ハ露國ニ於テ古ヨリ活動シツ、アリシヲ以テ此ノ方面ニ於テ獨逸人ハ豐富ナル經驗ヲ有シ資本亦充分ナリシカ唯政治上ノ好機運到來セザリシカ爲獨逸人モ公然露國都市經營者トシテ出現スルヲ得ザリシナリ然ルニ佛露協約ノ締結セラル、ヤ政治的情勢ノ變化ハ著シク當時ノ金融市場ニ影響ヲ與ヘタルヲ以テ獨逸人ハ新シキ條件ノ下ニ露國市場ニ於ケル自己ノ地位ヲ確保センカ爲ニハ自ラ前個ノ態度ヲ取ルノ止ムヲ得サルニ至リシナリ

一八九〇年代ハ獨逸人カ白耳義ニ無數ノ經濟機關ヲ設立スルニ必死ノ努力ヲ爲シタル時代ニシテ此等經濟機關ハ後ニ至リ白耳義會社ノ名義ノ下ニ露國へ侵入シ來リ電車事業界ニ鞏固ナル地盤ヲ築キ上ケタリ、今日世人ハ此等事業ヲ目シテ純白耳義事業トナセルハ大ナル誤謬ニシテ少シク注意ヲ拂ヒテ觀察スレハ露國ニ於ケル電車事業ノ大部分カ獨逸人ノ手ニ依リテ左右セラル、ヲ知得シ得可シ

白耳義ニ於ケル獨逸經濟機關ノ組織完成ハ恰モ露國ニ於ケル白耳義電車事業ノ創設ノ時ニ相當シタリ此ノ事タル決シテ偶然ノ結果ニ非スサレハ露國ニ於ケル白耳義電車事業カ獨逸經濟團ノ活動ノ結果ナリト云フハ幾分ノ真理ヲ含メル言辭タリ獨逸人ノ露白電車事業經營ニ關スル複雑ナル方針ヲ闡明セシメンニハ左ノ事情ニ

注目スルヲ要ス、一八九五年獨逸諸銀行ハ大工業團ト協力シテ「ブリュッセル」ニ Société Générale Belge d' Entreprises Industrielles ナル經濟的「シンヂケート」ヲ起シ更ニ一八九八年ニハ Société Financière de Transports et d' Entreprises Electriques ヲ創設シ、一九一一年ニ至リテハ Tramways et Electricité en Russie ヲ設立セリ、一八九五年乃至一八九八年獨逸人ハ「ブリュッセル」ニ電氣並ニ電車事業管理ヲ目的トスル二箇ノ「シンヂケート」ヲ起シタリ之恰モ露國各都市カ新シキ電車線路ヲ以テ蔽ヒ盡サレタル時期ニ相當スルモノナリ、一八九五年乃至一八九八年ノ期間ニ於テハ新ニ十箇ノ露白電車事業ノ設立ヲ見タルカ之ヲ年度別ニ分類スレハ一八九五年三箇、一八九六年三箇、一八九七年三箇、一八九八年一箇トス、右ノ外獨逸人ハ該期間ニ於テ既ニ一九八〇年代ニ創立セラレタル露白電車事業ノ大部分ヲ買収シタリ、
箇々ノ露白電車事業ヲ説明スルニ先テ吾人ハ此方面ニ於ケル一切ノ事業ヲ一覽表トシテ掲記セムトス(單位百方度)

	資 本		社債資本
	創立當時	現在	
オデッサ馬車鐵道會社	一八八〇	六、三〇	二七、八六
ハリコフ馬車鐵道會社	一八八三	二、六六	六三

チフリリス馬車鐵道會社	一八八五	一、二五	償還濟	一六、一六
ワルシヤワ馬車鐵道會社	一八八二	五、八五	買收濟	
莫斯科馬車鐵道會社	一八八五	五、〇〇	買收濟	
ドン、ロストフ馬車鐵道會社	一八八六	一、〇〇	償還濟	九、〇五
カザン馬車鐵道會社	一八九三	二、一〇	三、九〇	五、八七
ベロストーク馬鐵會社	一八九五	一、一五	一、一五	八六
キンニヨフ馬鐵會社	一八九五	一、五〇	一、五〇	七六
クルスタ電軌會社	一八九五	三、五〇	三、五〇	〇五
アストラハン軌道會社	一八九六	二、五〇	二、四四	一、七六
オルロフ電軌會社	一八九六	二、〇〇	一、九六	九二
并デブスタ電軌會社	一八九六	一、五〇	一、二〇	
電車及應用電氣	一八九七	一、五〇	一、〇〇	六、四六
エカテリノスラフ電車	一八九七	二、〇〇	一、六六	一、九六
タシケント電車會社	一八九七	一、七五	三、四〇	三、二五
電軌會社	一八九八	一、二〇	一、二〇	

ウラヂカフカーズ電車電燈 一九〇〇 一、六〇 一、六〇 一、〇三
 サラトフ電車電燈 一九〇五 一、〇〇 九、三六 八、八八
 キエーフ電軌會社 一九〇五 一、〇〇 九、四七 一〇、三八
 リガ電軌會社 一九〇三 一〇、六六 一〇、六六 三、二〇
 シムフェローポリ電軌會社 一九一一 三、五〇 三、五〇 |

右表ニ舉ケラレタル露國現存ノ白耳義電車事業ヲ次ノ五種類ニ分割スルヲ得

(一)オデツサ、チフリリス、莫斯科、ベロストーク、リガ、シムフェローポリ、エカテリノスラフ電軌會社、是等諸事業ハ殆ト全部獨逸ノ勢力下ニ置カル、モノナリ

(二)クルスク、カザン、オルロフ、サラトフ、キエーフ、ロストフ電軌會社は等諸會社ハ獨白兩國ノ經濟團ト親密ナル關係ヲ有スル Compagnie Mutuelle de Tramways ニ管理セラル

(三)電車及應用電氣會社並ニ電軌會社ノ兩者ハ Deutsche Bank 及 Commerz-und Discontobank ニ密接ナル關係ヲ有スル「シヨドウアール」ノ支配下ニ屬セリ「シヨドウアール」ハ其ノ他獨逸人ノ關與セル露國鐵管製造會社ノ理事長タリ

(四)キンニヨフ、アストラハン、タシケント電軌會社は等諸會社ノ株式ハ全部 E. I. I. Empaint ノ手ニ在リ、獨逸人カ果シテ此ノ獨立セル經濟團ト接近ノ方法ヲ講シ得タ

ルヤ否ヤハ不明ナリ

(五)ハリコフ、ワルシヤワ、ギテブスク、ウラヂカフカーズ電軌會社は等ハ總テ佛白資本家ニ屬ス

以上五種ノ會社ヲ其ノ資本額ニ依テ區分スルトキハ左ノ如キ結果ヲ得(單位百萬法)

第一類	第二類	第三類	第四類	第五類
六	六	二	三	三
三、八、九、七	二、九、一、九	一、一、二、〇	七、三、四	五、四、六
社債資本	四、九、七、九	三、五、一、五	六、四、六	五、七、七
資本金	六	二	三	三
會社數	六	二	三	三

右五種中資本高ノ點ニ於テ最優勢ナルハ獨逸ノ諸銀行並ニ經濟團ニ支配セララルル第一類トシ、第三類ニ於テモ獨逸資本ノ勢力重キヲ占メ、第二類モ亦獨逸銀行ト或種ノ經濟關係ヲ有スルヲ以テ獨逸人ハ種々ノ方法ニ依リ資本金七千九百三十六萬法社債資本九千四百四十萬法ヲ擁スル十四ノ在露白耳義電車事業ニ利害ヲ有スルコトトナル然ルニ佛白人ハ資本金千二百八千萬法社債資本七百四十三萬法ヲ有スル六

會社ヲ管理スルニ過キス(尤佛白經濟團ハ一九一二年白耳義ニ株式會社 Tramway et Entreprises electrique de la Banlieue de St. Yetersbourg ヲ新設シ該會社ハ露國會社「オラニエ」ンパウム電氣鐵道ヲ經營シツツアリ、但彼得具羅士ニ於ケル某私立商業銀行モ此ノ鐵道ニ密接ナル關係ヲ有ス)

上ニ述ヘタル三箇ノ在白耳義獨逸經濟「シンヂケート」中露國事業界ニ最勢力ヲ振ヘルハ Soc. Financière de Transports et d' Entreprises Industrielles 並ニ Tramwayet Electricité en Russie ナルカ後者ハ左ノ諸會社ヲ管理セリ(單位百萬留)

創立年次	資本金	社債資本
リガ電軌會社	一九〇三	四、〇〇〇
オデッサ電話會社	一九〇一	一、二〇〇
ベロストーク電燈會社	一九一三	二、〇〇〇
ラドム電氣會社	一九〇九	三、〇〇〇
シムフエローポリ電燈會社	一九一一	一、三二二

經濟「シンヂケート」 Soc. de Transports et d' Entreprises Industrielles ノ所轄會社ハ「オデッサ馬鐵會社」(資本金二千二百萬法、社債資本二千七百八十六萬法)及「オデッサ電氣株式會

社〔資本金八百萬法〕ナリトス、
 スクシテ獨逸人ハ、オデツサ市ノ主ナル利便事業即電車、電話、電燈ノ一切ヲ自己ノ手
 中ニ掌握スルニ至レル次第ナリ
 Soc. de Transports et d' Entreprises Industrielles ハ白耳義ニ於ケル最モ有力ナル獨逸シン
 デケートノ一ニ屬シ重役中ニ Deutsche Bank, Dresdner Bank, Disconto Gesellschaft, Allgemeine
 Elektrizitäts-Ges. Ges. für elektrische Unternehmen 等ノ支配人ヲ數フルコトヲ得該シンデケ
 ートハ世界ノ各中心地ニ於ル二十四箇ノ電車、電氣會社ヲ管理セルカ就中 Campagne
 Centrale d' Energie Electrique a Paris 及組合 Consortium de Constantiople ヲ其ノ重ナルモノト
 ス而シテ該シンデケートノ目的トスル所ハ利益ノ獲得ニ非スシテ獨逸諸銀行ト在
 外工業ノ仲介ニ在レトモ近年其ノ經濟狀況カ極メテ好況ナルハ次ノ表ニ依テ窺フ
 ヲ得可シ

年 度	資 本 金	純 益	一株ニ對スル 配當額	現 在 相 場
一九〇七年	一五、〇〇〇 <small>百萬元</small>	一、五二一 <small>百萬元</small>	三五五 <small>法郎</small>	七八五
一九〇八年	一五、〇〇〇	一、七五〇	三七五〇	七七九
一九〇九年	一五、〇〇〇	二、〇二〇	四〇〇	九〇七

一九一〇年	一五、〇〇〇	二、三三七	四五	九五六
一九一一年	一五、〇〇〇	二、六一	五〇	一〇九五
一九一二年	一五、〇〇〇	三、〇一	五五	一一四〇

即上記ノ期間ニ於ケル本シンデケートノ収益ハ二倍ノ増加ヲ遂ケ一九一二年ニ於
 テハ資本金ノ三十%ノ割合ト爲レリ、而シテ其ノ管轄セル二個ノ露國會社即「オデツ
 サ馬鐵會社」及「オデツサ電氣會社」モ最近數年間著々成功ヲ收メツツアリ〔單位百萬法〕

年 次	馬 鐵 會 社		電 氣 會 社	
	總 收 入	純 益	總 收 入	純 益
一九〇七年	三、四六	一、三二二		
一九〇八年	三、四一	一、〇七		
一九〇九年	三、八八	一、〇六	創 業	
一九一〇年	三、九四	一、三八	一、〇七	
一九一一年	四、六六	一、七八	一、二六	
一九一二年	六、五五	三、三一		五、四一

獨逸經濟「シンデケート」〔Tramways et Electricite en Russie〕ニ屬スル諸事業モ亦好成績ヲ
 舉ケツ、アリ、次ニ一表ヲ掲ク

年次	オデッサ電話		リガ電車	
	總收入	純益	總收入	純益
一九一〇年	八五	四〇	四、一二	二、二九
一九一一年	九八	四七	四、八七	二、二七
一九一二年	一〇九	五六	五、五八	三、一五

其他成績良好ナル諸會社ハ「ラドム」電氣會社「最初二回ノ營業年度ニ於テ資本金三十萬留ニ對シ五%ノ配當ヲ爲セリ」シムフエローポリ「電軌電燈會社ナリトス」ベロスト
 一「ク」電氣會社ハ僅々一九一三年ニ創立セラレタルモノニ過キス
 Compagnie Mutuelle 所屬會社ノ收入ハ左表ノ如シ

年次	クルスク	カザン	オリヨール	サラトフ	キエフ	ロストフ
一九一〇年	一四	五	一七	一、一六	一、六七	二、六〇
一九一一年	一九	六一	二三	一、四〇	一、九二	二、七九
一九一二年	二三	五六	二五	一、四八	二、一〇	二、九三

右表ニ付一言説明ヲ要スルハ白耳義會社「キエフ電車」ノ他ニ該白耳義會社ニ經營支配セラル、露國會社「キエフ市街鐵道」ノ存スルコトニシテ既ニ述ヘタルカ如ク「キ

エー「フ」電氣會社ノ株式カ總テ獨逸ノ手ニ歸シ居レルヲ以テ獨逸ノ資本家ハ「キエー
 フ」市ノ該事業ニ對シ確固タル地盤ヲ築キ上ケタルハ疑ヲ容レサル所ナリ、次ニ獨逸
 會社カ露國各市ヨリ得タル特許期限ハ左ノ如シ

- オデッサ電氣會社 一九〇九年—一九四七年
- クルスク電車 一八九五年—一九四四年
- カザン電軍(第二線) 一八九八年—一九四二年
- オデッサ電車 一八七九年—一九三五年
- ロストフ電車 一八八六年—一九三九年
- オリヨール電車 一八九六年—一九三六年
- リガ電車 一八九六年—一九三六年
- キエーフ電車 一八八九年—一九三四年
- カザン電車(第一線) 一八九三年—一九二五年

右ノ外獨逸工業會社ハ露國全土ノ中心地點ニ電車並ニ電燈ノ敷設裝置權ヲ有シ同
 時ニ又彼等ハ露國大都市ノ瓦斯業ニ關スル特權ヲ取得シ居レリ、即「カリーシユ」ペト
 ロコフ「トマンヨーフ」リバーワ「クロンシタット」キリナ「カザン」ワルシャワ「彼得具羅士

ニ瓦斯工場ヲ設置セリ、左ニ獨逸資本ノ關與セル露國瓦斯會社ヲ掲ケン

獨逸株式會社「アウグスブルク」聯合瓦斯工場	創業年度	資本金(百萬留)	支店所在地
獨逸株式會社「ガールデン」瓦斯工場	一八八五	七二	カトリシユ、ペトロコフ、トマシヨーフ
白耳義株式會社「カザン」瓦斯電氣工場	一八九一	七五	リバーワ
	一九〇〇	一、三一	カザン

(右會社ニハ Compagnie Mutuelle 關與セリ)

獨逸瓦斯電氣業開發會社

露國ノ爲ニ特別資本ノ分割ナシ

クロンシタツトウイリナ

獨逸大陸瓦斯會社

一九一〇 一八八九 一二、二四

ワルシヤワ瓦斯及化學工場

右表ニ依リ明カナルカ如ク現今露國ニ於ケル瓦斯會社中資本額ノ點ニ於テ最モ有力ナルハ大陸瓦斯ニシテ同社ハ瓦斯工場ノ外化學工場ヲモ所有シ礮砂、酒精、無水アンモニヤ、ナフタリン、ベンゾール油、石炭酸、クレオリン、リゾール、カルボリネウム等ヲ製造ス「ワルシヤワ」市ニ於ケル獨逸人ノ勢力ハ之ノミニ止ラス同市ノ電燈事業モ亦彼等ノ獨占ニ依ルモノナリ

前表ニ擧ケタル諸瓦斯會社ノ營業成績ハ左ノ如シ

年次	配當		陸瓦斯電氣
	カザン	アウスブルク	
一九一一年	六%	九%	一一%
一九一二年	八%	九%	〇%

獨逸大陸瓦斯會社ノ株式ハ伯林取引所ニ於テ取引セラル、一九一四年及一五年度ノ「サリング」取引所年鑑ニ依レハ同會社ハ一九一四年「オデツサ」瓦斯會社ノ創立ニ關聯セリト猶瓦斯電氣事業開發會社ノ株式モ亦伯林取引所ニ上場セラル

更ニ他方ニ於テ獨逸人カ露國大都市ノ第一流旅館經營ニモ關係ヲ有スルハ疑ノ餘地ナキ事實ナルモ此問題ニ對スル材料ノ乏シキヲ遺憾トス、唯彼得具羅士旅館「アストリヤ」カ獨逸株式會社「ワイニス」及「フライターグ」ニ依テ設立セラレタルコトニ關シテハ正確ナル根據ヲ有ス「ワイニス」及「フライターグ」ハ此ノ目的ノ爲資本金五十萬留ヲ割キテ彼得具羅士ニ支社ヲ設置シ戰前迄「アストリヤ」旅館ハ事實上右會社ニ屬シ居タリ、同社ノ營業項目ハ「ベトン」(セメント及砂) 及鐵建築、地上竝ニ地下建造、各種様式架橋、濾過計設備等ナリ、其他一九〇七年莫斯科ニ「ヂエツセルドルフ」機械工業株式會社、クストヂス、アルフォンヌ」ノ支社設置セラレタリ

第六章 露國礦山業其他ノ工業ニ於ケル獨逸資本

「ドネツ」炭坑地方ニ於ケル石炭事業ニ佛白資本カ優勢ナル地位ヲ占メ居ルニ當リ露國第二ノ炭坑地域タル「ドムプロフ」ニ於ケル石炭産額ノ大部分カ獨逸人ヲ主トスル株式會社ニ支配セラル、ハ世人ノ夙ニ熟知セル所ナリ、波蘭石炭市場ニ於ケル獨逸人ノ地位ハ次ノ一事實ニ於テ完全ニ理解シ得ヘシ、即一九一三年「シレジャ」地方ノ大商會ハ上記ノ諸會社ト協同シテ約四億布度ノ石炭ヲ波蘭市場ニ提供シタリ、一八九六年ノ協定率ニ依レハ石炭ノ關稅額ハ一布度一哥半ナリシニモ拘ハラヌ千九百十三年獨逸ヨリ波蘭ヘ輸入セラレタル石炭ハ一億九千四百四十布度即露國ヘ輸入セラレタル石炭總量ノ四一・五%ニ上レリ、右ハ「ドネツ」炭坑地方ト波蘭トノ距離大ナルト「ドムプロフ」坑ニ各種ノ石炭(コークス用、瓦斯用等)ノ産出ナキト、獨逸炭鑛地方(シレジャ)及埃國炭鑛地方(ボヘミヤ、モラヴィヤ)等ノ比較的接近セル等ノ事實カ波蘭地方ニ於ケル石炭ノ輸入ヲ促進シタルモノト謂フ可シ

又一方波蘭冶金工業界ニ對スル「コークス」ノ主ナル供給者ハ是亦獨逸ナリ嘗テ「コル

ズーヒン「カ其ノ著一九一一年度重要商工業概観」ニ於テ述ヘタル如ク「ドムプロフ」炭
 ハ品質極メテ好良ナルニモ拘ハラズ餘リニ完全ナル燃燒性ヲ有スルヲ以テ或種ノ
 工業例ヘハ熔鑛ノ如キニ適セサルノ憾アリ故ニ進歩セル工業ヲ有スル波蘭ハ勢、コ
 ークス「用炭并ニ、コークス」等ノ莫大ナル供給ヲ外國ニ仰カサル可カラス」而シテ獨逸
 ヨリ輸入スル石炭并ニ「コークス」ノ増加ハ次ノ表ニ依テ知ルヲ得ヘシ（單位百萬布度）

年次	石炭	コークス
一九一〇年	六六、六〇	一〇、八〇
一九一一年	一一一、三一	一九、五六
一九一二年	一三四、四一	二一、八六
一九一三年	一九四、四〇	二五、一〇

一九一〇年乃至一九一三年ノ間ニ獨逸炭ノ輸入ハ一億二千七百八十萬布度即約三
 倍ノ増加ニシテ「コークス」ノ輸入ハ二倍半ノ増加ヲ來シ獨逸商會ハ總テノ點ニ於テ波
 蘭經濟界ノ好況ヲ利用シ比較的高率ノ代價ヲ受クルヲ得タリ
 之ト同時ニ獨逸資本ヲ以テ波蘭ニ營業セル石炭會社モ亦採掘高ヲ増加シ獨逸資本
 家ハ種々ノ方法ヲ以テ六箇ノ波蘭石炭會社ニ參加セルカ其ノ他波蘭ニ於ケル獨逸

冶金會社例ヘハ「コロレフスキイ及ラウラ聯合工場」等ハ其ノ所有鑛坑ニ於テ石炭ノ
 採掘ヲ行フニ至レリ

左ニ上記六石炭會社ノ資本金額表ヲ掲ク

會社名	創業年度	資本金
グロゼーツク石炭工業會社	一八九九	三五〇
獨逸鑛山會社「レナルド伯爵」	一八八六	六、九三
サトウルン鑛山會社	一九〇〇	五、〇〇
ワルシャワ石炭工業會社	一八七六	三、〇〇
ソスノギツイ鑛山工業會社	一八九〇	九、七五
獨逸會社「露國鑛山業」	一八九九	二、一六*
計		三〇、三四

* 鑛山ハ「タガンローグ」ニ在リ

グロゼーツク會社ニハ Bank für Handel und Industrie 及 Staatshausenscher Bankverein 關係シ
 後者ハ一九一四年 Direction der Disconto-Gesellschaft ト合併シタリ而シテ本會社ノ一九一
 三年度石炭採掘高ハ約四千萬布度ナリキ又 Mitteldentsche Creditbank Direction der Disconto-

Gesellschaft ハ「ロツヂ」ニ於ケル一商會ヲ通シテ「サトウルン」鑛山會社ニ勢力ヲ扶殖シ該鑛山會社ハ「ロツヂ」地方ニ於ケル大紡績會社即「ユリウス、ハインツェル紡績株式會社」「カル、シャイブレ紡績會社」「グロマン紡績會社」等ノ設立ニ係リ今日猶是等諸會社ノ支配ヲ受ケ居レリ而テ「サトウルン」會社ノ目的ハ右諸會社ニ石炭ノ供給ヲ爲スニ在リテ一年ノ採掘高四千二百萬布度ナリトス

獨逸鑛業株式會社「レナルド伯爵」ノ事業ハ多種多樣ニシテ石炭坑ノ外麥酒工場、煉瓦工場ヲ所有セリ、一年ノ石炭採掘高ハ三千五百萬布度ナリ、此ノ興味アル事實ハ本會社カ獨逸株式會社「露國鑛山工業」「ドン軍管區」「タガンローグ」及「エカテリノスラフ」縣ニ石炭坑ヲ有スト共通利害ヲ有シ共ニ「ベンデン、オリクローシユ株式會社」ノ事業ニ參與セルカ、右三會社ノ主タル指導者ハ「エル、エル、マウグエ」ナル同一人ナリ、「ベンデン、オリクローシユ」ハ「ペトロコフ」縣「ソフ」ノ「ギツイ」市附近ニ於テ資本金百萬留ヲ以テ鑛業工場ヲ經營シ居レリ

「ソス」ノ「ギツイ」鑛山工業會社「ノ株式」ハ佛蘭西及瑞西ニ分配セラレ居ルモ「Deutsche Bank」カ多數ノ同社ノ株券ヲ所持セルハ疑ヲ容レサル所ニシテ同會社ノ一年採炭高ハ四千五百萬布度ニ達シ其他「ペトロコフ」縣「ベンデン」郡ニ「パウリナ」及「エムマ」ト稱スル亞

鉛工場並ニ機械工場ヲ「ソス」ノ「ギツイ」ニ亞鉛白粉工場ヲ「ニフカ」ニ機械工場ヲ所有セリ、右ハ同社所屬ノ鑛山ニ於テ多量ノ亞鉛鑛產出セラル、カ爲ニシテ該鑛石ノ大部分ハ獨逸ヘ輸入セラルモノトス、此ノ事實ハ特ニ注意ヲ要スルモノニシテ露國亞鉛採掘業ノ大多數カ同シク獨逸人ノ手ニ集中シ居レリ、西伯利ニ於ケル大亞鉛鑛ノ所有者タル鑛業株式會社「テチウヘ」ノ指導者モ亦同シク獨逸人ナリ

「ワルシャワ」石炭鑛業會社ニハ柏林ノ各大銀行カ利害關係ヲ有シ、本社ニハ又「ワルシャワ」商業銀行密接ナル關係ヲ保チ是等「ワルシャワ」石炭鑛業會社「ノ指導者ハ「Deutsche Bank」ニ關係アル「ワルシャワ」砂糖工場」ニ對シテモ其ノ重要ナル地位ヲ占メ居レリ（本工場ノ創業ハ一八七三年ニシテ資本金六百五十萬留）猶「Deutsche Bank」ハ「チエンス」トチツエナル他ノ甜菜糖製造工場ニモ脈絡ヲ有ス（創業一八八二年資本額百萬留）上記ノ如ク波蘭ニ於ケル各種大工業間ノ相互關係ハ斯ク複雑ナルヲ以テ或ハ獨逸銀行カ波蘭ノ商工業經營ニ對シ一定ノ方策ノ下ニ活動スルモノト推定シ得ル程ナリ

上記ノ事實ニ依リ波蘭ノ石炭市場カ獨逸人ニ左右セラレ居ルコト明カナルカ、之ト同時ニ「バクター」其ノ他ノ地方ニ於ケル石油ノ生産販賣モ大部分獨逸人ノ支配ヲ受ケ

居レリ、歐洲ニ於ケル獨逸ノ偉大ナル經濟的勢力ハ石油工業界ニ於テ特ニ明瞭ニ觀取スルヲ得、獨逸銀行ハ露國石油事業ニ參加セルノミナラス羅馬尼ニ於ケル石油生產販賣ノ三分ノ一ヲ其手中ニ收メ更ニ主ナル石油運送業モ其ノ或者ハ獨逸銀行ノ創立ニ係リ又或者ハ近年ニ至リ彼等ノ手中ニ移サレタリ、尙詳カニ説明スレハ獨逸銀行ノ石油界ニ於ケル活動ハ運送業ノ經營ヨリ開始サレタルモノニシテ右ノ營業ハ次第ニ膨脹シ或ハ從來ノ石油採取業ヲ併呑シ或ハ新ニ事業ヲ起シ其ノ際獨逸銀行ノ抱負ハ從來獨逸ノ需要市場ヲ壟斷シツ、アリシ米國ノ一大石油「トラスト」ヲ粉碎スルニ在リシカ事實上彼等ハ或程度迄此ノ目的ヲ貫徹セリ此ノ事實ハ一九一三年獨逸ニ於テ石油專賣施行問題ノ起リシ際特ニ明白トナリシモノナリ

當時獨逸ノ石油市場ヲ米國ノ支配下ヨリ脱セシメンニハ露國產石油ノ助力ヲ仰カサル可カラサルコトハ一般ニ認識セラレタル所ナルカ事實獨逸ニ於テハ若シ運送業ノ方面ニ於テ完全ナル組織ダニアラハ露國石油ハ世界ノ市場ニ於テ優ニ米國石油「トラスト」ト競争シ得ヘキモノト夙ニ認メ居リシナリ

石油運搬ノ爲全世界ノ有スル地點ニ完全ナル運送機關ヲ建設スルノ計畫ニ付キ第一ニ着目シタルハ米國人ニシテ米國石油「トラスト」カ過去及現在ニ於テ歐洲石油業

ニ對シ(露國石油業ヲモ含ム)優越ナル地位ヲ維持セル所以ハ實ニ爰ニ存ス、故ニ Deutsche Bank ハ一九〇〇年乃至一九〇三年ノ期間ニ於テ獨逸政府ノ委任ヲ受ケ西歐運輸系統ノ組織ニ着手セリ、右ノ目的ノ爲 Deutsche Bank ハ英國ニ於テ最も有力ナル運輸業ノ一タル Shell Transport and Trading Company ト同盟シ同時ニ該銀行ハ獨逸、英吉利、和蘭、瑞西、白耳義、羅馬尼ニ於ケル大石油會社 Steana Romana (ドイツ銀行)ハ本會社ニ於テモ大株主ノ位置ニ在リ)ノ製品販賣ヲ目的トスル多數獨立セル會社ヲ設立セリ、西歐ニ於ケル石油販賣業集中策ハ成功ヲ以テ開始セラレタルニ依リ該銀行ハ露國ニ於ケル石油販賣ノ大計畫ヲ實現セシメントシ先 Deutsche Petroleum Akz. Gesell. ナル獨立經濟會社ヲ組織シタルカ「獨逸銀行」ノ助力ト、威信トニ依リ同會社ト露國大石油會社(ノーベル會社、裏海黑海會社等)トノ間ニ完全ナル協定成立シ Deutsch-Russische Naphta-Import-Gesellschaft ナルモノヲ伯林ニ設立セリ、後ニ至テ兩會社ハ Deutsche Petroleumverkaufs-Gesellschaft ニ合併セラレタリ、然レトモ「獨逸銀行」ノ事業ハ單ニ上記ノミニ止ラス種々ナル經濟的畫策ヲ試ミタル後先ツ「統一石油會社」(上記露國會社ノ英國ニ於ケル販賣商會)及「一般石油會社」ヲ合併スルコト、シ前記二會社ヲ「ブリテン石油會社」ニ合併セリ

斯クノ如クニシテ英國ニ於ケル石油販賣業界ニ堅實ナル勢力ヲ扶殖シタル「獨逸銀行」ハ亦獨英ノ大石油販賣會社即「ブリタン石油會社」及「Deutsche Petroleumverkaufs-Ges.」ト相聯絡セシメ「ブレイメン」ニ於ケル「Europäische Petroleum Union-Ges.」ニ合併セシメタリ、次テ本會社ニ合併シタル石油販賣會社ハ左ノ如シ

Deutsche Petroleumhandels Maatschaps (在 和 蘭)

Dänish-Deutsch Petroleum-Company (在 丁 抹)

Schweizerische Petroleum-Produkten-Lager-Ges (在 瑞 西)

Soc. d' Armeement d' Industrie et de Commerce

Soc. belgo-hollandaise de Petrole

Deutsch-Osterreichische Naphta-Import-Ges.

露國石油販賣會社

右諸會社ニハ悉ク「獨逸銀行」之ニ關與シ其ノ中「Europäische-Petroleum-Union」ノ主ナル指導者ハ「獨逸銀行」ニシテ本會社ハ歐洲ニ於ケル石油販賣業ヲ自己ノ掌中ニ收メ居レリ、資本金三千七百萬麻、其ノ中千七百萬麻「ノーベル」會社及「裏海黑海會社」等ノ露國石油會社ノ帳簿ニ記入セラレ居レリ、一九一三年度ノ「ノベル兄弟會社」ノ報告中ニ同社カ「歐羅巴石油合同會社」ノ株式約五百萬留ヲ所有セル旨記載シアリ、然レドモ又一

方ニ於テ右「ノベル會社」ノ株式ノ多數カ伯林諸銀行ノ手中ニ收メラレ居ルノ事實ヲ發見ス而シテ此ノ經濟會社及「獨逸銀行」ノ業務ヲ同時ニ行ヘル「歐羅巴石油會社」ト「ノベル會社」トノ關係程度ヲ正確ニ定ムルコトハ頗ル至難ノ業タリ、蓋シ「獨逸銀行」ハ「歐羅巴石油」ヲ通シテ露國並ニ國外ニ於ケル「ノベル會社」關係ノ工業信用機關ト各種ノ聯絡ヲ保テルヲ以テナリ

「獨逸銀行」ヲ盟主トスル「獨逸諸銀行」カ運輸機關組織ノ方法ニ依リテ漸次石油採掘及精製事業ニ迄堅實ナル勢力ヲ普及セルハ上ニ述ヘタル如クナルカ其好適例ト云フヘキ事實ハ一九一二年「Shell Transport and Trading Company」カ「裏黑海石油會社」(現今ノ資本金千一萬留)及「マズート石油商業會社」(資本金千二百萬留)ノ株式全部ヲ取得シタルコト是ナリ

以上ヲ概約スレハ「獨逸諸銀行」ハ今次ノ大戰勃發以前露國ニ於ケル左記石油工業并ニ販賣事業ト密接ナル關係ヲ維持シ居タルモノトス

創業年次	資本金
ノヘル兄弟石油生産會社	一八七九年
ラゴーション石油生産會社	一八八〇年
	三〇、〇〇〇
	一、三〇〇

ダグスタン石油會社「チエレケン」	一九〇二年	一〇〇
石油工商業會社「コルヒダ」	一九一〇年	一〇〇
カマ汽船商業株式會社	一九一一年	七五
エムバ石油工商業會社	一九一二年	六〇〇
Nobels Petroleum Import Aktie-Bolag (在ヘルシングボルス)		
	一九一三年	五七
マズート石油工商業會社	一八九三年	一二〇〇
裏黒海石油商業會社	一八八三年	一〇〇〇

合計 六二、六二

「ノベル兄弟會社」ノ露國石油界ニ於ケル意義ハ今更歟々ヲ要セス吾人ハ本會社ニ關シ次ノ數字ヲ擧クルノミニテ止メント欲ス

石油産額

一九一〇年	六七三
一九一一年	六六八
一九一二年	七〇五

石油精製額

揮發油	一九一〇年	一九一一年	一九一二年
燈用油	六	七	八
機械塗用油	二一、七	一五、二	一七、一
重油	四、三	四、七	六、〇
其他	四二、五	三四、七	二六、九
合計	七〇	一〇〇	一二、一
	七六、一	六五、三	六二、九

然レトモ上表ヲ單ニ一讀シタルノミヲ以テシテハ、ノベル會社「カ他」ノ露國石油産地ニ樹立セル勢力ニ付テ充分ナル了解ヲ爲ス能ハサルヘシ依テ更ニ「ノベル會社」ノ勢力扶殖ニ付説カンニ該會社ハ此ノ目的ノ爲獨逸諸銀行ノ援助ヲ得テ前表ニ「ノベル團」トシテ擧ケタル諸會社ヲ設立シテ現今ニ至ル迄之ヲ管理シツ、アリ、其ノ最有力ナルハ「ダグスタン石油會社」ニシテ創業一九〇二年「チエレケン」島上「グローズヌイ」市及「ダグスタン」ニ油田ヲ所有ス、コルヒダ石油工商業會社「ハ一九一〇年業務ヲ開始シ「マイコープ」ニ油田ヲ所有ス

「エムバ石油工商業株式會社」一九一二年最新發見ノ石油工業地方タル「ウラル」地方「グリエフ」郡ニ於テ原油採取及精製ノ爲營業ヲ開始セルカ同會社ニ對スル「ノベル會社」關與ノ割合ハ資本金ニ對スル四二・五%ナリ

一九一一年「ノベル會社」商船部ノ改造擴張ノ爲創立セラレタルハ「カマ汽船商業株式會社」ナリトス、猶「ノベル會社」ハ「ラゴジン石油工業會社」ノ資本金四分ノ三、及芬蘭會社「Nobels Petroleum Import Aktie-Bolag」ノ資本金ノ過半ヲ領有セリ

「ノベル會社」ノ株券二千萬留及社債券千六百萬留ハ伯林并ニ「フランクフルト」取引所ニ於テ取引セラレ居ルモ（本社ノ株式千萬留ハ伯林取引所ニ上場セラレス）「ノベル會社」關係ニ屬スル其他諸會社ノ株式ハ取引所ニ於テ上場セラレス

Deutsche Bank ハ又塗布用油其他化學製品生産販賣株式會社「ワクトム、オイル、コムバニイ」ニモ關與シ居レルカ同會社ハ創業一九〇七年資本金六十萬留ニシテ彼得具羅士ニ工場ヲ有シ塗布用鑛油ヲ製作セリ

上記ノ如ク獨逸銀行及工業會社カ露國ニ於ケル其ノ他各種ノ工業ニ關聯セルハ事實ニシテ戰前迄露國ノ各商工業中心地ニ獨逸人ニ支配セル多數ノ會社存在シ事實上獨逸人カ是等事業ノ主タル地位ニ在リタルコトハ皮相ノ觀察ニ依リテモ明カナ

レトモ之カ具體的證明ハ材料ノ貧弱ナルヲ遺憾トス、吾人カ獨逸銀行若クハ工業會社ノ參加ヲ確メ得タルハ左ノ諸會社トス

社名	創業年次	資本	關係會社
オデツサ、木栓工場 アルプス會社	一八九八年	七五	Deutsche Bank
露國纖維工業株式會社 「ワリド、エフ」	一八九八年	一五〇〇	Zellstoffabrik Waldhoof
ワルシヤワ砂糖製造會社	〇八七三年	六、五〇	Deutsche Bank
ギルレ、ザトリツ ヒ紡績株式會社	一八八五年	九〇〇	Direction der Disconto Ges
ルダイム、レル、モルト 製造株式會社	一九一二年	五〇	—
ワクトム石油會社	一九〇七年	六〇	Deutsche Bank
ドレズ、テン、レ ス、窓掛株式會社	一八九九年	一〇〇	Direction der Disconto-Ges.
ダグロ、ス、ニ、イ、ベツケル 紡績會社、エ	一八九五年	一〇〇	Deutsche Bank
露伊纖維加工會社	一八九八年	一三〇	Deutsche Bank
クリークスマン木栓會社	一八九五年	三〇〇	Deutsche Bank
ザエルツエ紡績漂白株式會社 (前名「マイエル」)	一八七八年	三三八	Bankhaus Gebrüder
獨逸電氣株式會社	一九〇〇年	—	露國支店ノ爲トシテ特ニ資本ノ分割ナシ

ウオルチヤン卵子 冷蔵器輸出會社	一九一一年	一〇〇	Vereinsbank Hamburg
ラフェルム煙草製造會社	一八七〇年	三五〇	Dresdener Bank
ゲルガルド、ガイ 運輸株式會社	一九〇一年	三〇〇	Direction der Disconto-Ges.
獨逸「モーター、製造株式 會社」オットー、グアイツ	一九一三年	一二〇	露國ニ於ケル營業費
ネーフスキイ 製紙株式會社	一九一〇年	二〇〇	Deutsche Bank & Gebrüder Herz
露國運輸機關發達期成 會社「スード、ソゴン」	一九〇九年	一〇〇	伯林及維納諸銀行
露國紡績株式會社	一八九七年	二五〇	Deutsche Bank
ブラーガ化學製品株式會社	一九〇一年	六〇	Warburg, Hamburg
露國地上地下建設株式會社 「フイリツプ、ゴリツマン」	一九一三年	一〇〇	Internationale Bangesellschaft
獨逸運輸株式會社 アイヘルバウム	一九〇八年	四六	—
サエルツエ株式會社 前名ライツヒ會社	一九〇〇年	八〇	Oesterreich-Ungarische Bank
亞麻大麻織物會社	一八九八年	三三二	Norddeutsche Jute und Flachspinnerei
サロリン牛酪化學品 製造株式會社	一九一〇年	七〇〇	Louis Worf, Lübeck
チエンストチーツエ 甜菜製糖株式會社	一八八二年	一〇〇	Deutsche Bank

六八七四

前表ノ中「ワルシャワ」製糖會社及「チエントチーツエ」甜菜製糖株式會社カ獨逸資本關係諸會社ノ部類ニ編入シタルハ兩社ノ支配者カ戰前迄獨逸銀行ヲ主タル株主ニ頂キタル多數ノ石炭、砂糖會社ノ支配者ニ外ナラサルカ故ニシテ又是等諸會社ノ支配者ハ又同時ニ株ノ大部分ヲ獨逸ニ取得セシメタル前ノ「ワルシャワ」軌道會社ニ密接ナル關係ヲ有シタルコトモ否定スヘカラサル事實ナリ

「ワルシャワ」ニ於ケル露伊纖維加工品株式會社ニ獨逸資本ノ關與セルコトハ戰前迄一獨逸國民カ全社ノ首位ヲ占メ且株式ノ多數カ獨逸國民ノ手ニ歸シ居タリテフ幹部ノ自白ニ依リテ明白ナリ猶同社ノ株式ハ取引所ニ上場セラレス投機ノ目的ニ供セラレサルヲ以テ獨逸資本ノ參與カ一時的ノモノニ非スシテ恒久的ノモノナリト思惟シ得ヘキナリ

「クラーグスマン木栓株式會社」ハ其ノ幹部ノ自認スル所ニ依レハ「アルプス木栓株式會社」ト共通利害ヲ有シ居レルカ同社ニ獨逸資本ノ關與シ居レルコトハ一九一二年「ブリユツセル」ニ開催セラレタル Societa anonyme des produits de Lüge ノ株主總會ニ於テ表明セラレタリ猶「オデツサ」會社「アルプス」ノ趣意書ヲ見ルニ株主總會へ出席セント欲スルモノハ Deutsche Bank ニ所有株券ヲ提出スルヲ要スル旨記載セリ但シ右ノ事

情ハ Deutsche Bank カ同會社ノ事業ニ關係シ居ルコトヲ絶對ニ證明スルモノト云ヒ得サルハ勿論ナリ

「獨逸銀行」ハ本國ニ於ケル木栓及電流絶縁器製造界ニ勢力ヲ有スルヲ以テ露國木栓工業界トモ協定スル所アリ蓋シ露國ニ於ケル第一流木栓工業ハ「アルプス」及「クリーグスマン」二社ノ周圍ニ集團セルカ就中密接ナル關係ヲ有スルハ「并カンデル」及「ラルソン」木栓株式會社ニシテ同社ノ社長ハ「アルプス」竝ニ「クリーグスマン」ノ幹部タル「并カンデル」ニ外ナラス、右三會社ハ露國木栓工業界ニ一大「トラスト」ヲ成セル觀アリ上記三會社ノ資本合計高ハ露國木栓業界ニ放下セラレタル資本總額ノ九一%ニ相當ス

アルプス會社

七五

并カンデル及ラルソン

三〇〇

クリーグスマン會社

二〇〇

在「オデツサ」白耳義木栓株式會社

三三

佛國木栓工業株式會社

一九

六二七

「オデツサ」ニ於ケル「アルプス」木栓會社及「リガ」ニ於ケル「クリーグスマン」木栓會社トノ間ニハ共通利害關係アリテ其ノ首位ニ立テルハ同一人ナリ右兩會社ハ「オデツサ」竝ニ「リガ」ニ工場ヲ有シ彼得具羅士、莫斯科、ワルシヤヲニ支社ヲ置ケリ「ベルノフ」ナル「ヴリドゴフ」株式會社ノ資本金ハ「マンハイム」ニ於ケル同名ノ獨逸會社ノ手中ニ在リテ其ノ社債ハ伯林取引所ニ上場セラレ

製紙方面ニ付テ見ルニ一九一〇年獨逸人ハ露國ニ於テ最古キ歴史ヲ有スル「ネーフスキイ」製紙工場ヲ買収シ右工場ハ露國製紙業界ニテ有名ナル「ブルグーニン」ノ創立ニ係リ同氏ノ所有ニ屬セシカ近年ニ於ケル露國經濟界ノ危機ノ影響ヲ受ケ營業不振ニ陥リ遂ニ一九一〇年極メテ低廉ナル價格ヲ以テ賣却スルノ止ムナキニ至リシモノナリ

煙草製造界ニ於テモ獨逸人ハ「ラフェルム」會社ニ關聯シ居レリ、尤モ露國煙草「トラスト」組織ト共ニ右會社ハ英露或程度迄佛人モ參與シ居レリ事業ノ一ニ數フルヲ得ルカ如キ状態トナリシカ戰前迄本會社ノ支配者タル位置ニ在リシハ殆ト獨逸人ノミト云フモ不可ナカリキ而シテ其社長ハ莫斯科「ヴオガウ」會社ノ團體ニ屬スル諸會社ノ幹部タル「シユビース」ナリキ、由來「シユビース」ハ露國煙草「トラスト」ノ發起人ナルヲ

以テ右「トラスト」成立後之ニ屬スル多數ノ煙草會社ノ幹部ニ選舉セラレタリ
 宣戰ノ布告セララル、ヤ該諸會社ハ臨時總會ヲ開キ「ラフェルム」其他獨逸人經營ニ係
 ル會社ノ除名ヲ決議セリ猶注意スヘキハ一八七〇年「ラフェルム」會社創立セラル、
 以前「ドレズデン」ニ同名工場ノ存在セル一事ナリ

露國地上地下建築株式會社「フイリツブ、ゴリツマン」ノ多樣ナル營業振モ注目ニ價ス
 ルモノナリ同會社ハ創業一九一三年、一切ノ建築事業ヲ營メトモ主ナルモノハ鐵、人
 造石建築、土地發掘、石造建築、海底、港内、地下其他一般築造ノ見積請負ナリ

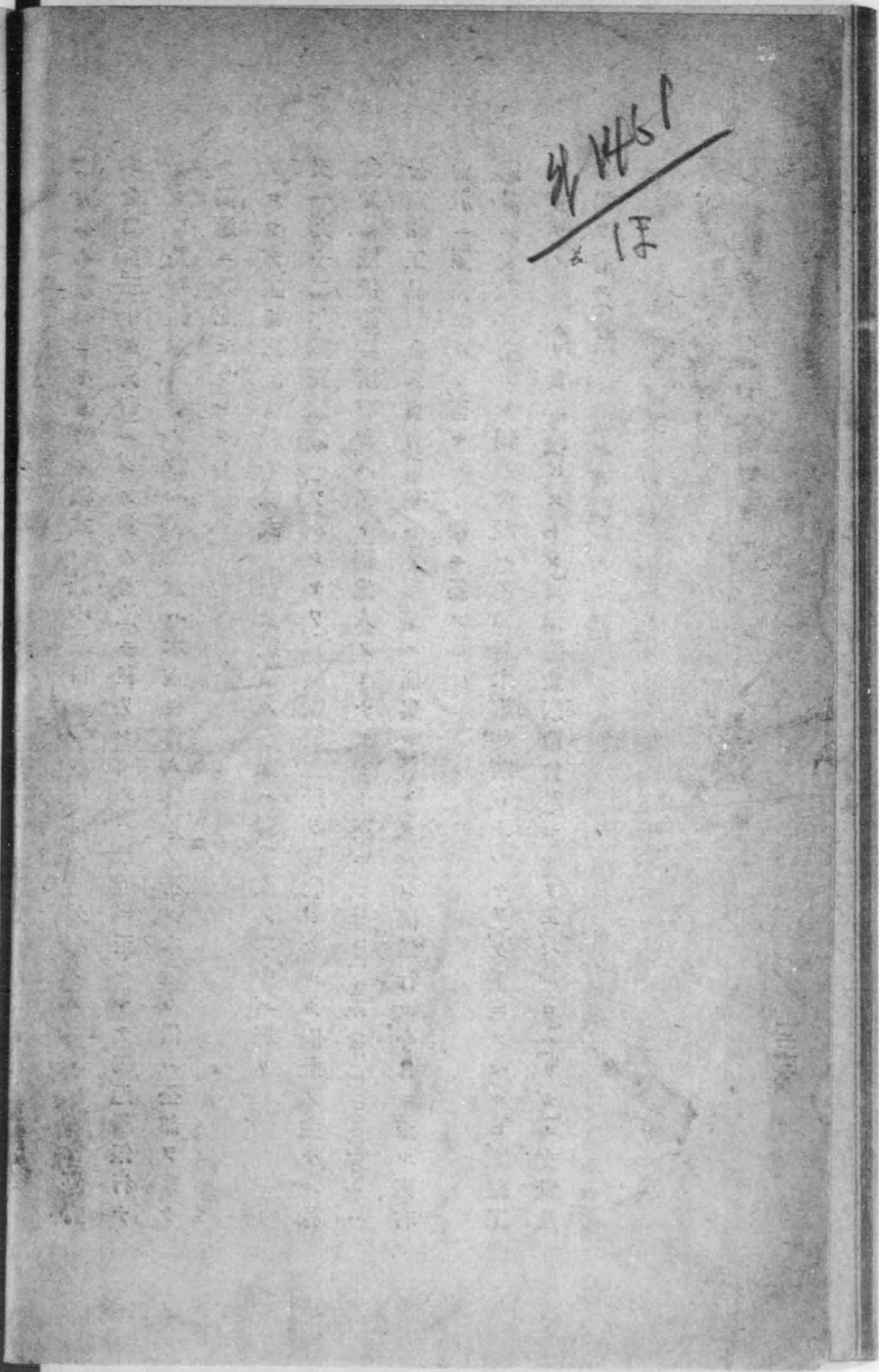
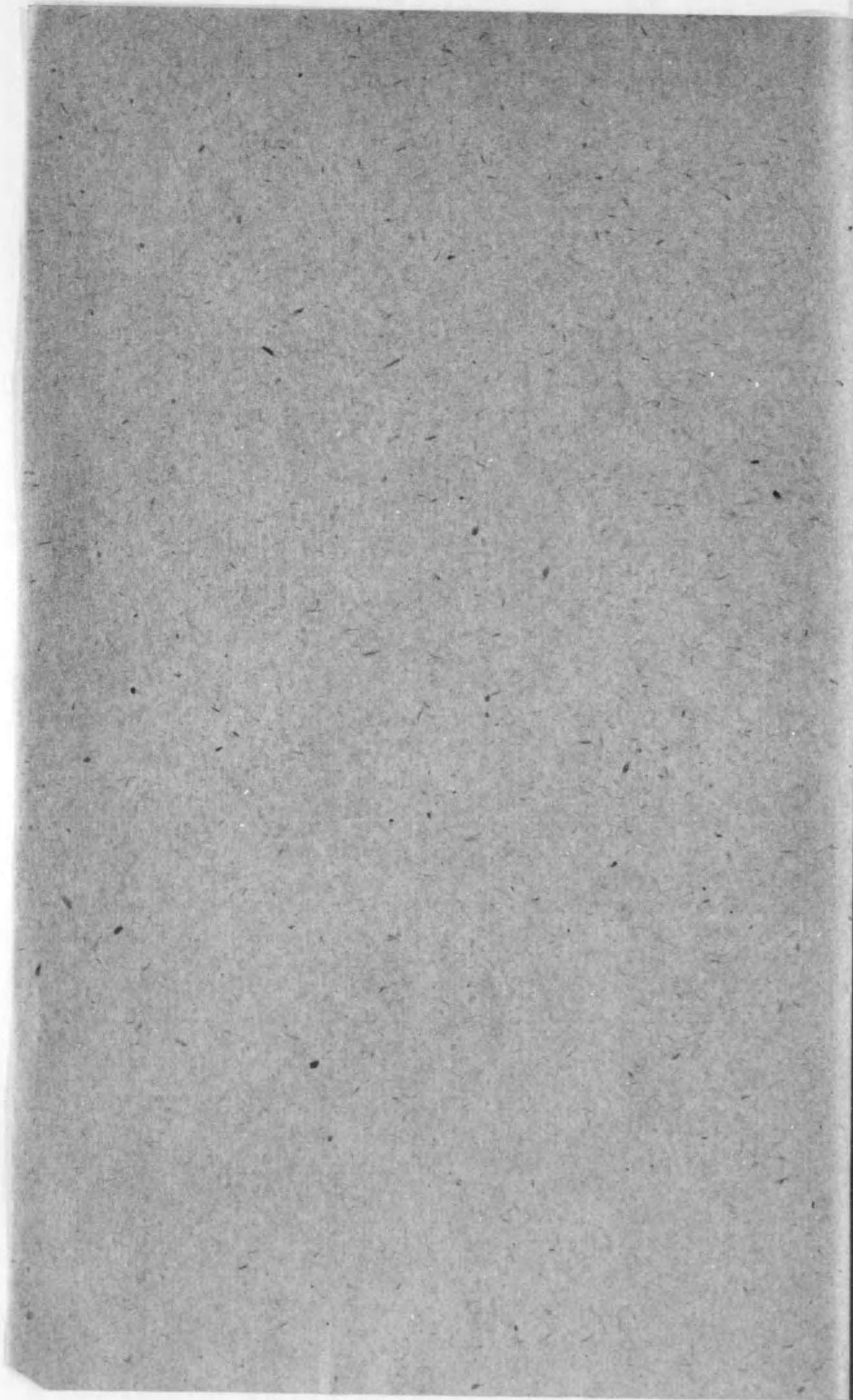
前表ニ擧ケタル諸事業ノ外 Deutsche Bank ハ佛國瑞西ノ銀行ト共同ニテ護謨、ペルチ
 ヤ護謨、電信機製造會社、導線ノ事業ニ關與シ居レリ、本社ハ資本金二千四百萬留ヲ擁
 シ、歐洲ニ於ケル一大護謨會社トシテ目セラレ歐露、西歐、中央亞細亞、支那、濠洲ニ貯藏
 所ヲ設置シ最近本社ハ伯林ニ於ケル中央事務所ノ組織ヲ改造シテ獨立セル獨逸株
 式會社ト爲シタリ、又近時石油精製會社「リアノゾフ」モ獨逸ニ獨立セル株式會社ヲ組
 織セルカ近年ニ至リ露國株式會社カ獨逸ニ支部ヲ設置スルノ風習漸次行ハレント
 スルニ至レリ然レトモ露國商業銀行中獨逸ニ支店ヲ有スルハ聯合銀行ノ一ニ過キ
 ス之ニ反シ巴里ニ支店ヲ置ケル露國商業銀行ハ五指ヲ屈スルニ足ル

獨資本ノ關與セル其他ノ株式會社中注目ニ價スルモノハ「ゲルブケレツ鐵道會社」資
 本金二百三十二萬留ニシテ其ノ首位ニ在リシモノハ最近ニ至ルマテ獨逸諸銀行ナ
 リシカ是等獨逸銀行ノ露國代表者ハ本重役會ノ會長ヲ務メ本社々債ハ全部ヲ擧ケ
 テ獨逸ニ分配セラレタリ

又「ロツヂ」工場鐵道會社ノ株式全部及社債ノ多數ハ獨逸人ノ手中ニ在リ

又一九一二年露國政府ハ「ワルシヤ」ヲ「維納鐵道會社」ヲ買收シタルカ同社ノ主ナル株
 式並ニ社債證券所有者ハ殆ト獨逸人ノミナリシト更ニ Nationalbank für Deutschland ハ
 護謨細工品製造販賣會社「ボグラー」ノ事業ニ關與シ居リタルカ同銀行カ今日ニ至ル迄右
 會社ニ關係セルヤ否ヤハ不明ニ屬ス

露國ニ支社ヲ有スル獨逸會社ハ「伯林材木事務所」(ワルシヤ)「ケーニスベルヒ、纖維工
 場」(コヴノ)等ナリ又埃國「ビストン」及彈藥盒製造會社「セルリエ、ベルロ」ハ「リガ」ニ支社及
 工場ヲ有ス(完)



~~326~~

~~339~~

~~602~~
~~0.5~~

326

339

t

終